

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	カッポウホジシ ヨシヤマトカクケン 学校法人 西大和学園							
フリガナ大学の名称	ヤマトガク 大和大学 (Yamato University)							
大学本部の位置	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号							
大学の目的	大和大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を受けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	<p>保健医療学部総合リハビリテーション学科、理学療法学専攻・作業療法学専攻は、短期大学等の3年制課程を卒業あるいは卒業見込みの者を対象に、理学療法学、作業療法学のそれぞれの分野に関する知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び医療人としての豊かな人間性を備えた人材を育成するため編入学定員を設定する。</p> <p>政治経済学部政治・政策学科・経済経営学科は、社会の要請に応え、「広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材」の育成を実践し、有為な人材を世に輩出するため収容定員を変更する。</p> <p>また、「情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成すること」を目的とする情報学部情報学科を令和5年4月に設置することに伴い、大学の収容定員を変更する。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	教育学部 (Faculty of Education)	年	人	年次人	人		年月 第年次	
	教育学科 (Department of Education)							
	初等幼児教育専攻 (Division of Primary education)	4	100	3年次 5	410	学士(教育学) (Bachelor of Education)	平成26年4月 第1年次	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号
	国語教育専攻 (Division of Japanese education)							
	数学教育専攻 (Division of Mathematics education)	4	90	—	360	学士(教育学) (Bachelor of Education)	平成26年4月 第1年次	同上
	英語教育専攻 (Division of English education)							
	保健医療学部 (Faculty of Allied Health Sciences)							
看護学科 (Department of Nursing)	4	100	—	400	学士(看護学) (Bachelor of Nursing)	平成26年4月 第1年次	同上	
総合リハビリテーション学科 (Department of Rehabilitation Sciences)								
理学療法学専攻 (Division of Physical therapy)	4	40	4年次 5 (0)	165 (160)	学士(保健医療学) (Bachelor of Allied Health Sciences)	平成26年4月 第1年次 令和5年4月 第4年次	同上	
作業療法学専攻 (Division of Occupational therapy)	4	40	4年次 5 (0)	165 (160)	学士(保健医療学) (Bachelor of Allied Health Sciences)	平成26年4月 第1年次 令和5年4月 第4年次	同上	

新設学部等の概要	言語聴覚学専攻 (Division of Speech-Hearing therapy)	4	40	—	160	学士 (保健医療学) (Bachelor of Allied Health Sciences)	平成26年4月第1年次	同上	
	政治経済学部 (Faculty of Political Science and Economics)								
	政治・政策学科 (Department of Political and Policy Science)	4	60 (40)	—	240 (160)	学士 (政治・政策学) (Bachelor of Political and Policy Science)	令和5年4月第1年次	同上	
	経済経営学科 (Department of Economics and Business Management)	4	120 (80)	—	480 (320)	学士 (経済経営学) (Bachelor of Economics and Business Management)	令和5年4月第1年次	同上	
	理工学部 (Faculty of Science and Engineering)								
	理工学科 (Department of Science and Engineering)	4	230	—	920	学士 (理学) 、学士 (工学) (Bachelor of Science), (Bachelor of Engineering)	令和2年4月第1年次	同上	
	社会学部 (Faculty of Sociology)								
	社会学科 (Department of Informatics)	4	200	—	800	学士 (社会学) (Bachelor of Sociology)	令和3年4月第1年次	同上	
情報学部 (Faculty of Informatics)									
情報学科 (Department of Informatics)	4	200 (0)	—	800 (0)	学士 (情報学) (Bachelor of Informatics)	令和5年4月第1年次	同上	※令和4年4月設置届出予定	
計		1,220 (960)	3年次 5 4年次 10 (0)	4,900 (3,850)					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	保健医療学部 総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻 [定員増] (4年次 5) (令和5年4月開設) 作業療法学専攻 [定員増] (4年次 5) (令和5年4月開設) 政治経済学部 政治・政策学科 [定員増] (60) (令和5年4月開設) 経済経営学科 [定員増] (120) (令和5年4月開設) 情報学部 情報学科 [定員増] (200) (令和5年4月開設)								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	— 単位		
		講義	演習	実験・実習	計				
	—	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目				

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計		助手
新設	教育学部 教育学科		18 (18)	14 (14)	3 (3)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	0 (0)
		保健医療学部 看護学科	8 (8)	3 (3)	11 (11)	3 (3)	25 (25)	0 (0)	0 (0)
	保健医療学部 総合リハビリテーション学科		8 (8)	5 (2)	5 (7)	0 (1)	18 (18)	0 (0)	0 (0)
		政治経済学部 政治・政策学科	9 (8)	1 (2)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)
	政治経済学部 経済経営学科		7 (6)	5 (3)	2 (3)	0 (0)	14 (12)	0 (0)	1 (1)
		理工学部 理工学科	23 (24)	5 (4)	4 (4)	0 (0)	32 (32)	0 (0)	3 (3)
	社会学部 社会学科	16 (9)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	22 (14)	0 (0)	26 (19)	
	情報学部 情報学科	14 (10)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	18 (13)	0 (0)	4 (2)	
	計		103 (91)	43 (36)	27 (30)	3 (4)	176 (161)	0 (0)	- (-)
	既設分	該当なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
合計		103 (91)	43 (36)	27 (30)	3 (4)	176 (161)	0 (0)	- (-)	
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員		10 (10)		23 (23)		33 (33)		
	技 術 職 員		13 (1)		0 (0)		13 (1)		
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)		4 (4)		5 (5)		
	そ の 他 の 職 員		0 (0)		0 (0)		0 (0)		
計			24 (12)		27 (27)		51 (39)		
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地	48,926.57㎡	0 ㎡		48,773.43㎡		97,700.00㎡		
	運 動 場 用 地	7,400.64㎡	11,858.00㎡		14,232.00㎡		33,490.64㎡		
	小 計	52,080.33㎡	11,858.00㎡		63,005.43㎡		126,943.76㎡		
	そ の 他	4,246.88㎡	0 ㎡		6,436.15㎡		10,683.03㎡		
合 計	56,327.21㎡	11,858.00㎡		69,441.58㎡		137,626.79㎡			
校 舎		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計		
		41,029.30㎡ ( 41,029.30㎡)	0㎡ ( 0㎡)		0㎡ ( 0㎡)		41,029.30㎡ ( 41,029.30㎡)		
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体	
	44 室	50 室	69 室		5 室 (補助職員3人)	1 室 (補助職員一人)			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数				
		大学全体			174 室				
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	42,619 [2,476] (40,408 [2,476])	131 [14] (131 [14])	27 [21] (27 [21])	736 (736)	16,968 (16,634)	106 (106)		
	計	42,619 [2,476] (40,408 [2,476])	131 [14] (131 [14])	27 [21] (27 [21])	736 (736)	16,968 (16,634)	106 (106)		
図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		1,378.98㎡		432席		75,200冊			
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		6,760.54㎡		特になし					

西大和学園中学・高等学校  
(必要面積18,120㎡)  
白鳳短期大学  
(必要面積7,100㎡)  
と共用

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	－千円	－千円	
		図書購入費	15,622千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	1,033千円	－千円	－千円	
		設備購入費	120,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円	
学生1人当り納付金	学部	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	教育学部	1,340千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	－千円	－千円			
	保健医療学部	1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円	－千円	－千円			
	政治経済学部	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	－千円	－千円			
	理工学部	1,630千円	1,560千円	1,560千円	1,560千円	－千円	－千円			
	社会学部	1,170千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	－千円	－千円			
	情報学部	1,350千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	－千円	－千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						
大 学 の 名 称 大和大学										
既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	教育学部	年	人	年次人	人		1.09			
	教育学科						1.09			
	初等幼児教育専攻	4	100	3年次	410	学士(教育学)	1.05	平成26年度	大阪府吹田市片山町2丁目5番1号	
	国語教育専攻	}	90	－	360	学士(教育学)	1.14	平成26年度	同上	
	数学教育専攻									
	英語教育専攻									
	保健医療学部									
	看護学科	4	100	－	400	学士(看護学)	1.11	平成26年度	同上	
	総合リハビリテーション学科						1.09			
	理学療法専攻	4	40	－	160	学士(保健医療学)	1.12	平成26年度	同上	
	作業療法専攻	4	40	－	160	学士(保健医療学)	1.06	平成26年度	同上	
	言語聴覚専攻	4	40	－	160	学士(保健医療学)	1.08	平成26年度	同上	
	政治経済学部						1.11			
	政治・政策学科	4	40	－	160	学士(政治・政策学)	1.08	平成28年度	同上	
	経済経営学科	4	80	－	320	学士(経済経営学)	1.13	平成28年度	同上	
	理工学部						1.07			
理工学科	4	230	－	690	学士(理学)、 学士(工学)	1.07	令和2年度	同上		
社会学部						1.08				
社会学科	4	200	－	400	学士(社会学)	1.08	令和3年度	同上		

大 学 の 名 称		白鳳短期大学						
学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
総合人間学科(2年課程)						0.80		奈良県北葛城郡王 寺町葛下1丁目7 番17号
こども教育専攻	2	100	0	200	短期大学士(こども保 育学)	0.80	平成14年度	
総合人間学科(3年課程)						1.11		
看護学専攻	3	100	0	300	短期大学士(看護学)	1.10	平成17年度	
リハビリテーション学専攻 理学療法学課程	3	40	0	120	短期大学士(リハビリ テーション学)	1.13	平成19年度	
リハビリテーション学専攻 作業療法学課程	3	30	0	90	短期大学士(リハビリ テーション学)	1.13	平成28年度	
附属施設の概要	該当なし							

学校法人 西大和学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和4年度

令和5年度

	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	
大和大学				
教育学部				
教育学科	190		770	
初等幼児教育専攻		3年次 5		
国語教育専攻		-		
数学教育専攻		-		
英語教育専攻		-		
保健医療学部				
看護学科	100		400	
総合リハビリテーション学科				
理学療法専攻	40		160	
作業療法専攻	40		160	
言語聴覚専攻	40		160	
政治経済学部				
政治・政策学科	40		160	
経済経営学科	80		320	
理工学部				
理工学科	230		920	
数理学専攻				
情報科学専攻				
機械工学専攻				
電気電子工学専攻				
建築学専攻				
社会学部				
社会学科	200		800	
計	960	3年次 5	3850	
白鳳短期大学				
総合人間学科				
こども教育専攻	100		200	
看護学専攻(3年制)	100		300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法課程	40		120	
作業療法課程	30		90	
計	270		710	

	入学定 員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
大和大学				
教育学部				
教育学科	190		770	
初等幼児教育専攻		3年次 5		
国語教育専攻		-		
数学教育専攻		-		
英語教育専攻		-		
保健医療学部				
看護学科	100		400	
総合リハビリテーション学科				
理学療法専攻	40	4年次 5	165	定員変更(5)
作業療法専攻	40	4年次 5	165	定員変更(5)
言語聴覚専攻	40		160	
政治経済学部				
政治・政策学科	60		240	定員変更(20)
経済経営学科	120		480	定員変更(40)
理工学部				
理工学科	230		920	
数理学専攻				
情報科学専攻				
機械工学専攻				
電気電子工学専攻				
建築学専攻				
社会学部				
社会学科	200		800	
情報学部				
情報学科	200		800	学部の設置(届出)
計	1220	3年次 5 4年次 10	4900	
白鳳短期大学				
総合人間学科				
こども教育専攻	100		200	
看護学専攻(3年制)	100		300	
リハビリテーション学専攻(3年制)				
理学療法課程	40		120	
作業療法課程	30		90	
計	270		710	

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法専攻)

科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基礎科目	人間と文化	心理学概論	1後	2			○				1				兼1	
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○				1				兼1	
	人間と自然	情報処理	1前	2				○				1			兼1	
		基礎統計学	1後	2				○			1				兼1	
	社会の理解	発達心理学	1前	2				○					1			
		教育の方法技術	4前	2				○			1					
	外国語科目	英語 I	1前	2					○		1				兼1	
		英語 II	1後	2					○		1				兼1	
	保健体育科目	スポーツ	1後	2					○			1			兼1	
	キャンパス・科目ガイ	基礎セミナー I	1通	2					○		3		3			共同
基礎セミナー II		2通	2					○		3		3			共同	
卒業研究 I		3前	1					○		3		3			共同	
卒業研究 II		3後	1					○		3		3			共同	
	卒業研究 III	4前	1					○		3		3			共同	
	卒業研究 IV	4後	1					○		3		3			共同	
小計15 (科目)				26	0	0			-		22	3	20	0	0	兼7
専門基礎科目	専門共通科目		チーム医療概論 I	1前	1			○			1		4			共同
			チーム医療概論 II	1前	1			○			1		4			共同
	人 体 の 構 造 と 機 能	解剖学総論		1前	2				○				1			
		解剖学 I (骨・筋の形態学)		1前	2				○					1		
		解剖学 II (神経の形態学)		1前	2				○					1		
		生理学 I		1前	2				○					1		
		生理学 II		1前	2				○					1		
		運動学		1後	2				○			1				
		運動学演習		1後	1					○		1				
		人間発達学		2前	2				○					1		
		臨床心理学		2前	2				○				1			
	ち 疾 及 病 び と 回 障 復 害 過 の 程 成 の り 促 立	病理学		2前	1				○		1					
		内科学		2前	2				○					1		
		臨床神経学		1後	2				○					1		
		整形外科学		1後	2				○					1		
精神医学		2前	2				○			1						
小児科学		2前	2				○			4		1				
リハビリテーション医学 I		1後	2				○			5		1				
リハビリテーション医学 II		2前	2				○				5	1	2		共同	
保健医療福祉とリハビリテーションの理念			リハビリテーション概論	1前	1			○					1			
			保健医療論	1前	2			○					1			
			社会保障制度	2前	2			○					1			
小計22 (科目)				39	0	0			-		15	3	25	0	0	
専門教育科目	基礎理学療法	理学療法概論	1前	2				○			1					
		基礎理学療法	2前	2				○					1			
		基礎理学療法演習	2後	2					○		1					
	理学療法管理学	理学療法管理学	3後	2					○		1					
		基礎理学療法評価学	1後	2					○		1					
	理学療法評価学	神経系検査法	2前	2					○				1			
		運動器系検査法	2前	2						○	1					
		運動・動作分析学演習	2前	1						○	1					
		運動器障害理学療法	2後	1					○				1			
	理学療法治療学	運動器障害理学療法演習		3前	1					○			1		1	
		神経系理学療法		2後	1					○		1				
		中枢神経障害理学療法		2後	1					○				1		
		中枢神経障害理学療法演習		3前	1						○			1		
		発達障害理学療法		2後	1					○				1		
		発達障害理学療法演習		3前	1						○			1		
内部・循環障害理学療法		2後	1					○				1				
内部・循環障害理学療法演習		3前	1						○			1				
理学療法評価治療演習		3前	1						○		1					
物理療法		2後	1					○				1				
物理療法演習		3前	1						○			1				
呼吸障害理学療法		2後	1					○				1				
呼吸障害理学療法演習		3前	1						○			1				
日常生活活動評価学		2前	1					○		1						
日常生活活動指導法		2後	1					○		1						
義肢学・装具学		2後	1					○		1						
スポーツ障害学		3前	1					○		1						
理学療法特論 I		4前	3						○		3		3		共同	
理学療法特論 II		4後	3							3		3			共同	
理学療法特論 III		4後	3							3		3			共同	

科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域理学療法学	地域理学療法学	2後			○			1						
		生活環境整備学	3前	1			○		1						
	臨床実習	理学療法学臨床実習Ⅰ	1後	2					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅱ	3前	3					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅲ	3後	7					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅳ	3後	8					○	3		3			
卒業論文	研究方法論	2後	2			○					1				
	卒業論文	4後	2				○		3		3			共同	
小計37(科目)		—	69	0	0	—	—	—	5	0	12	0	0		
合計(17科目)		—	134	0	0	—	—	—	11	3	24	0	0	兼7	
学位又は称号		学士(保健衛生学)	学位又は学科の分野		保健衛生学関係(リハビリテーション関係)										
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>以下に掲げる基準を満たし、合計134単位以上修得することを卒業要件とする。</p> <p>&lt;共通基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目26単位を修得すること。</li> <li>・合計26単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目39単位を修得すること。</li> <li>・合計39単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目69単位を修得すること。</li> <li>・合計69単位以上修得すること。</li> </ul> <p>※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。</p> <p>&lt;履修要件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法学臨床実習Ⅲ、理学療法学臨床実習Ⅳを履修するには、3年後期までに配当された専門教育科目の必修科目をすべて修得すること。</li> </ul>						1学年の学期区分		2期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							



4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻)

授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語演習	4後	2				○		1						「英語Ⅱ」に読替
卒業研究	4後	1				○		3		3				「卒業研究Ⅳ」に読替



科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	地域作業療法学	地域作業療法	3前	2			○									
		地域作業療法演習	3前	1				○								
		生活環境整備学	3前	1			○									
	臨床実習	作業療法学臨床実習Ⅰ	2前	1			○		○	1						
作業療法学臨床実習Ⅱ		3後	4			○		○	1							
作業療法学臨床実習Ⅲ		3後	9			○		○	1							
作業療法学臨床実習Ⅳ		4前	9			○		○	1							
卒業論文	研究方法論	2前	2			○			1							
	卒業論文	4前	2				○		2		4				共同	
小計35(科目)				70	0	0			32	0	44	0	0			
合計(72科目)				135	0	0			69	6	89	0	0		兼7	
学位又は称号		学士(保健衛生学)	学位又は学科の分野		保健衛生学関係(リハビリテーション関係)											
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
<p>以下に掲げる基準を満たし、合計135単位以上修得することを卒業要件とする。</p> <p>&lt;共通基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目26単位を修得すること。</li> <li>・合計26単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目39単位を修得すること。</li> <li>・合計39単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目70単位を修得すること。</li> <li>・合計70単位以上修得すること。</li> </ul> <p>※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。</p> <p>&lt;履修要件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業療法学臨床実習Ⅲ、作業療法学臨床実習Ⅳを履修するには、3年後期までに配当された専門教育科目の必修科目をすべて修得すること。</li> </ul>							1学年の学期区分	2期								
							1学期の授業期間	15週								
							1時限の授業時間	90分								

4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科作業療法学専攻)

授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語演習	4後	2				○		1						「英語Ⅱ」に読替
卒業研究A	4前	1				○		3		3				「卒業研究Ⅱ」に読替
卒業研究B	4後	1				○		3		3				「卒業研究Ⅲ」に読替
卒業研究C	4前	1				○		3		3				「卒業研究Ⅳ」に読替
作業療法特論A	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅳ」に読替
作業療法特論B	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅴ」に読替
作業療法特論C	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅵ」に読替

教育課程等の概要															
(政治経済学部政治・政策学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					授業形態					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手	
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	1前		2		○							兼1	
		くらしと芸術	1前		2		○							兼2	
		心理学概論	1前		2		○							兼1	
		哲学概論	1後		2		○			1					
		生活文化概論	1前		2		○							兼1	
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○			1					
		福祉と人権	1前		2		○			1					
		地理学	1後		2		○							兼1	
		近現代史	1後		2		○			1					
		地球環境論	1後		2		○			1					
	人間と自然	国際コミュニケーション論	1後		2		○			1					
		情報処理 I	1前		1			○						兼1	
		情報処理 II	1後	1				○						兼1	
		基礎数学	1前		2		○							兼1	
		科学史	1後		2		○							兼1	
	外国語科目	AI・データサイエンス	1後		2		○							兼1	
		英語 I	1前	1				○							
		英語 II	1後	1				○							
		英語 III	2前	1				○							
		英語 IV	2後	1				○							
		英語基礎演習 I	1前		1			○						兼1	
		英語基礎演習 II	1後		1			○						兼1	
		TOEIC英語 I	2前		1				○			1			
		TOEIC英語 II	2後		1				○			1			
英会話 I		1前		1				○					兼1		
英会話 II		1後		1				○					兼1		
ビジネス英語		3前		1				○			1				
日本語 I		1前		1				○					兼1		
日本語 II		1後		1				○					兼1		
日本語 III	2前		1				○					兼1			
日本語 IV	2後		1				○					兼1			
保健体育科目	スポーツ I	1前	1										○		
	スポーツ II	1後	1										○		
基礎演習科目	健康科学概論	1前		2			○							兼1	
	基礎演習 I	1通	2				○		2					共同	
キャリア・ガイダンス科目	基礎演習 II	2通	2				○		1	1				共同	
	キャリア・ガイダンス I	1通	2				○			1	1			共同	
	キャリア・ガイダンス II	2通	2				○			2				共同	
	キャリア・ガイダンス III	3通	2				○		1	1				共同	
専門教育科目	基盤科目	キャリア・ガイダンス IV	4通	2			○		1	1				共同	
		小計40 (科目)	—	22	39	0	—		5	2	2	0	0	兼15	
	政治分野科目	政治学入門	1前		2			○							1
		政策学概論	1後		2			○							1
		法学概論	1前		2			○							1
		経済学基礎	1前		2			○							兼1
		経営学入門	1後		2			○							兼1
		政治学 I	1後		2			○							1
		政治学 II	2前		2			○							1
		日本国憲法特論	1後		2			○							1
		国家論	2前		2			○							1
		議会政治論	2前		2			○							1
		政治体制論	2後		2			○							1
		政治過程論	2前		2			○							1
		比較政治学	3前・4前		2			○							1
		政党政治論	3前・4前		2			○							1
		政治思想史	2後		2			○							1
		政治哲学	3前・4前		2			○							1
		日本政治史	2前		2			○							1
		欧米政治史	3前・4前		2			○							1
		アジア政治史	3後・4後		2			○							1
		国際政治学	2後		2			○							1
		日本の政治と外交	3前・4前		2			○							1
		平和安全保障論	3後・4後		2			○							1
国際機関論	3後・4後		2			○							1		
NPO/NGO論	3後・4後		2			○							1		
発展途上国論	3後・4後		2			○				1					
国際法	3前・4前		2			○							1		
マスメディア論 I	2後		2			○							兼1		
マスメディア論 II	3前・4前		2			○							兼1		
政治学実践演習	3通		2				○			1	1			共同	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	政策分野科目	行政学			2	○			1										
		地方自治論	2前		2	○			1										
		公共政策学Ⅰ	2前		2	○			1										
		公共政策学Ⅱ	2後		2	○			1										
		政策評価論	3前・4前		2	○			1										
		公務員論	3後・4後		2	○			1										
		都市・地域政策	2前		2	○			1										
		自治体経営論	3前・4前		2	○			1										
		地方財政論	3前・4前		2	○			1									兼1	
		社会保障論	2前		2	○			1										
		環境政策論	3後・4後		2	○			1										
		経済政策論	3前・4前		2	○												兼1	
		金融政策論	3前・4前		2	○												兼1	
		福祉行政と人権	2後		2	○			1										
		社会政策	3前・4前		2	○			1										
		民法	2前		2	○			1										
		行政法	2前		2	○			1										
		地方自治法	2後		2	○			1										
	労働法	3前・4前		2	○			1											
	現代情報法	3後・4後		2	○			1									兼1		
	地方自治特論	2後		2	○			1											
	政策学実践演習	3通		2			○	1	1								共同		
	専門教育科目	関連分野科目	社会学概論	2前		2	○											兼1	
			国際関係論	2前		2	○			1									
			ミクロ経済学	1後		2	○												兼1
			マクロ経済学	1後		2	○												兼1
			基礎統計学	2前		2	○												兼1
			ゲーム理論	2前		2	○												兼1
			経済分析Ⅰ	2後		2	○												兼1
			経済統計学	2後		2	○												兼1
			経済史	2前		2	○												兼1
			産業組織論	2後		2	○												兼1
			経済地理学	2前		2	○												兼1
			国際経済学	2後		2	○												兼1
		財政学	2前		2	○												兼1	
		金融論	2後		2	○												兼1	
		経済学演習	1通		2			○	1									兼1	
		経営戦略論	2前		2	○												兼1	
		経営組織論	2前		2	○												兼1	
		経営管理論	2後		2	○												兼1	
		経営分析論	2後		2	○												兼1	
		経営情報論	2後		2	○												兼1	
企業統治論		2後		2	○												兼1		
マーケティング論		2前		2	○												兼1		
中小企業論		2前		2	○												兼1		
簿記Ⅰ		1前		2	○												兼1		
簿記Ⅱ	1後		2	○												兼1			
会計学基礎	2前		2	○												兼1			
原価計算論	2前		2	○												兼1			
財務会計論	2後		2	○												兼1			
税法	2後		2	○												兼1			
会社法	2後		2	○				1								兼1			
経済法	2前		2	○				1											
産業社会学	2前		2	○												兼1			
社会心理学	2前		2	○												兼1			
社会調査論	2後		2	○												兼1			
情報と法の倫理/情報セキュリティ	3前・4前		2	○												兼1			
知的財産権	3前・4前		2	○												兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	1通	2				○			1	1			共同 共同
	キャリア研究Ⅱ	2通	2				○			2				
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	1通								1				
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	2通		2				○		1				
卒業論文	卒業論文Ⅰ	3通	4				○		8	1				
	卒業論文Ⅱ	4通	4				○		8	1				
小計93(科目)		—	22	168	0	—	—	—	8	2	1	0	0	兼14
合計(133科目)		—	44	207	0	—	—	—	8	2	2	0	0	兼28
学位又は称号	学士(政治・政策学)			学位又は学科の分野			法学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
以下のすべてを満たし、124単位以上修得することを卒業要件とする。 <共通基礎科目> ・必修22単位を修得し、教養科目のうち「人間と文学」「人間と社会」「人間と自然」の各分野について、必修単位以外にそれぞれ2単位を修得すること。(合計28単位) <専門教育科目> (1) 専門科目 ①「基盤科目」の必修科目10単位を修得すること。 ②政治学専攻選択者は、政治分野科目の選択科目から、「政治学Ⅰ」「政治学Ⅱ」「日本政治史」「日本国憲法特論」を含み24単位以上、政策分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 ③政策学専攻選択者は、政策分野科目の選択科目から、「行政学」「公共政策学Ⅰ」「地方自治論」「社会保障論」を含み24単位以上、政治分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 (2) 実践演習科目 ・必修4単位を修得すること。 (3) 卒業論文 ・必修8単位を修得すること。 ※履修科目の登録の上限は、年間43単位を上限とする。							1学年の学期区分		2期					
							1学期の授業期間		15週					
							1時限の授業時間		90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(政治経済学部経済経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	1前		2		○									兼1
		くらしと芸術	1前		2		○									兼2
		心理学概論	1前		2		○									兼1
		哲学概論	1後		2		○									兼1
		生活文化概論	1前		2		○									兼1
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○									兼1
		福祉と人権	1前		2		○									兼1
		地理学	1後		2		○									兼1
		近現代史	1後		2		○									兼1
		地球環境論	1後		2		○									兼1
	人間と自然	国際コミュニケーション論	1後		2		○									兼1
		情報処理 I	1前	1				○			1					兼1
		情報処理 II	1後	1				○								兼1
		基礎数学	1前		2		○									兼1
		科学史	1後		2		○									兼1
	外国語科目	AI・データサイエンス	1後		2		○									兼1
		英語 I	1前	1				○								兼1
		英語 II	1後	1				○								兼1
		英語 III	2前	1				○								兼1
		英語 IV	2後	1				○								兼1
		英語基礎演習 I	1前		1			○								兼1
		英語基礎演習 II	1後		1			○								兼1
		TOEIC英語 I	2前		1			○								兼1
		TOEIC英語 II	2後		1			○								兼1
		英会話 I	1前		1			○								兼1
		英会話 II	1後		1			○								兼1
		ビジネス英語	3前		1			○								兼1
日本語 I		1前		1			○								兼1	
日本語 II		1後		1			○								兼1	
日本語 III	2前		1			○								兼1		
日本語 IV	2後		1			○								兼1		
保健体育科目	スポーツ I	1前	1					○			1					
	スポーツ II	1後	1					○			1					
基礎演習科目	健康科学概論	1前		2		○					1					
	基礎演習 I	1通	2				○			2	1	1			共同	
キャリア・ガイダンス科目	基礎演習 II	2通	2				○			2	2				共同	
	キャリア・ガイダンス I	1通	2				○			1		1			兼1	
	キャリア・ガイダンス II	2通	2				○			1	1				共同	
	キャリア・ガイダンス III	3通	2				○			1	1				共同	
	キャリア・ガイダンス IV	4通	2				○			1	1				兼1	
小計40 (科目)		—	22	39	0	—				6	5	1	0	0	兼22	



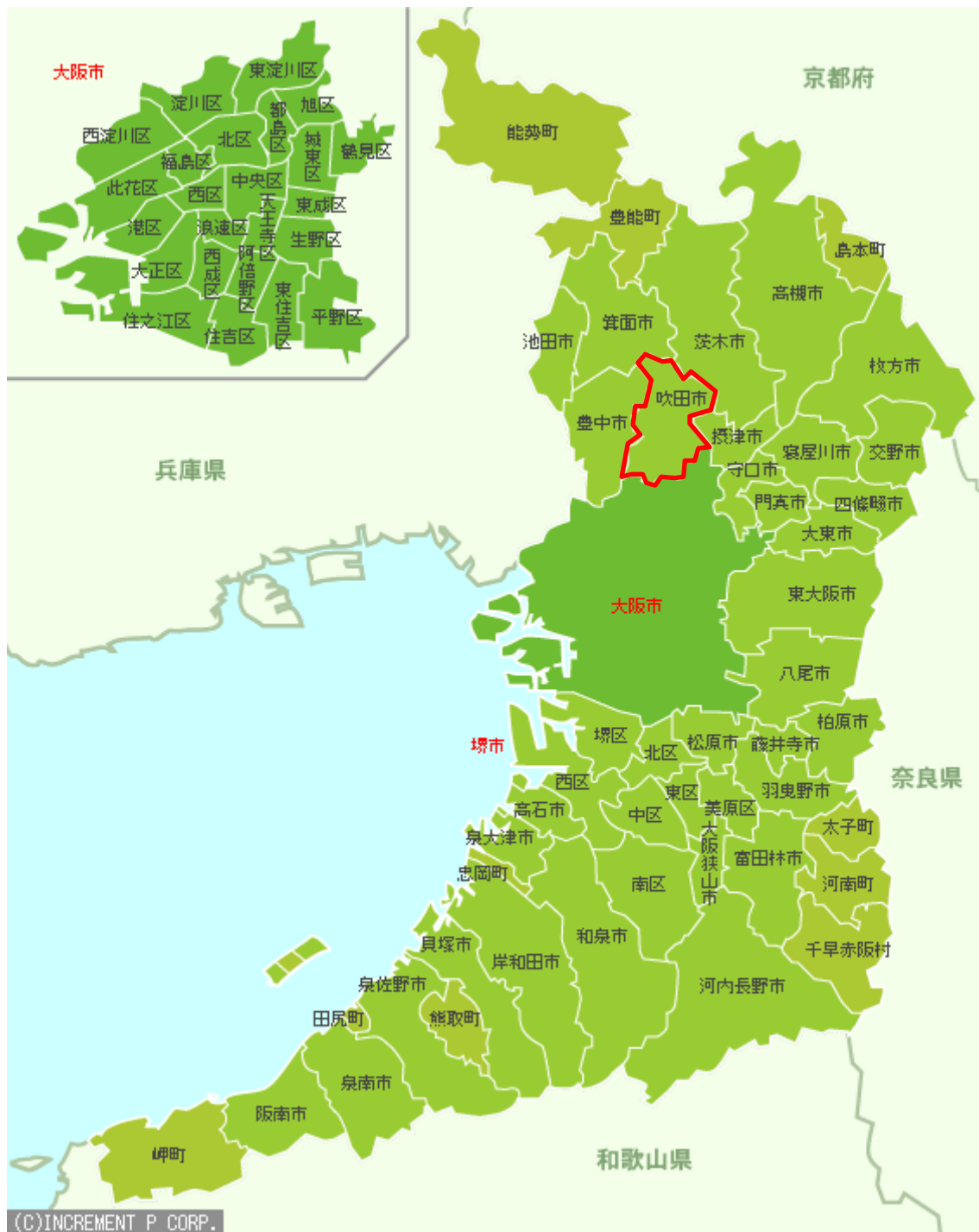
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教育科目	基礎科目	政治学入門	1前	2			○									兼1		
		政策学概論	1後	2			○									兼1		
		法学概論	1前	2			○									兼1		
		経済学基礎	1前	2			○			1								
		経営学入門	1後	2			○				1							
	経済分野科目	ミクロ経済学	1後		2		○			1								
		マクロ経済学	1後		2		○				1							
		経済学演習	1通		2			○		1								
		基礎統計学	2前		2		○			1								
		ゲーム理論	2前		2		○			1								
		経済分析 I	2後		2		○			1								
		経済統計学	2後		2		○			1								
		経済史	2前		2		○			1								
		産業組織論	2後		2		○			1								
		経済地理学	2前		2		○			1								
		国際経済学	2後		2		○				1							
		財政学	2前		2		○			1								
		計量経済学	3前・4前		2		○				1							
		経済分析 II	3前・4前		2		○			1								
		公共経済学	3前・4前		2		○			1								
		アジア経済論	3前・4前		2		○				1							
		欧米経済論	3後・4後		2		○					1						兼1
		国際貿易・流通論	3前・4前		2		○				1							
		労働経済学	3前・4前		2		○			1								
		環境経済学	3後・4後		2		○			1								
		農業経済学	3前・4前		2		○			1								
		経済政策論	3前・4前		2		○					1						
		金融論	2後		2		○					1						
		金融政策論	3前・4前		2		○					1						
		ファイナンス	3前・4前		2		○					1						
		証券市場論	3後・4後		2		○					1						
		銀行論	3後・4後		2		○					1						
		国際金融論	3後・4後		2		○					1						
		経営分野科目	経営戦略論	2前		2		○			1							
			経営組織論	2前		2		○			1							
			経営管理論	2後		2		○				1						
	経営分析論		2後		2		○			1								
	経営情報論		2後		2		○			1								
	企業統治論		2後		2		○			1								
	マーケティング論		2前		2		○				1							
	中小企業論		2前		2		○				1							
	流通経済論		1後		2		○			1								
	市場調査論		2前		2		○			1								
	商品企画論		2前		2		○			1								
	生産管理論		2後		2		○			1								
人的資源管理論	3前・4前			2		○			1									
事業創造・承継論	3後・4後			2		○			1									
リスクマネジメント論	2前			2		○			1									
観光産業論	3前・4前			2		○				1								
地域産業論	3前・4前			2		○				1								
簿記 I	1前			2		○			1									
簿記 II	1後			2		○			1									
会計学基礎	2前			2		○			1									
原価計算論	2前			2		○			1									
財務会計論	2後			2		○			1									
管理会計論	2前			2		○			1									
会計監査論	3後・4後			2		○			1									
税務会計論	3前・4前			2		○			1									
ビジネス倫理	3前・4前			2		○			1									
経営学実践演習 I	2後			2				○			1					兼1		
経営学実践演習 II	3前・4前		2				○			1					兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	関連分野科目	社会学概論	2前	2		○										兼1
		国際関係論	2前	2		○										兼1
		政治学Ⅰ	1後	2		○										兼1
		政治学Ⅱ	2前	2		○										兼1
		日本国憲法特論	1後	2		○										兼1
		国家論	2前	2		○										兼1
		議会政治論	2前	2		○										兼1
		政治体制論	2後	2		○										兼1
		政治過程論	2前	2		○										兼1
		政治思想史	2後	2		○										兼1
		日本政治史	2前	2		○										兼1
		国際政治学	2後	2		○										兼1
		マスメディア論Ⅰ	2後	2		○										兼1
		行政学	1後	2		○										兼1
		地方自治論	2前	2		○										兼1
		公共政策学Ⅰ	2前	2		○										兼1
		公共政策学Ⅱ	2後	2		○										兼1
		都市・地域政策	2前	2		○										兼1
		社会保障論	2前	2		○										兼1
		福祉行政と人権	2後	2		○										兼1
		社会政策	3前・4前	2		○										兼1
		民法	2前	2		○										兼1
		行政法	2前	2		○										兼1
		地方自治法	2後	2		○										兼1
		地方自治特論	2後	2		○										兼1
		税法	2後	2		○				1						兼1
		会社法	2後	2		○					1					兼1
		経済法	2前	2		○						1				兼1
		産業社会学	2前	2		○										兼1
		社会心理学	2前	2		○										兼1
		社会調査論	2後	2		○										兼1
		情報と法の倫理/情報セキュリティ	3前・4前	2		○					1					
		知的財産権	3前・4前	2		○					1					
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	1通	2			○			1		1				共同	
	キャリア研究Ⅱ	2通	2			○				1	1				共同	
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	1通	2				○								兼1	
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	2通	2				○								兼1	
卒業論文	卒業論文Ⅰ	3通	4			○			7	5	1				共同	
	卒業論文Ⅱ	4通	4			○			7	5	1				共同	
小計100(科目)		—	22	182	0	—			7	5	1	0	0		兼12	
合計(140科目)		—	44	221	0	—			7	6	1	0	0		兼28	
学位又は称号	学士(経済経営学)		学位又は学科の分野				経済学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
以下のすべてを満たし、124単位以上修得することを卒業要件とする。 <共通基礎科目> ・必修22単位を修得し、教養科目のうち「人間と文学」「人間と社会」「人間と自然」の各分野について、必修単位以外にそれぞれ2単位を修得すること。(合計28単位) <専門教育科目> (1) 専門科目 ①「基盤科目」の必修科目10単位を修得すること。 ②経済学専攻選択者は、経済分野科目の選択科目から、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済学演習」「基礎統計学」を含み24単位以上、経営分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 ③経営学専攻選択者は、経営分野科目の選択科目から、「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」「会計学基礎」「マーケティング論」を含み24単位以上、経済分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 (2) 実践演習科目 ・必修4単位を修得すること。 (3) 卒業論文 ・必修8単位を修得すること。 ※ 履修科目の登録の上限は、年間43単位を上限とする。							1学年の学期区分		2期							
							1学期の授業期間		15週							
							1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要															
(情報学部情報学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	視野形成科目	哲学入門	1前	2		○			1						兼1  兼1
		心理学入門	1前	2		○									
		倫理学入門	1後	2		○				1					
		日本国憲法	1前	2		○				1					
		人間関係論	1前	2		○									
		数学入門	1前	2		○			1	1					
		統計学入門	1後	2		○			1						
		AI・データサイエンス入門	1前	2		○			1						
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1					1						
		英語Ⅱ	1後	1			○		1						
		英語Ⅲ	2前	1			○		1						
		英語Ⅳ	2後	1			○		1						
	育保科健目	スポーツ	1通		2					1					
ゼキヤインリ科目	キャリアデザインⅠ	1通	2				○		4	3				共同	
	キャリアデザインⅡ	2通	2				○		5	4				共同	
	キャリアデザインⅢ	3通	2				○		5	4				共同	
	キャリアデザインⅣ	4通	2				○		4	3				共同	
小計17(科目)		—	12	18	0	—			9	4	0	0	0	兼2	
専門教育科目	基盤科目	基礎数学Ⅰ	1前	2		○			2	1					
		基礎数学Ⅱ	1後		2		○		2	1					
		情報数学	1後	2			○		5						
		微分積分	1後	2			○		4	1					
		線形代数	1後	2			○		4	1					
		確率統計	1後	2			○		4	1					
		情報学概論	1前	2			○		2						
		データサイエンス基礎	1前	2			○		1						
		データエンジニアリング基礎	2前	2			○		1	1					
		コンピュータシステム基礎	2前	2			○		2						
		AI基礎	2前	2			○		2						
		情報・データサイエンス分野科目	情報科学	2前	2			○			2				
	AI社会の情報倫理と法		2前	2			○			2					
	データ構造とアルゴリズム		2後	2			○			2					
	データベース工学		2後	2			○			1					
	データ分析基礎		2後	1				○		1	1				
	データ分析演習		3前		1			○		1	1				
	プログラミングⅠ		2後	1				○		2					
	プログラミングⅡ		3前		1			○		2					
	情報システム		2・3前	2				○		2					
	データマイニング		2・3後	2				○		2					
	数理モデリング		2・3後	2				○		2					
	オペレーティングシステム		2・3前	2				○		1					
	最適化理論		2・3前	2				○		1					
	グラフ理論		2・3前	2				○		2					
	多変量解析		2・3後	2				○		2					
	画像解析		2・3後	2				○		2					
	信号処理		2・3後	2				○		1					
	意思決定論		2・3後	2				○		1					
	ソフトウェア工学	2・3後	1					○	2						
コンピュータネットワーク	2・3前	2				○		1	1						
コンピュータアーキテクチャ	2・3前	2				○		2							
コンピュータグラフィックス	2・3後	2				○		2							
マルチメディア論	2・3後	2				○		2							
ヒューマンインターフェイス	2・3前	2				○		2							
AI技術と社会	2・3前	2				○		2							
機械学習・深層学習	2・3後	2				○		2							
情報セキュリティ	2・3後	2				○		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	経済・経営分野科目	経済学概論	2前	2			○			1					兼1  兼1
		経営学概論	2前	2			○			1					
		ミクロ経済学	2・3後		2		○			1					
		マクロ経済学	2・3後		2		○								
		計量経済学	2・3後		2		○			2					
		経営情報論	2・3前		2		○			2					
		マーケティング論	2・3後		2		○			2					
		ビジネスイノベーション論	2・3後		2		○			2					
		金融論	2・3後		2		○								
		社会学概論	2前	2			○			1					
		情報社会論	2・3前	2			○			1	1				
		情報政策論	2・3前	2			○			2					
		社会調査法	2・3後		1			○			1				
		認知科学	2・3後		2			○			2				
	情報行動論	2・3前		2			○			2					
	情報文化論	2・3前		2			○			1	1				
	情報メディア論	2・3前		2			○			2					
基礎・専門演習科目	基礎演習	1通	2				○		7	1				共同 共同 共同	
	専門演習Ⅰ	2通	2				○		11	2					
	専門演習Ⅱ	3通	2				○		11	2					
卒業研究	卒業研究	4通	4				○		9	2					
小計59(科目)			—	56	58	0		—	12	3	0	0	0	兼2	
合計(76科目)			—	68	76	0	—	—	14	4	0	0	0	兼4	
学位又は称号		学士(情報学)	学位又は学科の分野		工学関係 経済学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。															
<共通基礎科目> ・必修科目12単位を修得すること。 ・合計22単位以上修得すること。							1学年の学期区分					2期			
<専門教育科目> (専門科目) ・「基盤科目」の必修科目20単位を修得すること。 ・「情報・データサイエンス分野科目」の必修科目16単位を修得すること。 ・「経済・経営分野科目」の必修科目10単位を修得すること。 ・合計92単位以上修得すること。							1学期の授業期間					15週			
(基礎・専門演習科目) ・6単位修得すること。															
(卒業研究) ・4単位修得すること。							1時限の授業時間					90分			
※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。															

1. 都道府県内における位置関係図 (大学キャンパス／大阪府吹田市)



1. 都道府県内における位置関係図 (課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町)



## 2. 最寄り駅からの距離・交通機関図 (大学キャンパス／大阪府吹田市)

○ 大阪駅から約15分でキャンパス

【最寄駅】 JR東海道本線「吹田駅」から約300m (徒歩約5分)  
阪急千里線 「吹田駅」から約500m (徒歩約10分)



## 2. 最寄り駅からの距離・交通機関図（課外活動運動場／奈良県北葛城郡河合町）

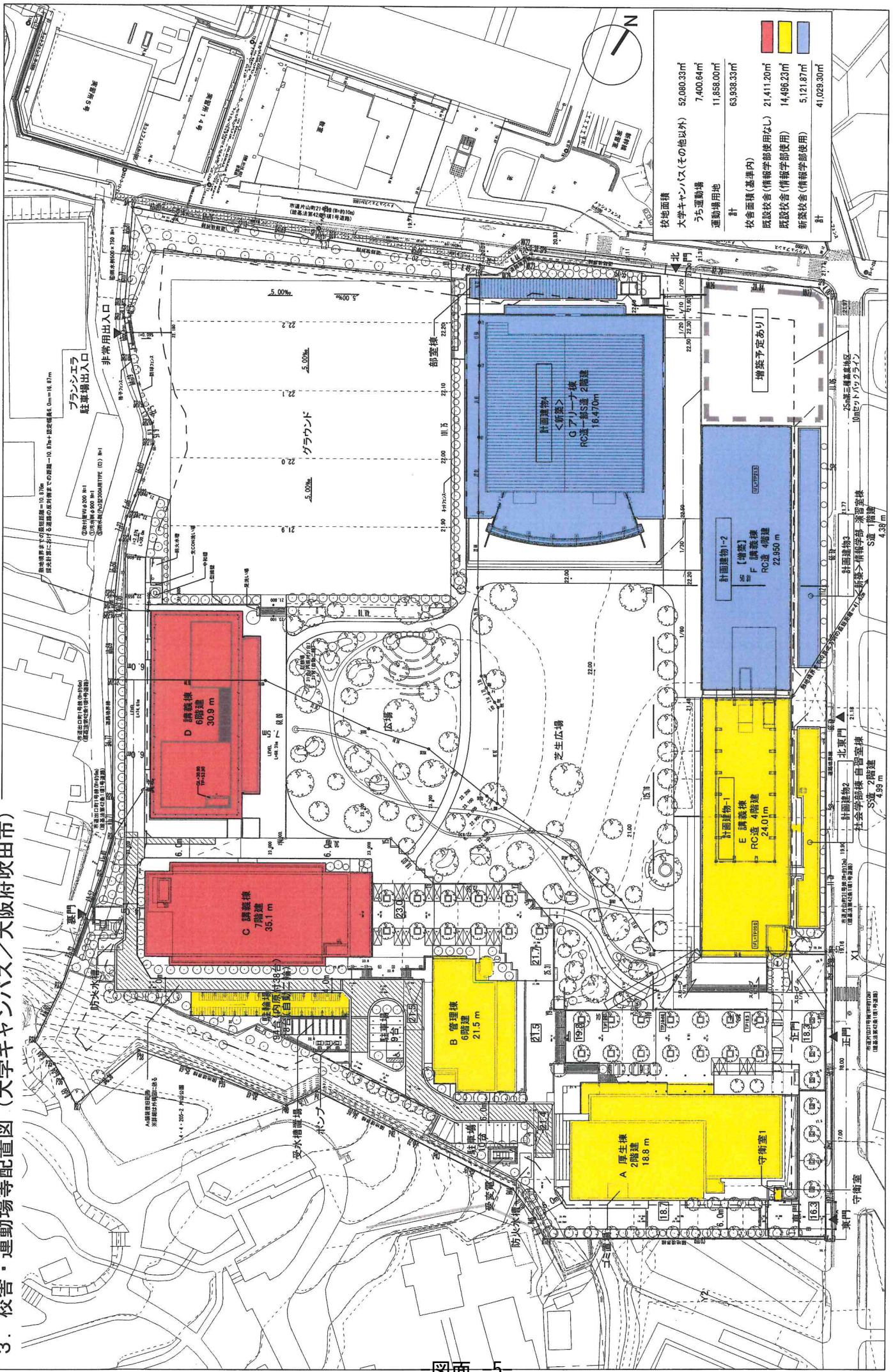
○ 大学キャンパスから、約38km（約40分）

【最寄駅】 JR「王寺駅」・近鉄「王寺駅」「新王寺駅」から約1.5km（バス3分）





### 3. 校舎・運動場等配置図 (大学キャンパス/大阪府吹田市)



# 大和大学学則（案）

## 第1章 総則

### （目的）

第1条 大和大学(以下「本学」という。)は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに基づき、高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の平和と発展に貢献する有能な人材を育成することを目的とする。

### （自己評価等）

第2条 本学の目的を達するために、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 点検及び評価については、別に定める。

3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

### （情報の公開）

第3条 本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開するものとする。

### （教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第4条 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

### （社会的・職業的自立に関する指導等）

第5条 本学は、学部等の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

## 第2章 学部、学科等及び修業年限

### （学部）

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

#### ・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

#### ・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する（2年次専攻選択制）。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学科のもとに現代社会学コース、メディア社会学コース、社会心理学コースを設け、社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

（修業年限）

第7条 本学学部の修業年限は4年とする。

（入学定員）

第8条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	学科	専攻・コース	入学定員	収容定員
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	190名 (3年次編入 初等幼児教育 専攻5名)	770名
		国語教育専攻		
		数学教育専攻		
		英語教育専攻		
保健医療学部	看護学科		100名	400名
	総合リハビリテーション学科	理学療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		作業療法学専攻	40名 (4年次編入5名)	165名
		言語聴覚学専攻	40名	160名
政治経済学部	政治・政策学科	政治学専攻	60名	240名
		政策学専攻		

	経済経営学科	経済学専攻 経営学専攻	120名	480名
理工学部	理工学科	数理科学専攻 情報科学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 建築学専攻	230名	920名
社会学部	社会学科	現代社会学コース メディア社会学コース 社会心理学コース	200名	800名
情報学部	情報学科	—	200名	800名

### 第3章 職員組織

#### (職員)

第9条 本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他の職員を置く。

2 本学に、非常勤講師、客員教授、その他必要な職員を置くことができる。

#### (学長及びその他役職)

第10条 本学に、学長を置く。学長は大学を代表するとともに、大学を統括する。

2 本学に、副学長を置くことができる。副学長は学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。

3 本学に、学部長を置く。学部長は、当該学部の学務、所属職員を統括する。

4 本学に、学部長補佐を置くことができる。学部長補佐は、学部長を助け、学部長の命を受けて学部の校務をつかさどる。

5 本学に、その他必要な役職を置くことができる。

### 第4章 大学協議会及び教授会

#### (大学協議会)

第11条 本学の管理運営に関する重要事項を審議し、理事会との連絡調整を図るため、大学協議会を置く。

2 大学協議会は、学長、学部長、学部長補佐、室長、部長及び学長が必要と認めた専任職員等によって構成する。

3 大学協議会は、学長が招集し、その議長となる。学長が議長をつとめることができない場合は、学長が指名した者がこれに代わるものとする。

4 大学協議会は、次の事項について審議し、学長が最終決定する。

- 一 大学運営、将来計画に関する事項
- 二 学則、諸規程等の制定改廃に関する事項
- 三 学部等編成、学生定員に関する事項
- 四 人事に関する事項
- 五 学生募集、入学試験に関する事項
- 六 教育課程に関する事項
- 七 学生の入学、卒業、課程の修了及び在籍に関する事項

- 八 学位授与に関する事項
- 九 教育研究に関する事項
- 十 学生の補導・賞罰に関する事項
- 十一 自己点検・評価に関する事項
- 十二 その他、重要事項

(教授会)

第12条 本学に教授会を置く。

- 2 教授会は、当該学部の専任教員をもって構成する。
- 3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - 一 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項
  - 二 学位授与に関する事項
  - 三 前二号に規定するもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が認める事項
- 4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

## 第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第13条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第14条 学年を分けて、次の2学期とする。

- 前期 4月1日から9月30日まで
- 後期 10月1日から3月31日まで

- 2 前項の期日は、当該年度の学年暦によって変更することができる。

(休業日)

第15条 休業日は、次のとおりとする。

- 一 日曜日
- 二 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に定める休日
- 三 創立記念日（6月1日）
- 四 夏期休業
- 五 冬期休業
- 六 春期休業

- 2 前項第四号から第六号は、当該年度の学年暦に定める期間とする。
- 3 学長は、必要がある場合、前項の休業日を臨時に変更し、又は臨時の休業日を定めることができる。

## 第6章 入学

(入学の時期)

第16条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別な場合は、学期の始めに入学を許可することがある。

(入学の資格)

第 17 条 各学科第 1 学年に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- 一 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 二 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- 三 外国において学校教育による 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- 四 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 五 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- 六 文部科学大臣の指定した者
- 七 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 八 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18 歳に達した者

(入学の出願)

第 18 条 入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入し、指定期日までに所定の入学手続きを行うことによって本学に願い出なければならない。

(入学者の選考)

第 19 条 入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。

- 2 選考の方法は、別に定める。

(入学手続及び入学許可)

第 20 条 前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続きを完了しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者について、入学を許可する。

(編入学)

第 21 条 本学に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する資格を有する者でなければならない。

- 一 短期大学、高等専門学校を卒業した者
  - 二 大学入学資格を有し、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程を修了した者
  - 三 その他法令で定めるところにより資格があるとされている者
- 2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位の取扱い、並びに在学すべき年数については、大学協議会の議を経て学長が決定する。

(転入学)

第 22 条 本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

- 2 転入学をすることのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。
  - 一 大学を卒業した者又は退学した者
  - 二 他の大学に在学している者
- 3 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位の取扱い、並びに在

学すべき年数については、大学協議会の議を経て学長が決定する。

(再入学)

第 23 条 正当な理由で本学を退学した者が、再入学を希望するときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ相当年次に入学を許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位の取扱い、並びに在学すべき年数については、大学協議会の議を経て学長が決定する。

## 第 7 章 教育課程、単位及び履修方法等

(教育課程)

第 24 条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目、自由選択科目に分け、これを各学年次に配当して編成するものとする。

(授業科目の区分)

第 25 条 授業科目を分けて、共通基礎科目、専門教育科目とする。

(授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数)

第 26 条 授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数は、別に定める。

(授業の方法)

第 27 条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技等により行うものとする。

(単位計算方法)

第 28 条 授業科目の単位計算方法は、次の基準によるものとする。

- 一 講義については、15 時間をもって 1 単位とする。ただし、外国語科目の講義については、30 時間をもって 1 単位とする。
- 二 演習については、30 時間をもって 1 単位とする。
- 三 実験、実習、体育実技等については、45 時間をもって 1 単位とする。
- 四 教育上必要があるときは、講義については 30 時間の講義、演習については 15 時間の演習、実験、実習、体育実技については 30 時間の実験・実習・体育実技をもって 1 単位とすることができる。
- 五 卒業論文、卒業研究等の授業科目については、単位を授与する。単位数は、学科ごとに別に定める。

(単位の認定、科目の修得及び評価)

第 29 条 授業科目を履修し、その試験、又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験に代えることを認められた科目については、この限りでない。
- 3 試験に関する事項は、別に定める。

(成績の評価)

第 30 条 成績の評価は、秀・優・良・可・不可の 5 種とし、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。

(授業日数)

第 31 条 毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め、35 週以上とする。

(履修方法)

第 32 条 学生は、4 年以上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。

2 履修方法については、別に定める履修規程の定めるところによる。

(メディアを利用して行う授業)

第 33 条 メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した情報機器その他の通信手段によって行う。

2 前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 34 条 学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第 35 条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第 36 条 学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第 29 条第 1 項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 34 条第 1 項及び第 2 項並びに前条第 1 項により、本学で修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(免許資格)

第 37 条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定により所要の単位を修得した者が教育職員免許状を取得できる学部学科、教育職員免許状の種類は次のとおりとする。

3 前項の学部学科専攻に在籍していない者が教育職員免許状を取得しようとする場合、当該学部学科専攻の教育課程における所要の単位を科目履修等によって修得することができる。

	学科	専攻	教育職員免許状の種類
教育学部	教育学科	初等幼児教育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（国語）
		国語教育専攻	高等学校教諭一種免許状（国語） 中学校教諭一種免許状（数学）



		数学教育専攻	高等学校教諭一種免許状（数学） 中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語） 特別支援学校教諭一種免許状
		英語教育専攻	
社会学部	社会学科		中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民）

第 38 条 本学学部にて、以下の免許資格に関する授業科目を開設する。

・保健医療学部

保健師、助産師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

・理工学部

第一級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士、第一級陸上無線技術士、  
第一種電気主任技術者、第一種電気通信主任技術者、一級建築士、二級建築士

・社会学部

社会調査士、司書教諭、司書、学芸員、認定心理士

2 前項の免許資格取得、受験資格取得、一部試験免除資格等の取得要件については別に定める。

## 第 8 章 休学、転学、留学、除籍及び退学

### （休学）

第 39 条 病気その他やむを得ない事由により、引き続き 3 か月以上修学できない見込みの者は、  
所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

2 病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

### （休学期間）

第 40 条 休学の期間は 1 年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、  
許可を得て更に 1 年以内に限り、期間を延長することができる。

2 休学の期間は、通算して、4 年を超えることはできない。

3 休学の期間は、第 7 条の在学年限に算入しない。

4 休学期間中にその理由が消滅した場合は、所定の手続により、学長の許可を得て復学することができる。

### （転学）

第 41 条 本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可  
を受けなければならない。

(転学部、転学科)

第42条 本学内において、他の学部、学科への転学部、転学科を志願する者があるときは、大学協議会において審議のうえ、学長が転学部、転学科を許可することがある。

2 転学部、転学科の許可を受けた者の修業年限及び既に取得した単位の取扱は、大学協議会の議を経て、学長が決定する。

(留学)

第43条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第7条に定める在学期間を含めることができる。

3 留学に関する事項は、別に定める。

(退学)

第44条 退学しようとする者は、その事由を付して、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(除籍)

第45条 次の各号の一に該当する者は、大学協議会の議を経て学長が除籍する。

一 学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

二 第7条に定める在学年限を超えた者

三 長期間にわたり行方不明の者

四 第39条第2項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者

五 死亡した者

## 第9章 卒業及び学士の学位

(卒業)

第46条 本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者について、大学協議会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

(学士の学位)

第47条 学士の学位については、別に定める。

## 第10章 賞罰

(表彰)

第48条 学生として表彰に値する行為があった者には、学長は、大学協議会の議を経て、表彰することができる。

(懲戒)

第49条 本学の諸規程に違背し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為をした者は、大学協議会の議を経て、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

二 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

- 三 正当の理由なくして出席常でない者
- 四 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 停学期間は在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

## 第11章 厚生補導

(学生指導)

第50条 本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。

- 2 前項に関する事項は別に定める。

(保健管理)

第51条 本学に保健室を置き、学生の保健管理を行う。

## 第12章 施設利用

(施設利用)

第52条 本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。

## 第13章 研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

(研究生)

第53条 本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(聴講生)

第54条 本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、本学の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生は学期ごとに許可する。

(科目等履修生)

第55条 本学の学生以外の者で、本学において一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、教育・研究に支障がない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として、入学を許可することがある。

- 2 前項の科目等履修生に対し単位を与えることができる。
- 3 科目等履修生に対する単位の授与については、第29条の規定を準用する。

(外国人留学生)

第56条 外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

## 第14章 入学検定料及び学生納付金

(入学検定料及び学生納付金)

第57条 入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

(免除等)

第58条 学業優秀である者若しくは経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。

2 休学期間中及び留学期間中の学生納付金については、別に定める。

(退学等の場合の学生納付金)

第59条 学年の中途において退学し、転学し、又は停学若しくは退学を命ぜられた者もその学年の学生納付金を納めなければならない。

(研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金)

第60条 研究生、聴講生及び科目等履修生の入学検定料及び学生納付金については、別に定める。

(返還)

第61条 納付した入学検定料及び学生納付金は、返還しない。

## 第15章 奨学金

(奨学金)

第62条 本学に奨学金の制度を設けることができる。

2 奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

## 第16章 各種講座及び講習会等

(各種講座及び講習会等)

第63条 学生の教育研究、また、地域社会の教育文化の向上に資するため、各種講座、講習会を開設することができる。

2 前項の講座、講習会実施にあたり、学長は、特任教授を任命することができる。

## 第17章 附属施設

第64条 本学に、図書館を置く。

2 図書館に関する事項は、別に定める。

## 第18章 改廃及び細則

(改廃)

第65条 本学則の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定する。

(補則)

第 66 条 本学則の施行に関する細則、その他必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (教職課程再認定申請に伴う学則の一部変更)  
(保健医療学部看護学科における教職課程認定取下げに伴う学則の一部変更)

- 1 この学則は、2019 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 37 条 教育職員免許状について、平成 30 年度以前の入学生は従前の規定を適用する。

附 則 (理工学部設置・卒業要件・改廃等に伴う学則の一部変更)

この学則は、2020 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (社会学部設置に伴う規定、教育職員免許状に関する規定の学則の一部変更)

この学則は、2021 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (政治経済学部政治行政学科の名称変更に伴う規定の一部変更)

この学則は、2022 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (情報学部設置に伴う規定の一部変更)  
(保健医療学部総合リハビリテーション学科・政治経済学部の収容定員変更に伴う規定の一部変更)

この学則は、2023 年 4 月 1 日から施行する。

第24条関係

教育学部教育学科初等幼児教育専攻 教育課程								
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	4前		○
			くらしと芸術	講義	2	4前		○
			心理学概論	講義	2	1前		○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	2前	○	
			くらしと福祉	講義	2	1後		○
			経済学概論	講義	2	1前		○
	人間と自然	情報処理	演習	2	1前	○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○	
	外国語科目		英語Ⅰ	演習	2	1前	○	
	保健体育科目		英語Ⅱ	演習	2	1後	○	
			スポーツ	演習	2	1後	○	
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○	
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○	
			卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○	
卒業研究Ⅱ			演習	2	4通	○		
専門教育科目	専門基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	1後	○	
			教育基礎論	講義	2	2後	○	
			教育心理学	講義	2	1後	○	
			教育制度論	講義	2	2後	○	
			特別支援教育入門	講義	1	1前	○	
		初等幼児教育基礎科目	幼児理解	講義	2	1後		○
			教育課程論	講義	2	1前	○	
			道徳理論と指導法	講義	2	2後	○	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	2前	○	
			教育の方法技術	講義	2	3前	○	
	生徒・進路指導論		講義	2	2後	○		
	専門科目	教科に関する科目	教育相談	講義	2	3前	○	
			初等国語Ⅰ	講義	2	1前	○	
			初等国語Ⅱ	講義	2	2前	○	
			初等社会	講義	2	3前		○
			初等算数Ⅰ	講義	2	1後	○	
			初等算数Ⅱ	講義	2	2前	○	
			初等理科	講義	2	1後	○	
			初等生活	講義	2	2前		○
			初等音楽	演習	2	1前	○	
			初等図画工作	演習	2	1後	○	
	初等家庭	講義	2	1後		○		
	初等体育	演習	2	1前	○			
	初等英語	講義	2	2前	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	教科・保育内容の指導法に関する科目	初等教科教育法(国語)	講義	2	2前	○	
		初等教科教育法(社会)	講義	2	2後	○	
		初等教科教育法(算数)	講義	2	2後	○	
		初等教科教育法(理科)	講義	2	2前	○	
		初等教科教育法(生活)	講義	2	2後	○	
		初等教科教育法(音楽)	講義	2	2後	○	
		初等教科教育法(図画工作)	講義	2	2前	○	
		初等教科教育法(家庭)	講義	2	2前	○	
		初等教科教育法(体育)	講義	2	1後	○	
		初等教科教育法(英語)	講義	2	2後	○	
		保育内容総論Ⅰ	演習	2	1前		○
		保育内容総論Ⅱ	演習	2	1後		○
		保育内容(表現)	演習	2	1後		○
		保育内容(健康)	演習	2	1後		○
		保育内容(人間関係)	演習	2	1前		○
		保育内容(環境)	演習	2	1前		○
		保育内容(言葉)	演習	2	1後		○
		特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	1前	○
	知的障害者の心理・生理・病理		講義	2	3前		○
	肢体不自由者の心理・生理・病理		講義	2	1後		○
	病弱者の心理・生理・病理		講義	2	2後		○
	知的障害者教育論		講義	2	1前	○	
	知的障害者教育課程論		講義	2	4前		○
	肢体不自由者教育論		講義	2	1前		○
	肢体不自由者教育課程論		講義	2	4前		○
	病弱者教育論		講義	2	1前		○
	病弱者教育課程論		講義	2	4後		○
	視覚障害教育総論		講義	1	3前		○
	聴覚障害教育総論		講義	1	3前		○
	重複障害教育総論		講義	2	4前		○
	発達障害教育総論		講義	2	3前	○	
	障害児教育指導法	演習	2	4後		○	
	実習科目	小学校実習事前事後指導	演習	1	3前	○	
		小学校教育実習	実習	4	3後	○	
		幼稚園実習事前事後指導	演習	1	2前		○
		幼稚園教育実習	実習	4	2後		○
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	4後		○
		障害児教育実習	実習	2	4後		○
	総合演習	教職実践演習(幼・小)	演習	2	4後	○	
	卒業論文	卒業論文	演習	4	4通	○	
	自由選択科目	AIデータサイエンス入門	講義	2	1前・後		○

第24条関係

教育学部教育学科国語教育専攻 教育課程								
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	4前		○
			くらしと芸術	講義	2	4前		○
			心理学概論	講義	2	1前		○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	2前	○	
			くらしと福祉	講義	2	1後		○
			経済学概論	講義	2	1前		○
	人間と自然	情報処理	演習	2	1前	○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○	
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	1前	○		
	英語Ⅱ	演習	2	1後	○			
	保健体科目	スポーツ	演習	2	1前	○		
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○		
		基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○		
		卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○		
卒業研究Ⅱ		演習	2	4通	○			
専門基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	1後	○		
		教育基礎論	講義	2	2後	○		
		教育心理学	講義	2	1後	○		
		教育制度論	講義	2	2後	○		
		特別支援教育入門	講義	1	1前	○		
	中等教育基礎科目	教育課程論	講義	2	1前	○		
		道徳理論と指導法	講義	2	3前	○		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	3前	○		
		教育の方法技術	講義	2	2後	○		
		生徒・進路指導論	講義	2	3前	○		
		教育相談	講義	2	3前	○		
	専門教育科目	教科に関する科目	国語学Ⅰ(音声言語含む)	講義	2	1前	○	
			国語学Ⅱ(文章表現含む)	講義	2	1後	○	
			国語文法論Ⅰ	講義	2	2後	○	
国語文法論Ⅱ			講義	2	3前	○		
国語史Ⅰ			講義	2	3前	○		
国語史Ⅱ			講義	2	4前	○		
国文学概論Ⅰ			講義	2	1前	○		
国文学概論Ⅱ			講義	2	1後	○		
国文学史Ⅰ			講義	2	1後	○		
国文学史Ⅱ			講義	2	2後	○		
国文学講読Ⅰ			講義	2	1後	○		
国文学講読Ⅱ			講義	2	2後	○		
漢文学Ⅰ			講義	2	1後	○		
漢文学Ⅱ			講義	2	2前	○		
書道(書写)		演習	2	2前	○			
教科の指導法に関する科目	中等教科教育法(国語Ⅰ)	講義	2	1後	○			
	中等教科教育法(国語Ⅱ)	講義	2	2前	○			
	中等教科教育法(国語Ⅲ)	講義	2	2後	○			
	中等教科教育法(国語Ⅳ)	講義	2	3前	○			



科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	1前	○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	3前		○
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	1後		○
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	2後		○
		知的障害者教育論	講義	2	1前	○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	4前		○
		肢体不自由者教育論	講義	2	1前		○
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	4前		○
		病弱者教育論	講義	2	1前		○
		病弱者教育課程論	講義	2	4後		○
		視覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		聴覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		重複障害教育総論	講義	2	4前		○
		発達障害教育総論	講義	2	3前	○	
	障害児教育指導法	演習	2	4後		○	
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	3前	○	
		中等教育実習	実習	4	3後	○	
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	4後		○
		障害児教育実習	実習	2	4後		○
		教職実践演習(中・高)	演習	2	4後	○	
	総合演習	演習	4	4通	○		
	卒業論文	演習	4	4通	○		
	自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	1前		○
		初等国語Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等算数Ⅰ	講義	2	1後		○
		初等算数Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等理科	講義	2	1後		○
初等音楽		演習	2	1後		○	
初等図画工作		演習	2	1後		○	
初等体育		演習	2	1後		○	
初等英語		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(国語)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(社会)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(算数)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(理科)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(生活)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(音楽)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(図画工作)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(家庭)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(体育)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(英語)		講義	2	2後		○	
小学校実習事前事後指導		演習	1	3前		○	
小学校教育実習		実習	4	3後		○	
教職実践演習(幼・小)		演習	2	4後		○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	1前・後		○	

第24条関係

教育学部教育学科数学教育専攻 教育課程								
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	4前		○
			くらしと芸術	講義	2	4前		○
			心理学概論	講義	2	1前		○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	2前	○	
			くらしと福祉	講義	2	1後		○
			経済学概論	講義	2	1前		○
	人間と自然	情報処理	演習	2	1後	○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○	
	外国語科目		英語Ⅰ	演習	2	1前	○	
	保健体育科目		英語Ⅱ	演習	2	1後	○	
			スポーツ	演習	2	1後	○	
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○	
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○	
			卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○	
卒業研究Ⅱ			演習	2	4通	○		
専門基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	1後	○		
		教育基礎論	講義	2	2後	○		
		教育心理学	講義	2	1後	○		
		教育制度論	講義	2	2後	○		
		特別支援教育入門	講義	1	1前	○		
		教育課程論	講義	2	1前	○		
	中等教育基礎科目	道徳理論と指導法	講義	2	3前	○		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	3前	○		
		教育の方法技術	講義	2	2後	○		
		生徒・進路指導論	講義	2	3前	○		
		教育相談	講義	2	3前	○		
		基礎数学	講義	2	1前	○		
		代数学Ⅰ	講義	2	1前	○		
		代数学Ⅱ	講義	2	2後	○		
専門科目	教科に関する科目	代数学Ⅲ	講義	2	3前	○		
		代数学Ⅳ	講義	2	4前	○		
		幾何学Ⅰ	講義	2	1前	○		
		幾何学Ⅱ	講義	2	2前	○		
		幾何学Ⅲ	講義	2	3前	○		
		幾何学Ⅳ	講義	2	4前	○		
		解析学Ⅰ	講義	2	1後	○		
		解析学Ⅱ	講義	2	2後	○		
		解析学Ⅲ	講義	2	3前	○		
		解析学Ⅳ	講義	2	4前	○		
		確率・統計学	講義	2	2後	○		
		コンピュータ	講義	2	1後	○		
		教科の指導法に関する科目	中等教科教育法(数学Ⅰ)	講義	2	1後	○	
			中等教科教育法(数学Ⅱ)	講義	2	2前	○	
中等教科教育法(数学Ⅲ)	講義		2	2後	○			
中等教科教育法(数学Ⅳ)	講義		2	3前	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	1前	○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	3前		○
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	1後		○
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	2後		○
		知的障害者教育論	講義	2	1前	○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	4前		○
		肢体不自由者教育論	講義	2	1前		○
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	4前		○
		病弱者教育論	講義	2	1前		○
		病弱者教育課程論	講義	2	4後		○
		視覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		聴覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		重複障害教育総論	講義	2	4前		○
		発達障害教育総論	講義	2	3前	○	
	障害児教育指導法	演習	2	4後		○	
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	3前	○	
		中等教育実習	実習	4	3後	○	
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	4後		○
		障害児教育実習	実習	2	4後		○
	総合演習	教職実践演習(中・高)	演習	2	4後	○	
	卒業論文	卒業論文	演習	4	4通	○	
	自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	1前		○
		初等国語Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等算数Ⅰ	講義	2	1後		○
		初等算数Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等理科	講義	2	1後		○
		初等音楽	演習	2	1後		○
初等図画工作		演習	2	1後		○	
初等体育		演習	2	1後		○	
初等英語		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(国語)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(社会)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(算数)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(理科)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(生活)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(音楽)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(図画工作)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(家庭)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(体育)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(英語)		講義	2	2後		○	
小学校実習事前事後指導		演習	1	3前		○	
小学校教育実習		実習	4	3後		○	
教職実践演習(幼・小)		演習	2	4後		○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	1前・後		○	

第24条関係

教育学部教育学科英語教育専攻 教育課程								
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	4前		○
			くらしと芸術	講義	2	4前		○
			心理学概論	講義	2	1前		○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	2前	○	
			くらしと福祉	講義	2	1後		○
			経済学概論	講義	2	1前		○
	人間と自然	情報処理	演習	2	1後	○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○	
	外国語科目		英語Ⅰ	演習	2	1前	○	
			英語Ⅱ	演習	2	1後	○	
	保健体育科目		スポーツ	演習	2	1前	○	
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○	
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○	
			卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○	
卒業研究Ⅱ			演習	2	4通	○		
専門基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	1後	○		
		教育基礎論	講義	2	2後	○		
		教育心理学	講義	2	1後	○		
		教育制度論	講義	2	2後	○		
		特別支援教育入門	講義	1	1前	○		
		教育課程論	講義	2	1前	○		
	中等教育基礎科目	道徳理論と指導法	講義	2	3前	○		
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	3前	○		
		教育の方法技術	講義	2	2後	○		
		生徒・進路指導論	講義	2	3前	○		
		教育相談	講義	2	3前	○		
		英語学概論Ⅰ	講義	2	1前	○		
		英語学概論Ⅱ	講義	2	1後	○		
		英文法概説Ⅰ	講義	2	1前	○		
専門科目	教科に関する科目	英文法概説Ⅱ	講義	2	1後	○		
		英語学演習Ⅰ	演習	2	4前	○		
		英語学演習Ⅱ	演習	2	4後	○		
		英語文学概論Ⅰ	講義	2	1前	○		
		英語文学概論Ⅱ	講義	2	1後	○		
		Communicative EnglishⅠ	演習	2	1前	○		
		Communicative EnglishⅡ	演習	2	1後	○		
		Intensive ListeningⅠ	演習	2	2前	○		
		Intensive ListeningⅡ	演習	2	2後	○		
		Interactive Reading	演習	2	2前	○		
		Academic Writing	演習	2	2後	○		
		異文化理解	講義	2	2前	○		
		教科の指導法に関する科目	中等教科教育法(英語Ⅰ)	講義	2	1後	○	
			中等教科教育法(英語Ⅱ)	講義	2	2前	○	
中等教科教育法(英語Ⅲ)	講義		2	2後	○			
中等教科教育法(英語Ⅳ)	講義		2	3前	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	1前	○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	3前		○
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	1後		○
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	2後		○
		知的障害者教育論	講義	2	1前	○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	4前		○
		肢体不自由者教育論	講義	2	1前		○
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	4前		○
		病弱者教育論	講義	2	1前		○
		病弱者教育課程論	講義	2	4後		○
		視覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		聴覚障害教育総論	講義	1	3前		○
		重複障害教育総論	講義	2	4前		○
		発達障害教育総論	講義	2	3前	○	
	障害児教育指導法	演習	2	4後		○	
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	3前	○	
		中等教育実習	実習	4	3後	○	
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	4後		○
		障害児教育実習	実習	2	4後		○
	総合演習	教職実践演習(中・高)	演習	2	4後	○	
	卒業論文	卒業論文	演習	4	4通	○	
	自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	1前		○
		初等国語Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等算数Ⅰ	講義	2	1後		○
		初等算数Ⅱ	講義	2	2前		○
		初等理科	講義	2	1後		○
		初等音楽	演習	2	1後		○
初等図画工作		演習	2	1後		○	
初等体育		演習	2	1後		○	
初等英語		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(国語)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(社会)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(算数)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(理科)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(生活)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(音楽)		講義	2	2後		○	
初等教科教育法(図画工作)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(家庭)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(体育)		講義	2	2前		○	
初等教科教育法(英語)		講義	2	2後		○	
小学校実習事前事後指導		演習	1	3前		○	
小学校教育実習		実習	4	3後		○	
教職実践演習(幼・小)		演習	2	4後		○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	1前・後		○	

第24条関係

保健医療学部看護学科 教育課程									
科目区分		授業科目の名称		授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	1後	○		
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○		
		人間と自然	情報処理	演習	2	1後	○		
	外国語科目		基礎統計学	講義	2	1後	○		
			英語Ⅰ	演習	2	1前	○		
	保健体育科目		英語Ⅱ	演習	2	1後	○		
			スポーツ	演習	2	1前	○		
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○		
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○		
			卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○		
			卒業研究Ⅱ	演習	2	4通	○		
	専門教育科目	専門共通科目		チーム医療概論Ⅰ	講義	1	1前	○	
				チーム医療概論Ⅱ	講義	1	1後	○	
人体の構造と機能			人体の構造と機能Ⅰ(循環・骨格・筋系等)	演習	2	1前	○		
			人体の構造と機能Ⅱ(神経・内分泌・消化器等)	演習	2	1前	○		
			生化学	講義	2	1前	○		
疾病の成り立ちと回復の促進			病態学総論	講義	1	1後	○		
			病態治療論Ⅰ(呼吸と循環)	講義	2	1後	○		
			病態治療論Ⅱ(代謝と栄養)	講義	2	1後	○		
			病態治療論Ⅲ(神経と運動)	講義	2	1後	○		
			病態治療論Ⅳ(血液)	講義	1	2前	○		
			病態治療論Ⅴ(排泄・感覚)	講義	1	2前	○		
			微生物と感染	講義	2	1後	○		
			治療学総論	講義	1	1前	○		
社会と健康支援制度			薬理学	講義	2	2前	○		
			看護と法律	講義	1	3前	○		
			環境と健康	講義	1	1前	○		
			保健医療福祉行政論	講義	2	3前	○		
			精神保健	講義	2	2前	○		
			食品・栄養学	講義	1	2前	○		

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	基礎看護学	基礎看護学総論Ⅰ	講義	2	1前	○		
		基礎看護学総論Ⅱ	講義	2	1後	○		
		基礎看護技術論Ⅰ	講義	2	1前	○		
		基礎看護技術論Ⅱ	講義	2	1後	○		
		基礎看護学演習Ⅰ	演習	1	1前	○		
		基礎看護学演習Ⅱ	演習	1	1後	○		
		基礎看護学演習Ⅲ	演習	1	2前	○		
		基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	1後	○		
		基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	2前	○		
		臨床応用看護学	成人看護学総論	講義	2	1後	○	
			成人臨床看護学Ⅰ	講義	2	2前	○	
			成人臨床看護学Ⅱ	講義	2	2後	○	
			成人看護学演習	演習	1	3前	○	
			成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	実習	3	3後	○	
			成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)	実習	3	3後	○	
			老年看護学総論	講義	2	2前	○	
	老年臨床看護学		講義	2	2後	○		
	老年看護学演習		演習	1	3前	○		
	老年看護学実習Ⅰ(生活援助)		実習	2	3後	○		
	老年看護学実習Ⅱ(健康障害)		実習	2	3後	○		
	小児看護学総論		講義	2	2前	○		
	小児臨床看護学		講義	2	2後	○		
	小児看護学演習		演習	1	3前	○		
	小児看護学実習		実習	2	4前	○		
	母性看護学総論		講義	2	2前	○		
	母性臨床看護学		講義	2	2後	○		
	母性看護学演習		演習	1	3前	○		
	母性看護学実習		実習	2	4前	○		
	精神看護学総論		講義	2	2前	○		
	精神臨床看護学		講義	2	2後	○		
	精神看護学演習		演習	1	3前	○		
	精神看護学実習		実習	2	3後	○		
	統合看護学		在宅看護学総論	講義	1	2前	○	
			在宅臨床看護学	講義	2	2後	○	
			在宅看護学演習	演習	1	3前	○	
			在宅看護学実習	実習	2	4前	○	
		家族ケア論	講義	1	4後		○	
		国際看護	講義	1	4後		○	
		災害看護	講義	1	4後		○	
		看護と安全	講義	2	3前	○		
		看護倫理	講義	1	1後	○		
		看護管理	講義	1	3前	○		
	統合実習	実習	2	4前	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学総論	講義	2	2前	○
			健康相談活動の理論及び方法	講義	2	2後	○
			産業保健論	講義	2	3前	○
			学校保健論(学校安全を含む)	講義	2	2前	○
			公衆衛生看護活動論	講義	2	2後	○
			公衆衛生学	講義	1	1後	○
			疫学	講義	1	2後	○
			保健基礎統計学	講義	2	3前	○
			公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	実習	1	3後	○
			公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	実習	2	4前	○
	公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	実習	2	4後	○		
	助産学	助産学概論	講義	2	2前	○	
		助産管理論	講義	2	2後	○	
		周産期医学	講義	2	2後	○	
		助産診断・技術学概論	講義	1	3前	○	
		助産診断・技術学Ⅰ	演習	1	3前	○	
		助産診断・技術学Ⅱ	演習	1	3前	○	
		助産診断・技術学Ⅲ	演習	1	3前	○	
		助産診断・技術学Ⅳ	演習	1	3前	○	
		助産学実習Ⅰ	実習	5	4前	○	
		助産学実習Ⅱ	実習	6	4後	○	
	卒業論文	研究方法論	講義	2	2後	○	
		卒業論文	演習	2	4通	○	
	自由選択科目	言葉と文学	講義	2			○
		くらしと芸術	講義	2			○
		心理学概論	講義	2			○
		哲学概論	講義	2			○
生活文化概論		講義	2			○	
くらしと福祉		講義	2			○	
くらしと人権		講義	2			○	
国際関係論		講義	2			○	
経済学概論		講義	2			○	
経営学入門		講義	2			○	
政治学入門		講義	2			○	
行政学入門		講義	2			○	
現代社会学		講義	2			○	
健康科学概論		講義	2			○	
AIデータサイエンス入門		講義	2			○	



第24条関係

保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法専攻 教育課程									
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目		
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	1後	○		
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○		
		人間と自然	情報処理	演習	2	1前	○		
			基礎統計学	講義	2	1後	○		
	社会の理解	発達心理学	講義	2	1前	○			
		教育の方法技術	講義	2	1後	○			
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	1前	○			
		英語Ⅱ	演習	2	1後	○			
	保健体育科目	スポーツ	演習	2	1後	○			
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○		
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○		
			卒業研究Ⅰ	演習	1	3前	○		
			卒業研究Ⅱ	演習	1	3後	○		
			卒業研究Ⅲ	演習	1	4後	○		
		卒業研究Ⅳ	演習	1	4後	○			
専門教育科目	専門共通科目		チーム医療概論Ⅰ	講義	1	1前	○		
			チーム医療概論Ⅱ	講義	1	1後	○		
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学総論	講義	2	1前	○		
			解剖学Ⅰ(骨・筋の形態学)	講義	2	1前	○		
			解剖学Ⅱ(神経の形態学)	講義	2	1後	○		
			生理学Ⅰ	講義	2	1前	○		
			生理学Ⅱ	講義	2	1後	○		
			運動学	講義	2	1後	○		
			運動学演習	演習	1	2前	○		
			人間発達学	講義	2	2前	○		
			臨床心理学	講義	2	2前	○		
			疾病と障害の成り立ちの回復過程の促進	病理学	講義	1	2後	○	
				内科学	講義	2	2後	○	
				臨床神経学	講義	2	2前	○	
				整形外科	講義	2	2前	○	
				精神医学	講義	2	2前	○	
	小児科学	講義		2	2後	○			
	リハビリテーション医学Ⅰ	講義		2	2前	○			
	リハビリテーション医学Ⅱ	講義		2	2後	○			
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	1前	○			
		保健医療論	講義	2	1前	○			
		社会保障制度	講義	2	2後	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	講義	2	1前	○	
			基礎理学療法学	講義	2	1後	○	
			基礎理学療法学演習	演習	2	2前	○	
		理学療法管理学	理学療法管理学	講義	2	2後	○	
			基礎理学療法評価学	講義	2	1後	○	
		理学療法評価学	神経系検査法	講義	2	2後	○	
			運動器系検査法	演習	2	2前	○	
			運動・動作分析学演習	演習	1	2後	○	
		理学療法治療学	運動器障害理学療法学	講義	1	3前	○	
			運動器障害理学療法学演習	演習	1	3後	○	
			神経系理学療法	講義	1	2前	○	
			中枢神経障害理学療法学	講義	1	3前	○	
			中枢神経障害理学療法学演習	演習	1	3後	○	
			発達障害理学療法学	講義	1	3前	○	
			発達障害理学療法学演習	演習	1	3後	○	
			内部・循環障害理学療法学	講義	1	3前	○	
			内部・循環障害理学療法学演習	演習	1	3後	○	
			理学療法評価治療演習	演習	1	3後	○	
			物理療法学	講義	1	3前	○	
			物理療法学演習	演習	1	3後	○	
			呼吸障害理学療法学	講義	1	3前	○	
			呼吸障害理学療法学演習	演習	1	3後	○	
			日常生活活動評価学	講義	1	3前	○	
			日常生活活動指導法	講義	1	3後	○	
			義肢学・装具学	講義	1	3前	○	
			スポーツ障害学	講義	1	2後	○	
			理学療法特論Ⅰ	演習	3	4後	○	
			理学療法特論Ⅱ	演習	3	4後	○	
			理学療法特論Ⅲ	演習	3	4後	○	
			地域理学療法学	地域理学療法学	講義	2	3前	○
				生活環境整備学	講義	1	3前	○
		臨床実習	理学療法学臨床実習Ⅰ	実習	2	2前	○	
			理学療法学臨床実習Ⅱ	実習	3	3後	○	
			理学療法学臨床実習Ⅲ	実習	7	4前	○	
			理学療法学臨床実習Ⅳ	実習	8	4前	○	
		卒業論文	研究方法論	講義	2	2前	○	
			卒業論文	演習	2	4後	○	
		自由選択科目	言葉と文学	講義	2		○	
			くらしと芸術	講義	2		○	
			心理学概論	講義	2		○	
			哲学概論	講義	2		○	
			生活文化概論	講義	2		○	
			くらしと福祉	講義	2		○	
			くらしと人権	講義	2		○	
			国際関係論	講義	2		○	
			経済学概論	講義	2		○	
			経営学入門	講義	2		○	
政治学入門	講義		2		○			
行政学入門	講義		2		○			
現代社会学	講義		2		○			
健康科学概論	講義		2		○			
AIデータサイエンス入門	講義		2		○			

4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	備考
共通基礎科目	外国語科目	英語Ⅱ	演習	2	4後	○		「英語Ⅱ」に読替
	キャリア・ガイダンス科目	卒業研究Ⅳ	演習	1	4後	○		「卒業研究Ⅳ」に読替

第24条関係

保健医療学部総合リハビリテーション学科作業療法学専攻 教育課程									
科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目		
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	1後	○		
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○		
		人間と自然	情報処理	演習	2	1前	○		
			基礎統計学	講義	2	1後	○		
	社会の理解	発達心理学	講義	2	1前	○			
		教育の方法技術	講義	2	1後	○			
	外国語科目		英語Ⅰ	演習	2	1前	○		
			英語Ⅱ	演習	2	1後	○		
	保健体育科目		スポーツ	演習	2	1後	○		
	キャリア・ガイダンス科目		基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○		
			基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○		
			卒業研究Ⅰ	演習	1	3前	○		
			卒業研究Ⅱ	演習	1	3後	○		
			卒業研究Ⅲ	演習	1	4後	○		
		卒業研究Ⅳ	演習	1	4後	○			
専門教育科目	専門共通科目		チーム医療概論Ⅰ	講義	1	1前	○		
			チーム医療概論Ⅱ	講義	1	1後	○		
	専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学総論	講義	2	1前	○		
			解剖学Ⅰ(骨・筋の形態学)	講義	2	1前	○		
			解剖学Ⅱ(神経の形態学)	講義	2	1後	○		
			生理学Ⅰ	講義	2	1前	○		
			生理学Ⅱ	講義	2	1後	○		
			運動学	講義	2	1後	○		
			運動学演習	演習	1	2前	○		
			人間発達学	講義	2	2前	○		
			臨床心理学	講義	2	2前	○		
			疾病と障害の成り立ちの促進	病理学	講義	1	2後	○	
				内科学	講義	2	2後	○	
				臨床神経学	講義	2	2前	○	
	整形外科学	講義		2	2前	○			
	精神医学	講義		2	2前	○			
	小児科学	講義		2	2後	○			
	リハビリテーション医学Ⅰ	講義		2	2前	○			
	リハビリテーション医学Ⅱ	講義		2	2後	○			
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	1前	○			
		保健医療論	講義	2	1前	○			
		社会保障制度	講義	2	2後	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	2	1前	○		
		基礎作業療法学Ⅰ	講義	1	1後	○		
		基礎作業療法学Ⅱ	講義	2	2前	○		
	作業療法管理学	作業療法管理学	講義	2	3前	○		
		作業療法評価学	作業療法評価	講義	1	2前	○	
	作業療法評価学	身体機能評価法	演習	1	2後	○		
		精神機能評価法	講義	1	2後	○		
		日常生活活動	講義	1	2前	○		
		作業療法評価演習Ⅰ	演習	1	2後	○		
		作業療法評価演習Ⅱ	演習	1	3後	○		
		作業治療学	身体障害の作業療法Ⅰ	講義	1	2後	○	
			身体障害の作業療法Ⅱ	講義	1	2後	○	
	身体障害演習		演習	1	3前	○		
	精神障害の作業療法		講義	1	3前	○		
	精神障害演習		演習	1	3後	○		
	発達障害の作業療法		講義	1	3前	○		
	発達障害演習		演習	1	3後	○		
	高次脳機能障害の作業療法		講義	2	3前	○		
	老年期障害の作業療法		講義	1	3前	○		
	老年期障害演習		演習	1	3後	○		
	作業療法特論Ⅰ		講義	2	4後	○		
	作業療法特論Ⅱ		講義	2	4後	○		
	作業療法特論Ⅲ		講義	2	4後	○		
	作業療法特論Ⅳ		講義	3	4後	○		
	作業療法特論Ⅴ		講義	3	4後	○		
	作業療法特論Ⅵ		講義	3	4後	○		
	地域作業療法学	地域作業療法	講義	2	3前	○		
		地域作業療法演習	演習	1	3後	○		
		生活環境整備学	講義	1	3後	○		
	臨床実習	作業療法学臨床実習Ⅰ	実習	1	2前	○		
		作業療法学臨床実習Ⅱ	実習	4	3後	○		
		作業療法学臨床実習Ⅲ	実習	9	4前	○		
		作業療法学臨床実習Ⅳ	実習	9	4前	○		
	卒業論文	研究方法論	講義	2	2前	○		
		卒業論文	演習	2	4後	○		
	自由選択科目	言葉と文学	講義	2			○	
		くらしと芸術	講義	2			○	
		心理学概論	講義	2			○	
		哲学概論	講義	2			○	
		生活文化概論	講義	2			○	
		くらしと福祉	講義	2			○	
		くらしと人権	講義	2			○	
国際関係論		講義	2			○		
経済学概論		講義	2			○		
経営学入門		講義	2			○		
政治学入門		講義	2			○		
行政学入門		講義	2			○		
現代社会学		講義	2			○		
健康科学概論		講義	2			○		
AIデータサイエンス入門		講義	2			○		

4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科作業療法学専攻)

科目区分			授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	備考
共通基礎科目	外国語科目		英語演習	演習	2	4後	○		「英語Ⅱ」に読替
	キャリア・ガイダンス科目		卒業研究A	演習	1	4前	○		「卒業研究Ⅱ」に読替
			卒業研究B	演習	1	4後	○		「卒業研究Ⅲ」に読替
			卒業研究C	演習	1	4前	○		「卒業研究Ⅳ」に読替
専門教育科目	専門科目	作業治療学	作業療法特論A	講義	3	4通	○		「作業療法特論Ⅳ」に読替
			作業療法特論B	講義	3	4通	○		「作業療法特論Ⅴ」に読替
			作業療法特論C	講義	3	4通	○		「作業療法特論Ⅵ」に読替

第24条関係

保健医療学部総合リハビリテーション学科言語聴覚学専攻 教育課程								
科目区分		授業科目の名称		授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	1後	○	
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○	
		人間と自然	情報処理	演習	2	1前	○	
	基礎統計学		講義	2	1後	○		
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	1前	○		
		英語Ⅱ	演習	2	1後	○		
	保健体育科目	スポーツ	演習	2	1後	○		
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	1通	○		
		基礎セミナーⅡ	演習	2	2通	○		
		卒業研究Ⅰ	演習	2	3通	○		
卒業研究Ⅱ		演習	2	4通	○			
専門教育科目	専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	講義	1	1前	○		
		チーム医療概論Ⅱ	講義	1	1後	○		
	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学総論	講義	2	1前	○		
		解剖学	講義	2	1後	○		
		生理学Ⅰ	講義	2	1前	○		
		病理学	講義	1	2後	○		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学	講義	2	2後	○		
		臨床神経学	講義	2	2前	○		
		精神医学	講義	2	2前	○		
		小児科学	講義	2	2後	○		
		リハビリテーション医学診断学	講義	1	2前	○		
		耳鼻咽喉科学	講義	2	2後	○		
		形成外科学	講義	1	2後	○		
		臨床歯科学(口腔外科学を含む)	講義	1	2後	○		
		発声発語系医学	講義	1	2前	○		
		神経系医学	講義	1	2前	○		
		聴覚系医学	講義	1	2前	○		
		ことばとこころの科学	発達心理学	講義	2	1前	○	
	臨床心理学		講義	2	2前	○		
	学習・認知心理学		講義	2	1前	○		
	心理測定法		講義	1	2後	○		
	言語学		講義	2	1後	○		
	音声学		講義	2	1後	○		
	音響学(聴覚心理学を含む)		講義	2	1後	○		
	言語発達学		講義	1	1後	○		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	1前	○		
		保健医療論	講義	2	1前	○		
		社会保障制度	講義	2	2後	○		

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	専門科目	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	講義	2	1前	○	
			言語聴覚障害診断学	講義	2	1後	○	
			言語聴覚障害診断学演習	演習	1	2前	○	
		失語・高次脳機能障害学	失語症学	講義	2	2後	○	
			失語症評価学	講義	2	3前	○	
			高次脳機能障害学	講義	2	3前	○	
			失語・高次脳機能障害治療学	講義	2	3後	○	
		言語発達障害学	言語発達障害学	講義	2	2前	○	
			言語発達障害評価演習	演習	1	3後	○	
			小児言語聴覚教材演習	演習	1	3後	○	
			言語発達障害治療学	講義	2	3前	○	
		発声発語・嚥下障害学	器質・機能的発声発語障害学	講義	2	3前	○	
			運動性発声発語障害学	講義	2	3前	○	
			発声発語評価演習	演習	1	3後	○	
			摂食・嚥下障害学	講義	2	3前	○	
			摂食・嚥下障害評価演習	演習	1	3後	○	
		聴覚障害学	発声発語・嚥下障害治療学	講義	2	3前	○	
			聴覚障害学	講義	2	3前	○	
			聴覚障害治療学	講義	2	3後	○	
			聴覚検査法	講義	2	3後	○	
		臨床実習	補聴器・人工内耳	講義	1	3後	○	
			言語聴覚学臨床実習Ⅰ	実習	1	2前	○	
			言語聴覚学臨床実習Ⅱ	実習	3	3後	○	
			言語聴覚学臨床実習Ⅲ	実習	4	4前	○	
		卒業論文	言語聴覚学臨床実習Ⅳ	実習	4	4前	○	
			研究方法論	講義	2	2後	○	
		選択必修科目	卒業論文	演習	2	4通	○	
			言語聴覚評価特論	講義	2	4後	○	
			失語・高次脳機能障害特論	講義	2	4後	○	
		自由選択科目	摂食・嚥下障害特論	講義	2	4後	○	
			言葉と文学	講義	2			○
			くらしと芸術	講義	2			○
			心理学概論	講義	2			○
			哲学概論	講義	2			○
			生活文化概論	講義	2			○
			くらしと福祉	講義	2			○
			くらしと人権	講義	2			○
			国際関係論	講義	2			○
			経済学概論	講義	2			○
			経営学入門	講義	2			○
			政治学入門	講義	2			○
			行政学入門	講義	2			○
現代社会学	講義		2			○		
健康科学概論	講義		2			○		
AIデータサイエンス入門	講義	2			○			



第24条関係

政治経済学部政治・政策学科 教育課程								
科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	政治学専攻	政策学専攻
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	1前		○	
		くらしと芸術	講義	2	1前		○	
		心理学概論	講義	2	1前		○	
		哲学概論	講義	2	1後		○	
		生活文化概論	講義	2	1前		○	
	人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○		
		福祉と人権	講義	2	1前		○	
		地理学	講義	2	1後		○	
		近現代史	講義	2	1後		○	
		地球環境論	講義	2	1後		○	
	人間と自然	国際コミュニケーション論	講義	2	1後		○	
		情報処理Ⅰ	演習	1	1前	○		
		情報処理Ⅱ	演習	1	1後	○		
		基礎数学	講義	2	1前		○	
		科学史	講義	2	1後		○	
	外国語科目	AI・データサイエンス	講義	2	1後		○	
		英語Ⅰ	演習	1	1前	○		
		英語Ⅱ	演習	1	1後	○		
		英語Ⅲ	演習	1	2前	○		
		英語Ⅳ	演習	1	2後	○		
		英語基礎演習Ⅰ	演習	1	1前		○	
		英語基礎演習Ⅱ	演習	1	1後		○	
		TOEIC英語Ⅰ	演習	1	2前		○	
		TOEIC英語Ⅱ	演習	1	2後		○	
		英会話Ⅰ	演習	1	1前		○	
		英会話Ⅱ	演習	1	1後		○	
		ビジネス英語	演習	1	3前		○	
		日本語Ⅰ	演習	1	1前		○	
		日本語Ⅱ	演習	1	1後		○	
	日本語Ⅲ	演習	1	2前		○		
	日本語Ⅳ	演習	1	2後		○		
	保健体育科目	スポーツⅠ	実験・実習	1	1前	○		
		スポーツⅡ	実験・実習	1	1後	○		
		健康科学概論	講義	2	1前		○	
	基礎演習科目	基礎演習Ⅰ	演習	2	1通	○		
		基礎演習Ⅱ	演習	2	2通	○		
キャリア・ガイダンス科目	キャリア・ガイダンスⅠ	演習	2	1通	○			
	キャリア・ガイダンスⅡ	演習	2	2通	○			
	キャリア・ガイダンスⅢ	演習	2	3通	○			
	キャリア・ガイダンスⅣ	演習	2	4通	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	政治学専攻	政策学専攻
専門教育科目	基盤科目	政治学入門	講義	2	1前	○		-	
		政策学概論	講義	2	1後	○			
		法学概論	講義	2	1前	○			
		経済学基礎	講義	2	1前	○			
		経営学入門	講義	2	1後	○			
	政治分野科目	政治学Ⅰ	講義	2	1後		○	「政治学Ⅰ」「政治学Ⅱ」「日本国憲法特論」を含み24単位以上	8単位以上
		政治学Ⅱ	講義	2	2前		○		
		日本国憲法特論	講義	2	1後		○		
		国家論	講義	2	2前		○		
		議会政治論	講義	2	2前		○		
		政治体制論	講義	2	2後		○		
		政治過程論	講義	2	2前		○		
		比較政治学	講義	2	3前・4前		○		
		政党政治論	講義	2	3前・4前		○		
		政治思想史	講義	2	2後		○		
		政治哲学	講義	2	3前・4前		○		
		日本政治史	講義	2	2前		○		
		欧米政治史	講義	2	3前・4前		○		
		アジア政治史	講義	2	3後・4後		○		
		国際政治学	講義	2	2後		○		
		日本の政治と外交	講義	2	3前・4前		○		
		平和安全保障論	講義	2	3後・4後		○		
		国際機関論	講義	2	3後・4後		○		
		NPO/NGO論	講義	2	3後・4後		○		
		発展途上国論	講義	2	3後・4後		○		
	国際法	講義	2	3前・4前		○			
	マスメディア論Ⅰ	講義	2	2後		○			
	マスメディア論Ⅱ	講義	2	3前・4前		○			
	政治学実践演習	演習	2	3通		○			
	政策分野科目	行政学	講義	2	1後		○	8単位以上	論「行政学」「社会学」「社会保障論」を含み24単位以上
		地方自治論	講義	2	2前		○		
		公共政策学Ⅰ	講義	2	2前		○		
		公共政策学Ⅱ	講義	2	2後		○		
		政策評価論	講義	2	3前・4前		○		
		公務員論	講義	2	3後・4後		○		
		都市・地域政策	講義	2	2前		○		
自治体経営論		講義	2	3前・4前		○			
地方財政論		講義	2	3前・4前		○			
社会保障論		講義	2	2前		○			
環境政策論		講義	2	3後・4後		○			
経済政策論		講義	2	3前・4前		○			
金融政策論		講義	2	3前・4前		○			
福祉行政と人権		講義	2	2後		○			
社会政策		講義	2	3前・4前		○			
民法		講義	2	2前		○			
行政法		講義	2	2前		○			
地方自治法		講義	2	2後		○			
労働法		講義	2	3前・4前		○			
現代情報法	講義	2	3後・4後		○				
地方自治特論	講義	2	2後		○				
政策学実践演習	演習	2	3通		○				

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	政治学専攻	政策学専攻
専門教育科目	関連分野科目	社会学概論	講義	2	2前		○	8単位以上	8単位以上
		国際関係論	講義	2	2前		○		
		ミクロ経済学	講義	2	1後		○		
		マクロ経済学	講義	2	1後		○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○		
		ゲーム理論	講義	2	2前		○		
		経済分析Ⅰ	講義	2	2後		○		
		経済統計学	講義	2	2後		○		
		経済史	講義	2	2前		○		
		産業組織論	講義	2	2後		○		
		経済地理学	講義	2	2前		○		
		国際経済学	講義	2	2後		○		
		財政学	講義	2	2前		○		
		金融論	講義	2	2後		○		
		経済学演習	演習	2	1通		○		
		経営戦略論	講義	2	2前		○		
		経営組織論	講義	2	2前		○		
		経営管理論	講義	2	2後		○		
		経営分析論	講義	2	2後		○		
		経営情報論	講義	2	2後		○		
		企業統治論	講義	2	2後		○		
		マーケティング論	講義	2	2前		○		
		中小企業論	講義	2	2前		○		
		簿記Ⅰ	講義	2	1前		○		
		簿記Ⅱ	講義	2	1後		○		
		会計学基礎	講義	2	2前		○		
		原価計算論	講義	2	2前		○		
	財務会計論	講義	2	2後		○			
	税法	講義	2	2後		○			
	会社法	講義	2	2後		○			
	経済法	講義	2	2前		○			
	産業社会学	講義	2	2前		○			
	社会心理学	講義	2	2前		○			
社会調査論	講義	2	2後		○				
情報と法の倫理／情報セキュリティ	講義	2	3前・4前		○				
知的財産権	講義	2	3前・4前		○				
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	演習	2	1通		○			
	キャリア研究Ⅱ	演習	2	2通		○			
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	実験・実習	2	1通		○			
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	演習	2	2通		○			
卒業論文	卒業論文Ⅰ	演習	4	3通		○			
	卒業論文Ⅱ	演習	4	4通		○			

第24条関係

政治経済学部経済経営学科 教育課程								経済学専攻	経営学専攻
科目区分	授業科目の名称		授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目		
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	1前		○	
			くらしと芸術	講義	2	1前		○	
			心理学概論	講義	2	1前		○	
			哲学概論	講義	2	1後		○	
			生活文化概論	講義	2	1前		○	
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1前	○		
			福祉と人権	講義	2	1前		○	
			地理学	講義	2	1後		○	
			近現代史	講義	2	1後		○	
			地球環境論	講義	2	1後		○	
		人間と自然	国際コミュニケーション論	講義	2	1後		○	
			情報処理Ⅰ	演習	1	1前	○		
			情報処理Ⅱ	演習	1	1後	○		
			基礎数学	講義	2	1前		○	
	科学史		講義	2	1後		○		
	外国語科目	AI・データサイエンス	講義	2	1後		○		
		英語Ⅰ	演習	1	1前	○			
		英語Ⅱ	演習	1	1後	○			
		英語Ⅲ	演習	1	2前	○			
		英語Ⅳ	演習	1	2後	○			
		英語基礎演習Ⅰ	演習	1	1前		○		
		英語基礎演習Ⅱ	演習	1	1後		○		
		TOEIC英語Ⅰ	演習	1	2前		○		
		TOEIC英語Ⅱ	演習	1	2後		○		
		英会話Ⅰ	演習	1	1前		○		
		英会話Ⅱ	演習	1	1後		○		
		ビジネス英語	演習	1	3前		○		
		日本語Ⅰ	演習	1	1前		○		
		日本語Ⅱ	演習	1	1後		○		
		日本語Ⅲ	演習	1	2前		○		
		日本語Ⅳ	演習	1	2後		○		
	保健体育科目	スポーツⅠ	実験・実習	1	1前	○			
		スポーツⅡ	実験・実習	1	1後	○			
	基礎演習科目	健康科学概論	講義	2	1前		○		
		基礎演習Ⅰ	演習	2	1通	○			
	キャリア・ガイダンス科目	基礎演習Ⅱ	演習	2	2通	○			
		キャリア・ガイダンスⅠ	演習	2	1通	○			
		キャリア・ガイダンスⅡ	演習	2	2通	○			
		キャリア・ガイダンスⅢ	演習	2	3通	○			
			キャリア・ガイダンスⅣ	演習	2	4通	○		

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	経済学専攻	経営学専攻
専門教育科目	基盤科目	政治学入門	講義	2	1前	○		-	
		政策学概論	講義	2	1後	○			
		法学概論	講義	2	1前	○			
		経済学基礎	講義	2	1前	○			
		経営学入門	講義	2	1後	○			
	経済分野科目	ミクロ経済学	講義	2	1後		○	「基礎統計学」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済学演習」を含み24単位以上	8単位以上
		マクロ経済学	講義	2	1後		○		
		経済学演習	演習	2	1通		○		
		基礎統計学	講義	2	2前		○		
		ゲーム理論	講義	2	2前		○		
		経済分析Ⅰ	講義	2	2後		○		
		経済統計学	講義	2	2後		○		
		経済史	講義	2	2前		○		
		産業組織論	講義	2	2後		○		
		経済地理学	講義	2	2前		○		
		国際経済学	講義	2	2後		○		
		財政学	講義	2	2前		○		
		計量経済学	講義	2	3前・4前		○		
		経済分析Ⅱ	講義	2	3前・4前		○		
		公共経済学	講義	2	3前・4前		○		
		アジア経済論	講義	2	3前・4前		○		
		欧米経済論	講義	2	3後・4後		○		
		国際貿易・流通論	講義	2	3前・4前		○		
		労働経済学	講義	2	3前・4前		○		
		環境経済学	講義	2	3後・4後		○		
		農業経済学	講義	2	3前・4前		○		
		経済政策論	講義	2	3前・4前		○		
		金融論	講義	2	2後		○		
		金融政策論	講義	2	3前・4前		○		
		ファイナンス	講義	2	3前・4前		○		
		証券市場論	講義	2	3後・4後		○		
		銀行論	講義	2	3後・4後		○		
	国際金融論	講義	2	3後・4後		○			
	経営分野科目	経営戦略論	講義	2	2前		○	8単位以上	「簿記Ⅰ」「マーケティング論」「簿記Ⅱ」を含み24単位以上
		経営組織論	講義	2	2前		○		
		経営管理論	講義	2	2後		○		
		経営分析論	講義	2	2後		○		
		経営情報論	講義	2	2後		○		
		企業統治論	講義	2	2後		○		
		マーケティング論	講義	2	2前		○		
		中小企業論	講義	2	2前		○		
		流通経済論	講義	2	1後		○		
市場調査論		講義	2	2前		○			
商品企画論		講義	2	2前		○			
生産管理論		講義	2	2後		○			
人的資源管理論		講義	2	3前・4前		○			
事業創造・承継論		講義	2	3後・4後		○			
リスクマネジメント論		講義	2	2前		○			
観光産業論		講義	2	3前・4前		○			
地域産業論		講義	2	3前・4前		○			
簿記Ⅰ		講義	2	1前		○			
簿記Ⅱ		講義	2	1後		○			
会計学基礎		講義	2	2前		○			
原価計算論		講義	2	2前		○			
財務会計論		講義	2	2後		○			
管理会計論		講義	2	2前		○			
会計監査論		講義	2	3後・4後		○			
税務会計論		講義	2	3前・4前		○			
ビジネス倫理	講義	2	3前・4前		○				

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	経済学専攻	経営学専攻
専門教育科目	専門科目 関連分野科目	経営学実践演習Ⅰ	演習	2	2後		○	8単位以上	8単位以上
		経営学実践演習Ⅱ	演習	2	3前・4前		○		
		社会学概論	講義	2	2前		○		
		国際関係論	講義	2	2前		○		
		政治学Ⅰ	講義	2	1後		○		
		政治学Ⅱ	講義	2	2前		○		
		日本国憲法特論	講義	2	1後		○		
		国家論	講義	2	2前		○		
		議会政治論	講義	2	2前		○		
		政治体制論	講義	2	2後		○		
		政治過程論	講義	2	2前		○		
		政治思想史	講義	2	2後		○		
		日本政治史	講義	2	2前		○		
		国際政治学	講義	2	2後		○		
		マスメディア論Ⅰ	講義	2	2後		○		
		行政学	講義	2	1後		○		
		地方自治論	講義	2	2前		○		
		公共政策学Ⅰ	講義	2	2前		○		
		公共政策学Ⅱ	講義	2	2後		○		
		都市・地域政策	講義	2	2前		○		
		社会保障論	講義	2	2前		○		
		福祉行政と人権	講義	2	2後		○		
		社会政策	講義	2	3前・4前		○		
		民法	講義	2	2前		○		
		行政法	講義	2	2前		○		
		地方自治法	講義	2	2後		○		
		地方自治特論	講義	2	2後		○		
		税法	講義	2	2後		○		
		会社法	講義	2	2後		○		
		経済法	講義	2	2前		○		
		産業社会学	講義	2	2前		○		
		社会心理学	講義	2	2前		○		
		社会調査論	講義	2	2後		○		
情報と法の倫理／情報セキュリティ	講義	2	3前・4前		○				
知的財産権	講義	2	3前・4前		○				
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	演習	2	1通		○	-		
	キャリア研究Ⅱ	演習	2	2通		○			
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	実験・実習	2	1通		○			
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	実験・実習	2	2通		○			
卒業論文	卒業論文Ⅰ	演習	4	3通		○			
	卒業論文Ⅱ	演習	4	4通		○			

理工学部理工学科 教育課程								
科目区分	授業科目の名称		授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	1・2前		○
		人間と文化	くらしと芸術	講義	2	1・2前		○
		人間と文化	心理学概論	講義	2	1・2前		○
		人間と文化	哲学概論	講義	2	1・2後		○
		人間と文化	生活文化概論	講義	2	1・2前		○
		人間と社会	経済学概論	講義	2	1・2前		○
		人間と社会	くらしと福祉	講義	2	1・2前		○
		人間と社会	くらしと人権	講義	2	1・2後		○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	1・2前		○
		人間と社会	教育基礎論	講義	2	1・2後		○
	人間と社会	国際関係論	講義	2	1・2前		○	
	人間と自然	人間と自然	情報処理入門	演習	2	1前	○	
	人間と自然	人間と自然	基礎数学	講義	2	1前		○
	人間と自然	人間と自然	基礎物理学	講義	2	1前		○
	人間と自然	人間と自然	基礎化学	講義	2	1前・後		○
	人間と自然	人間と自然	基礎生物学	講義	2	1前・後		○
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅰ	演習	1	1前	○	
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅱ	演習	1	1後	○	
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅲ	演習	1	2前	○	
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅳ	演習	1	2後	○	
	外国語科目	外国語科目	英語基礎演習Ⅰ	演習	1	1前		○
	外国語科目	外国語科目	英語基礎演習Ⅱ	演習	1	1後		○
	外国語科目	外国語科目	TOEIC英語Ⅰ	演習	1	3前		○
	外国語科目	外国語科目	TOEIC英語Ⅱ	演習	1	3後		○
	保健体育科目	保健体育科目	スポーツⅠ	実験・実習	1	1前	○	
	保健体育科目	保健体育科目	スポーツⅡ	実験・実習	1	1・2後		○
	保健体育科目	保健体育科目	健康科学	講義	2	1・2後		○
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	演習	2	1通	○	
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅡ	演習	2	2通	○	
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅢ	演習	2	3通	○	
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅣ	演習	2	4通	○	

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	基礎数学系科目	基礎数学演習	演習	1	1前		○	
		微分積分学基礎Ⅰ	講義	2	1前	○		
		微分積分学基礎Ⅱ	講義	2	1後	○		
		線形代数学基礎Ⅰ	講義	2	1前	○		
		線形代数学基礎Ⅱ	講義	2	1後	○		
		集合と論理	講義	2	1前		○	
		確率と統計	講義	2	2前		○	
		微分積分学Ⅰ	講義	2	2前		○	
		微分積分学演習Ⅰ	演習	1	2前		○	
		微分方程式Ⅰ	講義	2	2後		○	
		学科共通専門科目	現代理工学序論	講義	2	1前	○	
			理工学基礎セミナーⅠ	講義	2	1後	○	
			理工学基礎セミナーⅡ	講義	2	2前	○	
			物質科学基礎	講義	2	1後		○
			数理科学概論	講義	2	1後		○
			情報科学概論	講義	2	1後		○
			プログラミング基礎	講義	2	1前	○	
			Webプログラミング演習	演習	1	1後		○
			情報通信ネットワーク概論	講義	2	2前		○
	機械工学概論		講義	2	1後		○	
	力学Ⅰ		講義	2	1後		○	
	電気電子工学概論		講義	2	1後		○	
	電磁気学Ⅰ		講義	2	1後		○	
	電気回路Ⅰ	講義	2	1後		○		
	熱力学と統計物理	講義	2	2前		○		
	建築学概論Ⅰ	講義	2	1前		○		
	科学技術英語	講義	2	3前		○		
	知的財産権	講義	2	4前		○		
	工学倫理・研究倫理	講義	2	3後		○		
	情報社会と情報倫理	講義	2	4前		○		



科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	数理学専攻専門科目	微分積分学Ⅱ	講義	2	2後		○
		微分積分学演習Ⅱ	演習	1	2後		○
		線形代数学	講義	2	2後		○
		線形代数学演習	演習	1	2後		○
		集合と位相Ⅰ	講義	2	2前		○
		集合と位相Ⅱ	講義	2	2後		○
		集合と位相演習Ⅰ	演習	1	2前		○
		集合と位相演習Ⅱ	演習	1	2後		○
		代数学Ⅰ	講義	2	2後		○
		代数学演習	演習	1	2後		○
		代数学Ⅱ	講義	2	3前		○
		代数学Ⅲ	講義	2	3後		○
		幾何学Ⅰ	講義	2	2後		○
		幾何学演習	演習	1	2後		○
		幾何学Ⅱ	講義	2	3前		○
		幾何学Ⅲ	講義	2	3後		○
		解析学Ⅰ	講義	2	3前		○
		解析学演習	演習	1	3前		○
		解析学Ⅱ	講義	2	3前		○
		解析学Ⅲ	講義	2	3後		○
		解析学Ⅳ	講義	2	3後		○
		微分方程式Ⅱ	講義	2	3後		○
		複素関数論	講義	2	3前		○
		複素関数論演習	演習	1	3前		○
		数理統計学	講義	2	3前		○
		確率論	講義	2	3後		○
		記号論理学	講義	2	3後		○
数値解析	講義	2	3後		○		
離散数学	講義	2	2後		○		

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	情報科学専攻専門科目	情報理論	講義	2	2前		○
		情報数理Ⅰ	講義	2	2前		○
		情報数理Ⅱ	講義	2	2後		○
		応用解析学Ⅰ	講義	2	2後		○
		応用解析学Ⅱ	講義	2	3前		○
		暗号と符号	講義	2	2後		○
		信号処理	講義	2	2後		○
		データ構造とアルゴリズム	講義	2	2前		○
		データ科学とデータ分析	講義	2	2後		○
		データ科学とデータ分析演習	演習	1	3前		○
		グラフ理論	講義	2	2前		○
		数理計画論	講義	2	3前		○
		データベース工学	講義	2	3前		○
		プログラミングⅠ	講義	2	2前		○
		プログラミングⅡ	講義	2	2後		○
		プログラミング演習	演習	1	3前		○
		ソフトウェア工学	講義	2	3後		○
		情報セキュリティ	講義	2	3前		○
		画像・音声情報処理	講義	2	3後		○
		情報通信ネットワーク	講義	2	3前		○
		計算機アーキテクチャー	講義	2	3前		○
		コンピュータグラフィックス	講義	2	3前		○
		数理モデルと統計	講義	2	3前		○
		多変量解析	講義	2	3前		○
		最適化理論	講義	2	3後		○
		オペレーティングシステム	講義	2	3前		○
		マルチメディア	講義	2	3後		○
		モデリングとシミュレーション科学	講義	2	3後		○
プログラミング言語論	講義	2	2後		○		
ヒューマンインターフェイス	講義	2	3後		○		

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	機械工学専攻専門科目	機械学習	講義	2	3後		○
		人工知能	講義	2	3後		○
		機構学	講義	2	1前		○
		機械設計基礎	講義	2	1後		○
		機械図学・製図基礎	講義	2	1後		○
		機械設計製図	講義	2	2前		○
		機械設計工学	講義	2	3前		○
		機械材料学	講義	2	2後		○
		材料力学	講義	2	2後		○
		材料力学演習	演習	1	3前		○
		材料強度学	講義	2	3後		○
		力学Ⅱ	講義	2	2前		○
		機械力学Ⅰ	講義	2	2前		○
		機械力学Ⅱ	講義	2	2後		○
		流れ学	講義	2	2前		○
		流れ学演習	演習	1	2後		○
		流体力学	講義	2	3前		○
		熱工学	講義	2	2後		○
		熱工学演習	演習	1	3前		○
		生産工学Ⅰ	講義	2	3前		○
		生産工学Ⅱ	講義	2	3後		○
		機械工学実験・実習Ⅰ	実験・実習	2	2後		○
		機械工学実験・実習Ⅱ	実験・実習	2	3前		○
		機械計測	講義	2	2前		○
		機械制御工学	講義	2	3前		○
		伝熱工学	講義	2	3後		○
		産業・交通機械工学特論	講義	2	3後		○
		宇宙システム工学特論	講義	2	3後		○
		ロボティクス基礎	講義	2	3後		○

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目 電気電子工学専攻専門科目	電磁気学Ⅱ	講義	2	2前		○
	基礎電磁気学演習	演習	1	2前		○
	電磁気学演習	演習	1	2後		○
	電気回路演習Ⅰ	演習	1	1後		○
	電気回路Ⅱ	講義	2	2前		○
	電気回路演習Ⅱ	演習	1	2後		○
	電子回路	講義	2	2後		○
	論理回路	講義	2	3前		○
	半導体・電子デバイス工学	講義	2	3前		○
	半導体・電子デバイス工学演習	演習	1	3後		○
	電気電子計測	講義	2	2後		○
	ネットワーク工学	講義	2	3前		○
	固体電子物性	講義	2	2後		○
	発変電工学	講義	2	3前		○
	送配電工学	講義	2	3後		○
	設備工学	講義	2	3前		○
	電気電子材料学	講義	2	2前		○
	電気法規・電気施設管理	講義	2	4前		○
	電気エネルギー工学	講義	2	3前		○
	電気機器工学	講義	2	3前		○
	パワーエレクトロニクス	講義	2	3後		○
	電気電子制御工学	講義	2	3前		○
	電気電子制御工学演習	演習	1	3後		○
	電気通信システム	講義	2	3前		○
	電気電子工学実習	実験・実習	2	3後		○
	電気電子工学実験Ⅰ	実験・実習	2	2前		○
	電気電子工学実験Ⅱ	実験・実習	2	3前		○
	電子回路設計	講義	2	3前		○
	光・電波工学	講義	2	2後		○
	量子力学	講義	2	2後		○
電波・電気通信法規	講義	2	4前		○	
無線工学特論	講義	2	4前		○	

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	建築学専攻専門科目	建築学概論Ⅱ	講義	2	1後		○
		建築構法	講義	2	1後		○
		建築設計製図基礎Ⅰ	講義	2	1前		○
		建築設計製図基礎Ⅱ	講義	2	1後		○
		建築設計学	講義	2	2前		○
		建築設計製図Ⅰ	演習	2	2前		○
		建築設計製図Ⅱ	演習	2	2後		○
		建築設計製図Ⅲ	演習	2	3前		○
		建築設計製図Ⅳ	演習	2	3後		○
		建築C A D	演習	1	3後		○
		住計画論	講義	2	2前		○
		建築計画学Ⅰ	講義	2	2前		○
		建築計画学Ⅱ	講義	2	2後		○
		建築史Ⅰ	講義	2	2後		○
		建築史Ⅱ	講義	2	3前		○
		インテリアデザイン	講義	2	2前		○
		建築ユニバーサルデザイン論	講義	2	3後		○
		建築環境工学Ⅰ	講義	2	2前		○
		建築環境工学Ⅱ	講義	2	2後		○
		色彩デザイン論	講義	2	3前		○
		建築設備学	講義	2	3前		○
		建築構造力学Ⅰ	講義	2	2前		○
		建築構造力学Ⅱ	講義	2	2後		○
		建築構造学Ⅰ	講義	2	3前		○
		建築構造学Ⅱ	講義	2	3後		○
		耐震設計法	講義	2	4前		○
		建築材料学	講義	2	2後		○
		建築学実験Ⅰ	実験・実習	2	3前		○
		建築学実験Ⅱ	実験・実習	2	3後		○
		建築施工	講義	2	3後		○
		建築法規	講義	2	4前		○
		造形デザイン	講義	2	1後		○
		都市計画論	講義	2	3前		○
	実践演習科目	理工学実践演習Ⅰ	演習	1	3前	○	
		理工学実践演習Ⅱ	演習	1	3後	○	
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3	4前	○	
		卒業研究Ⅱ	演習	3	4後	○	

第24条関係

社会学部社会学科 教育課程							
科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	視野形成科目	哲学入門	講義	2	1・2後	○	
		倫理学入門	講義	2	1・2前	○	
		心理学入門	講義	2	1後		○
		日本人論	講義	2	1・2後		○
		伝統と文化	講義	2	1・2前		○
		ことばと文学	講義	2	1・2前		○
		法律学入門	講義	2	1・2後	○	
		日本国憲法	講義	2	1・2前		○
		人間関係論	講義	2	1・2後		○
		数学入門	講義	2	1・2前		○
		物理学入門	講義	2	1・2後		○
		化学入門	講義	2	1・2前		○
		コンピュータ入門	演習	2	1・2前	○	
		統計学入門	講義	2	1後	○	
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	1	1前	○	
		英語Ⅱ	演習	1	1後	○	
		英語Ⅲ	演習	1	2前		○
		英語Ⅳ	演習	1	2後		○
		英語演習Ⅰ	演習	1	3前		○
		英語演習Ⅱ	演習	1	3後		○
	保健体育科目	スポーツ	実験・実習	2	1通		○
	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	演習	2	1通	○	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	2通	○	
		キャリアデザインⅢ	演習	2	3通	○	
		キャリアデザインⅣ	演習	2	4通	○	

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目		
専門教育科目	基盤科目	社会学入門Ⅰ	講義	2	1前	○		
		社会学入門Ⅱ	講義	2	1後	○		
		現代と社会	講義	2	1前	○		
		社会とメディア	講義	2	1前	○		
		社会と心理	講義	2	1前	○		
		社会と歴史	講義	2	1後	○		
		社会と文化	講義	2	1後	○		
		社会と環境	講義	2	1後	○		
		社会調査入門	講義	2	1前	○		
		データ分析	講義	2	1前		○	
		社会調査方法論	講義	2	1前	○		
		社会統計学	講義	2	1後		○	
		量的調査法	演習	1	1後		○	
		質的調査法	演習	1	1後		○	
		社会調査実習	実験・実習	2	2通		○	
		人文地理学概論	講義	2	2前	○		
		自然地理学概論	講義	2	2前	○		
		地誌学概論	講義	2	2前	○		
		日本史概論	講義	2	2前	○		
		外国史概論	講義	2	2前	○		
		政治学概論	講義	2	2前	○		
		経済学概論	講義	2	2前	○		
		人文地理学	講義	2	2・3後		○	
	自然地理学	講義	2	2・3後		○		
	地誌学	講義	2	2・3後		○		
	日本史	講義	2	2・3後		○		
	外国史	講義	2	2・3前		○		
	政治学	講義	2	2・3前		○		
	経済学原論	講義	2	2・3後		○		
	専門科目	現代社会学分野	現代社会学概論	講義	2	2前	○	
			地域社会学	講義	2	2・3前		○
			家族社会学	講義	2	2・3後		○
			産業社会学	講義	2	2・3前		○
			環境社会学	講義	2	2・3前		○
教育社会学			講義	2	2・3後		○	
国際社会学			講義	2	2・3後		○	
社会保障論			講義	2	2・3前		○	
社会問題論			講義	2	2・3後		○	
日本思想史			講義	2	2・3前		○	
社会文化論			講義	2	2・3後		○	
大衆文化論	講義	2	2・3後		○			
サブカルチャー論	講義	2	2・3後		○			
ジェンダー論	講義	2	2・3後		○			
観光学概論	講義	2	2・3後		○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	メディア社会学分野	メディア社会学概論	講義	2	2前	○	
		メディア環境論	講義	2	2・3後		○
		メディア文化論	講義	2	2・3前		○
		メディアの法と倫理	講義	2	2・3後		○
		マス・コミュニケーション論	講義	2	2・3前		○
		ジャーナリズム論	講義	2	2・3前		○
		活字メディア論	講義	2	2・3後		○
		新聞論	講義	2	2・3後		○
		広告論	講義	2	2・3後		○
		インターネットコミュニケーション論	講義	2	2・3後		○
		マルチメディア論	講義	2	2・3後		○
		ネット報道論	講義	2	2・3前		○
		放送メディア論	講義	2	2・3後		○
		映像コミュニケーション論	講義	2	2・3前		○
	メディア制作演習	演習	2	2・3後			○
	社会心理学分野	社会心理学概論	講義	2	2前	○	
		社会と個人	講義	2	2・3後		○
		動機づけの心理	講義	2	2・3前		○
		認知心理学	講義	2	2・3前		○
		知覚心理学	講義	2	2・3前		○
		生理心理学	講義	2	2・3前		○
		対人関係論	講義	2	2・3後		○
		コミュニケーション論	講義	2	2・3前		○
		犯罪心理学	講義	2	2・3後		○
		社会と集団	講義	2	2・3後		○
		意思決定の心理学	講義	2	2・3後		○
		行動科学	講義	2	2・3後		○
		経済心理学	講義	2	2・3後		○
人間と文化		講義	2	2・3前		○	
人間と音楽	講義	2	2・3後		○		
宗教と社会	講義	2	2・3前		○		



科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
専門教育科目	専門科目	関連科目	グローバリゼーション論	講義	2	1・2・3後	○	
			日本の地域文化	講義	2	2・3前		○
			社会と子ども	講義	2	2・3前		○
			人間と暮らし	講義	2	2・3後		○
			地域研究	講義	2	2・3前		○
			資源論	講義	2	1・2・3前		○
			都市と空間	講義	2	1・2・3後		○
			まちと美術館	講義	2	1・2・3後		○
			生涯学習概論	講義	2	1・2・3前		○
			文化人類学	講義	2	1・2・3後		○
			報道の現場	講義	2	1・2・3後		○
			国際報道論	講義	2	1・2・3後		○
			スポーツ報道論	講義	2	1・2・3後		○
			オリンピック論	講義	2	1・2・3後		○
			伝える文化	講義	2	1・2・3前		○
			広告史	講義	2	1・2・3前		○
			PR論	講義	2	1・2・3前		○
			コミュニティ心理	講義	2	2・3前		○
			心理測定法	講義	2	2・3前		○
	心理学実験Ⅰ	実験・実習	2	2・3前		○		
	心理学実験Ⅱ	実験・実習	2	2・3後		○		
	基礎・専門演習科目	基礎演習	演習	2	1通	○		
		専門演習Ⅰ	演習	2	2通	○		
専門演習Ⅱ		演習	2	3通	○			
卒業研究	卒業研究	演習	4	4通	○			

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
自由選択科目	中等教科教育法(社会)Ⅰ	講義	2	2前		○
	中等教科教育法(社会)Ⅱ	講義	2	2前		○
	中等教科教育法(地歴)	講義	2	2後		○
	中等教科教育法(公民)	講義	2	2後		○
	教育学概論	講義	2	2前		○
	教育基礎論	講義	2	2前		○
	教師論	講義	2	2前		○
	教育心理学	講義	2	2後		○
	教育制度論	講義	2	3前		○
	教育課程論	講義	2	2後		○
	特別支援教育	講義	1	4前		○
	道徳理論と指導法	講義	2	4前		○
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	3前		○
	教育の方法技術	講義	2	3後		○
	生徒・進路指導論	講義	2	4前		○
	教育相談	講義	2	2後		○
	学級経営	講義	2	2前		○
	中等教育実習事前事後指導	講義	1	4前		○
	中等教育実習Ⅰ	実験・実習	2	4後		○
	中等教育実習Ⅱ	実験・実習	2	4後		○
	教職実践演習(中・高)	演習	2	4後		○
	学校経営と学校図書館	講義	2	4前		○
	学校図書館メディアの構成	講義	2	4前		○
	学習指導と学校図書館	講義	2	4前		○
	読書と豊かな人間性	講義	2	3後		○
	情報メディアの活用	講義	2	3後		○
	図書館概論	講義	2	3前		○
	図書館情報技術論	講義	2	3前		○
	図書館制度・経営論	講義	2	3前		○
	図書館サービス概論	講義	2	3後		○
	情報サービス論	講義	2	3後		○
	児童サービス論	講義	2	3後		○
	情報サービス演習	演習	2	3後		○
	図書館情報資源概論	講義	2	3前		○
	情報資源組織論	講義	2	3後		○
	情報資源組織演習	演習	2	3後		○
	図書・図書館史	講義	1	4前		○
	図書館施設論	講義	1	4後		○
	博物館概論	講義	2	3前		○
	博物館経営論	講義	2	3前		○
	博物館資料論	講義	2	3後		○
	博物館資料保存論	講義	2	3後		○
	博物館展示論	講義	2	4前		○
	博物館教育論	講義	2	4前		○
	博物館情報・メディア論	講義	2	4後		○
	博物館実習	実験・実習	3	4通		○
	AIデータサイエンス入門	講義	2	1前・後		○

第24条関係

情報学部情報学科 教育課程							
科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目	
共通基礎科目	視野形成科目	哲学入門	講義	2	1前		○
		心理学入門	講義	2	1前		○
		倫理学入門	講義	2	1後		○
		日本国憲法	講義	2	1前		○
		人間関係論	講義	2	1前		○
		数学入門	講義	2	1前		○
		統計学入門	講義	2	1後		○
		AI・データサイエンス入門	講義	2	1前		○
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	1	1前	○	
		英語Ⅱ	演習	1	1後	○	
		英語Ⅲ	演習	1	2前	○	
		英語Ⅳ	演習	1	2後	○	
	保健体育科目	スポーツ	実験・実習	2	1通		○
	キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	演習	2	1通	○	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	2通	○	
		キャリアデザインⅢ	演習	2	3通	○	
		キャリアデザインⅣ	演習	2	4通	○	

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	基盤科目	基礎数学Ⅰ	講義	2	1前	○	
		基礎数学Ⅱ	講義	2	1後		○
		情報数学	講義	2	1後	○	
		微分積分	講義	2	1後	○	
		線形代数	講義	2	1後	○	
		確率統計	講義	2	1後	○	
		情報学概論	講義	2	1前	○	
		データサイエンス基礎	講義	2	1前	○	
		データエンジニアリング基礎	講義	2	2前	○	
		コンピュータシステム基礎	講義	2	2前	○	
	AI基礎	講義	2	2前	○		
	情報・データサイエンス分野科目	情報科学	講義	2	2前	○	
		AI社会の情報倫理と法	講義	2	2前	○	
		データ構造とアルゴリズム	講義	2	2後	○	
		データベース工学	講義	2	2後	○	
		データ分析基礎	演習	1	2後	○	
		データ分析演習	演習	1	3前		○
		プログラミングⅠ	演習	1	2後	○	
		プログラミングⅡ	演習	1	3前		○
		情報システム	講義	2	2・3前		○
		データマイニング	講義	2	2・3後		○
		数理モデリング	講義	2	2・3後		○
		オペレーティングシステム	講義	2	2・3前		○
		最適化理論	講義	2	2・3前		○
		グラフ理論	講義	2	2・3前		○
		多変量解析	講義	2	2・3後		○
		画像解析	講義	2	2・3後		○
		信号処理	講義	2	2・3後		○
		意思決定論	講義	2	2・3後		○
		ソフトウェア工学	演習	1	2・3後		○
		コンピュータネットワーク	講義	2	2・3前		○
		コンピュータアーキテクチャ	講義	2	2・3前		○
		コンピュータグラフィックス	講義	2	2・3後		○
		マルチメディア論	講義	2	2・3後		○
ヒューマンインターフェイス		講義	2	2・3前		○	
AI技術と社会	講義	2	2・3前	○			
機械学習・深層学習	講義	2	2・3後	○			
情報セキュリティ	講義	2	2・3後	○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	配当年次	必修科目	選択科目
専門教育科目	専門科目	経済学概論	講義	2	2前	○	
		経営学概論	講義	2	2前	○	
		ミクロ経済学	講義	2	2・3後		○
		マクロ経済学	講義	2	2・3後		○
		計量経済学	講義	2	2・3後		○
		経営情報論	講義	2	2・3前		○
		マーケティング論	講義	2	2・3後		○
		ビジネスイノベーション論	講義	2	2・3後		○
		金融論	講義	2	2・3後		○
		社会学概論	講義	2	2前	○	
		情報社会論	講義	2	2・3前	○	
		情報政策論	講義	2	2・3前	○	
		社会調査法	演習	1	2・3後		○
		認知科学	講義	2	2・3後		○
		情報行動論	講義	2	2・3前		○
		情報文化論	講義	2	2・3前		○
	情報メディア論	講義	2	2・3前		○	
	基礎・専門演習科目	基礎演習	演習	2	1通	○	
		専門演習Ⅰ	演習	2	2通	○	
		専門演習Ⅱ	演習	2	3通	○	
卒業研究	卒業研究	演習	4	4通	○		

## 変更事項を記載した書類

### 【変更の事由】

<保健医療学部総合リハビリテーション学科>

- 理学療法学専攻・作業療法学専攻に編入学定員（各5名・4年次）を設定する。

<政治経済学部>

- 政治・政策学科の入学定員を40名から60名に、経済経営学科の入学定員を80名から120名に変更する。
- 政治・政策学科の専攻・コースを変更する（政治コース・政策コースから政治学専攻・政策学専攻に変更）。
- 経済経営学科の専攻・コースを変更する（経済・経済分析コース・国際経済コース・経営戦略コース・起業・事業承継コース・金融・会計コースから経済学専攻・経営学専攻に変更）。

<情報学部>

- 情報学科（入学定員200名）を設置する。

### 【変更点】

- |     |      |  |
|-----|------|--|
| 第6条 | 学部   | → 政治経済学部の教育研究上の目的の記載を変更<br>→ 情報学部の教育研究上の目的の記載を挿入   |
| 第8条 | 入学定員 | → 保健医療学部総合リハビリテーション学科の入学定員・収容定員の記載を変更<br>→ 政治経済学部の専攻・コース・収容定員・収容定員の記載を変更<br>→ 情報学部の記載を挿入 |

【変更年月日】 令和5年4月1日施行

## 新旧対照表

### 旧学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治・政策学科のもとに政治コース、政策コース、経済経営学科のもとに経済・経済分析コース、国際経済コース、経営戦略コース、起業・事業承継コース、金融・会計コースを設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する(3年次コース選択制)。

### 新学則

(学部)

第6条 本学に、次の学部を置き、学部ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

・教育学部

教育学科のもとに、初等幼児教育専攻、国語教育専攻、数学教育専攻、英語教育専攻の4つの専攻を置き、初等幼児教育専攻は初等幼児教育を柱に、国語教育、数学教育、英語教育の各専攻は、それぞれの教科教育を柱に関連する領域に関する専門的知識を身につけることによって、教育保育分野に貢献する人材を育成する。

・保健医療学部

看護学、理学療法学、作業療法学、言語聴覚学の各分野について、理論及び応用の研究を行うとともに、十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の人材を育成する。

・政治経済学部

政治経済学部のもとに、政治・政策学科、経済経営学科を置き、政治・政策学科のもとに政治学専攻、政策学専攻、経済経営学科のもとに経済学専攻、経営学専攻を設け、政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもった人材を育成する(2年次専攻選択制)。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

（入学定員）

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

・理工学部

理工学科のもとに数理科学専攻、情報科学専攻、機械工学専攻、電気電子工学専攻、建築学専攻を設け、幅広い視野、専門的知識、また、強い探究心、使命感を有し、持続可能な社会の実現に向けて、創造性、独創性、発想力を発揮してイノベーションを創出することができる科学技術者、研究者を育成する。

・社会学部

社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する（2年次コース選択制）。

・情報学部

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材を養成する。

（入学定員）

第7条 本学の学部、学科及び課程別の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。



	学科	専攻・ コース	入学 定員	収容 定員
教育学部	教育学 科	初等幼 児教育 専攻	190 名 (3年 次編 入 初等 幼児 教育 専攻 5名)	770 名
		国語教 育専攻		
		数学教 育専攻		
		英語教 育専攻		
保健医療学部	看護学 科		100 名	400 名
	総合リ ハビリ テーシ ョン学 科	理学療 法専攻	40名	<u>160</u> 名
		作業療 法専攻	40名	<u>160</u> 名
		言語聴 覚専攻	40名	<u>160</u> 名
政治経済学部	政治・ 政策学 科	政治コ ース	40名	<u>160</u> 名
		政策コ ース		
	経済経 営学科	経済・ 経済分 析コー ス	80名	<u>320</u> 名
		国際経 済コー ス		
		経営戦 略コー ス		
		起業・ 事業承 継コー ス		
	金融・ 会計コ ース			

	学科	専攻・ コース	入学 定員	収容 定員
教育学部	教育学 科	初等幼 児教育 専攻	190 名 (3年 次編 入 初等 幼児 教育 専攻 5名)	770 名
		国語教 育専攻		
		数学教 育専攻		
		英語教 育専攻		
保健医療学部	看護学 科		100 名	400 名
	総合リ ハビリ テーシ ョン学 科	理学療 法専攻	<u>40名</u> (4年 次編 入5 名)	<u>165</u> 名
		作業療 法専攻	<u>40名</u> (4年 次編 入5 名)	<u>165</u> 名
		言語聴 覚専攻	40名	160 名
	政治経済学部	政治・ 政策学 科	政治学 専攻	<u>60名</u>
政策学 専攻				
政治経済学部	経済経 営学科	経済学 専攻	<u>120</u> 名	<u>480</u> 名
		経営学 専攻		

理工学部	理工学科	数理学専攻	230名	920名
		情報科学専攻		
		機械工学専攻		
		電気電子工学専攻		
		建築学専攻		
社会学部	社会学科	現代社会学コース	200名	800名
		メディア社会学コース		
		社会心理学コース		

理工学部	理工学科	数理学専攻	230名	920名
		情報科学専攻		
		機械工学専攻		
		電気電子工学専攻		
		建築学専攻		
社会学部	社会学科	現代社会学コース	200名	800名
		メディア社会学コース		
		社会心理学コース		
情報学部	情報学科	—	200名	800名

## 学則変更の趣旨を記載した書類

### 1 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5（2023）年4月1日より、大和大学学則第8条「入学定員」について以下の事項を改定する。

#### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

<編入学定員・収容定員>

(旧) 理学療法学専攻	編入学定員	—	収容定員 160名
作業療法学専攻	編入学定員	—	収容定員 160名
(新) 理学療法学専攻	編入学定員	4年次 5名	収容定員 165名
作業療法学専攻	編入学定員	4年次 5名	収容定員 165名

#### ○ 政治経済学部

<入学定員・収容定員>

(旧) 政治・政策学科	入学定員 40名	収容定員 160名
経済経営学科	入学定員 80名	収容定員 320名
(新) 政治・政策学科	入学定員 60名	収容定員 240名
経済経営学科	入学定員 120名	収容定員 480名

#### ○ 情報学部

<学部設置> 令和4（2022）年4月届出予定

(新) 情報学科	入学定員 200名	収容定員 800名
----------	-----------	-----------

## 2 学則変更（収容定員変更）の必要性

### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

保健医療学部総合リハビリテーション学科は、平成 26（2014）年 4 月の開設から 8 年目を迎え、社会的認知も広がり、理学療法学専攻、作業療法学専攻とも、順調に入学定員充足を継続している。

また、本学は、系列校に、白鳳短期大学総合人間学科リハビリテーション学専攻理学療法学課程（入学定員 40 名）、作業療法学課程（入学定員 30 名）を有しており、受験時に、本学とともに系列の白鳳短期大学を併願受験し、大学への進学意思を持ちながら短期大学に進学する学生も多い。

また、近畿圏の 3 年制課程の理学療法士、作業療法士の養成校は、本学の位置する大阪府、及び隣接する兵庫県、奈良県に集中しており、大学に編入学し、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指したいと考える 3 年制課程修了学生のニーズに応えるには、本学は最適の立地に位置している。

これら近隣の 3 年制課程養成校の学生を対象とするアンケート調査の高いニーズ結果、また、継続的な高齢者人口の高まり、医療技術のさらなる進展の観点から、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指したいと考える学生を育て、世に輩出する意義、必要性は高いと考え、保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学課程、作業療法学課程に 3 年制課程の養成校修了学生を対象とする 4 年次編入学定員を設定することとした。

### ○ 政治経済学部

#### <政治・政策学科>

政治経済学部政治・政策学科（認可時：政治行政学科）は、設置認可時、今回の変更後入学定員と同数の入学定員 60 名で認可を受け、平成 28（2016）年に開設したが、教育の質の維持を図るため、翌年、平成 29（2017）年度に入学定員を 40 名に減員変更した。

以降、現在に至るまで、質の高い教育研究の実践、個々の学生の希望進路の実現を図るべく、学部所属教員、キャリアセンター職員等が緊密に連携をとり、教育研究に取り組んできた。

結果、開設から 6 年を経て、十分な成果、実績を上げる体制を構築することができ、学生確保の見通しに記載の通り、社会や高校生からの評価も年々高まりつつある。

そこで、この社会からの要請に応えるべく、入学定員・収容定員を認可当初の規模に戻し、政治経済学部が掲げる教育目標である「広い教養と倫理観の上に政治、経済の

各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材」の育成を実践し、有為な人材を世に輩出するため、入学定員を変更することとした。

#### <経済経営学科>

政治経済学部経済経営学科は、設置認可時、今回の変更後入学定員と同数の入学定員120名で認可を受け、平成28(2016)年に開設したが、教育の質の維持を図るため、翌年、平成29(2017)年度に入学定員を80名に減員変更した。

以降、現在に至るまで、質の高い教育研究の実践、個々の学生の希望進路の実現を図るべく、学部所属教員、キャリアセンター職員等が緊密に連携をとり、教育研究に取り組んできた。

結果、開設から6年を経て、十分な成果、実績を上げる体制を構築することができ、学生確保の見通しに記載の通り、社会や高校生からの評価も年々高まりつつある。

そこで、この社会からの要請に応えるべく、入学定員・収容定員を認可当初の規模に戻し、政治経済学部が掲げる教育目標である「広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材」の育成を実践し、有為な人材を世に輩出するため、入学定員を変更することとした。

#### ○ 情報学部

大和大学は、平成26(2014)年4月、設置母体の学校法人西大和学園設立の精神である「国づくりは人づくりから」を柱に、「高い専門性と幅広い視野を授けるとともに、豊かな人間性を涵養し、一人ひとりの「ひと」を見つめ、学術文化の向上と社会の発展に貢献する有能な人材を育成する」を建学の精神に掲げ開学し、この度設置する情報学部に関連する学部として、平成28(2016)年4月に、「政治、経済の各分野を広く俯瞰し、各分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点をもちた人材を育成する」を教育目標とする政治経済学部を、そして、令和2(2020)年4月に、『理工の基礎力、各専門分野の知識、技術とともに、「理学」「工学」領域を俯瞰的に見つめる幅広い視野を身につけることにより、創造性と発想力を発揮して持続可能な社会実現に貢献する技術者、研究者』を養成することを目的とする理工学部を開設し、理系・文系計5学部7学科を擁する総合大学として発展してきた。

一方、わが国においては、平成7(1995)年、「科学技術基本法」に基づき、「科学技術基本計画」が策定され、長期的視野に立った体系的かつ一貫した科学技術政策が推進されてきており、平成30(2018)年6月、文部科学省は、「Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」を発表し、「Society 5.0を牽引するための鍵は、技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材と、それらの成果と社会課題をつなげ、プラットフォームをはじめとした新たなビジネスを創造する人材であると考えられる。大学においては、高等学校における文理分断の改善、社会ニーズ等を背景に、文理両方を学ぶ教育プログラムの充実を図る必要がある。また、AI・データ科学分野等の高度専門人材育成のための施策を加速させる必要がある」と提起している。

また、平成31(2019)年4月、「未来投資政略2017」(平成29(2017)年6月9日閣議決定)に基づき、経済産業省、厚生労働省、文部科学省の三省連携で実施された「IT人材需給に関する調査、試算」では、中位シナリオで約45万人のIT人材が不足すると試算され、令和3(2021)年3月に策定された「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、「Society5.0は、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義され、「Society5.0への移行において、新たな技術を社会で活用するに当たり生じる制度面や倫理面、社会需要面などの課題に対応するためには、俯瞰的な視野で物事を捉える必要があり、自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた『総合知』を活用できる仕組みを構築しなければならない」と提起している。

本学では、こうした社会的背景、人材要請をふまえ、「社会の発展に貢献する有能な人材を育成する」建学の精神に照らし、情報学に関する知識、技術とともに、文系、理系の枠組みを超えた知識、視野を備えた人材を養成することを目的とする「情報学部」を開設することとした。

### 3 学則変更(收容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

#### (1) 教育課程の変更内容

##### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

この度、設定する編入学生の教育課程は、「理学療法学、作業療法学のそれぞれの分野に関する知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び医療人としての豊かな人間性を備えた人材を育成する」の養成する人材像に照らし、編入学前の3年制課程養成校において修得した単位数の読み替えを行うとともに、本学科で開設している既設の授業科目、及び、応用能力、実践力の養成を目的とする編入学

生用の授業科目から所定の単位数を履修し、卒業要件を満たすこととする。

## ○ 政治経済学部

<政治・政策学科> <経済経営学科>

政治・政策学科、経済経営学科とも、収容定員の変更に伴う教育課程の変更はない。

## ○ 情報学部

本学部では、情報学に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、心身の健康の増進、アカデミックスキル、キャリア意識の養成を図ることを目的とする「共通基礎科目」を設定する。

「専門教育科目」には、情報を収集、分析、表現する基礎的知識、能力を身につけることを目的とする「基盤科目」、情報科学、社会科学にわたる幅広い知識、視野を身につけることや、情報社会と情報技術に深い関心を持ち、意欲的に学ぼうとする姿勢を養成することを目的とする「情報・データサイエンス分野科目」「経済・経営分野科目」を設定する。

また、「専門教育科目」には、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に取り組むことができる能力、情報を収集、考察し、自らの考えを発信することができる能力、他者と協力して、より良い社会の創造に貢献することができる能力を養成することを目的とする「基礎・専門演習科目」「卒業研究」を設定する。

本教育課程のうち、他学部の専任教員が担当する授業科目は、「共通基礎科目」の2科目、「専門科目」の2科目のみであり、本学部の教育課程が他学部の教育体制に与える影響はきわめて限定的であり、問題はないと考える。

## (2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

編入学生の教育、履修指導は、各専攻の4年次担任教員が担当し、大学生活や履修の進め方、留学、進学等の全般に関する相談、指導にあたる。

また、編入学時に実施するオリエンテーション、個人面談において、履修のてびき、及び、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法等を記載したシラバスを用いて、養成する人材像、教育課程の編成、入学前修得単位の単位数の考え方、卒業要件、大学生活等について説明を行うとともに、ポータルサイトを活用し、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備する。

以上の通り、本学部の編入学生の教育指導は、保健医療学部総合リハビリテーション学科が主体的に設定実施にあっており、これらが他学部等に影響を与えるものではないと考える。

## ○ 政治経済学部

<政治・政策学科> <経済経営学科>

収容定員に対応した教育方法及び履修指導方法の体制を設置認可時に整備しており、政治・政策学科、経済経営学科とも、収容定員変更による教育の質が低下、他学部への影響はなく、問題ないとする。

## ○ 情報学部

情報学部の教育課程における「共通基礎科目」区分は、「視野形成科目」「外国語科目」「保健体育科目」「キャリアデザイン科目」によって構成され、「情報学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養、コミュニケーション能力や、アカデミックスキル、心身の健康の維持・増進、キャリア意識の養成を図ることを目的とする科目を配置する。

また、「視野形成科目」に配する「哲学入門」「心理学入門」「倫理学入門」「日本国憲法」「人間関係論」「数学入門」「統計学入門」「AI・データサイエンス入門」の授業科目は、情報学部情報学科の入学定員の200名を超えない規模とし、1年次配当の選択科目として講義形式で展開し、「情報学」に関する専門的な学びを展開する基礎となる視野、教養を養成する。

また、「外国語科目」に配する「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」の授業科目は、50～60名規模とし、1年次・2年次配当の必修科目として演習形式で展開し、外国語能力の修得を図る。

また、「保健体育科目」に配する「スポーツ」の授業科目は、50～60名の規模とし、1年次配当の選択科目として、実験・実習形式で展開し、心身の健康の維持・増進を図る。

また、「キャリアデザイン科目」に配する「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」「キャリアデザインⅢ」「キャリアデザインⅣ」の授業科目は、50～60名規模、または学年単位で実施し、1年次から4年次までの通年開設の必修科目として演習形式で展開し、専門の学びの意義理解、アカデミックスキルの修得、キャリア意識の形成を図る。

また、「専門教育科目」の科目区分は、「専門科目」「基礎・専門演習科目」「卒業研究」によって構成され、「専門科目」は、さらに「基盤科目」「情報・データサイエンス分野



科目「経済・経営分野科目」に区分される。

「基盤科目」区分は、「情報学」の専門の学びの基盤となる知識、視野の修得を、「情報・データサイエンス分野」区分は、情報・データサイエンス分野に関する知識能力の修得を、「経済・経営分野科目」区分は、経済・経営分野に関する知識能力の修得を、「基礎・専門演習科目」区分は、情報に関する諸問題、課題をテーマに、調査研究、議論、発表する取り組みを通じ、課題解決の方法や、社会に貢献する意欲の養成を、「卒業研究」区分は、各学生が研究テーマを掲げ、研究を深めることにより、課題解決能力や、将来進路に対する意識の養成を図ることを目的とする。

また、「基盤科目」区分に配する「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」「情報数学」「微分積分」「線形代数」の授業科目は、50～60名規模で実施し、1年次配当の必修科目（基礎数学Ⅱは選択科目）として講義形式で展開し、「情報学」を学ぼうえで基礎となる知識の修得を図る。

また、「情報学概論」「データサイエンス基礎」「データエンジニアリング基礎」「コンピュータシステム基礎」「AI基礎」の授業科目は、100名程度までの規模で実施し、「情報学概論」「データサイエンス基礎」は1年次配当、「データエンジニアリング基礎」「コンピュータシステム基礎」「AI基礎」は2年次配当の必修科目として講義形式で展開し、「情報学」の導入にあたる知識能力の修得を図る。

また、「情報・データサイエンス分野科目」には、情報科学基礎、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア、情報システム・ネットワーク、マルチメディア、データ分析・知能情報に関する知識、能力の修得を目的とする授業科目を2～3年次配当で開設し、授業の目標、方法をふまえ、「データ分析基礎」「データ分析演習」「プログラミングⅠ」「プログラミングⅡ」「ソフトウェア工学」は演習形式、その他の授業科目は講義形式で実施する。また、全学生共通で知識、能力の修得を図りたい「情報科学」「AI社会の情報倫理と法」「データ構造とアルゴリズム」「データベース工学」「データ分析基礎」「プログラミングⅠ」「AI技術と社会」「機械学習・深層学習」「情報セキュリティ」は必修科目とし、基礎的な知識や視野を身につけたうえで、体系的に専門の学びを深めることができるよう、「情報科学」「AI社会の情報倫理と法」「データ構造とアルゴリズム」「データベース工学」「データ分析基礎」「プログラミングⅠ」は2年次配当、「データ分析演習」「プログラミングⅡ」は3年次配当とし、学生数は100名程度までの規模で実施する。

また、「経済・経営分野科目」区分には、経済学、経営学、及び関連分野に関する知識、能力の修得を目的とする授業科目を2～3年次配当で開設する。授業方法は、目標、方法をふまえ、「社会調査法」は演習形式、それ以外の授業科目は、講義形式で実施する。

また、全学生共通で知識、能力の修得を図りたい「経済学概論」「経営学概論」「社会学概論」「情報社会論」「情報政策論」は必修科目とし、基礎的な知識や視野を身につけたうえで、体系的に専門の学びを深めることができるよう、「経済学概論」「経営

学概論」「社会学概論」は2年次配当とし、学生数は100名程度までの規模で実施する。

また、「基礎・専門演習科目」区分に配する「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」では、共通課題をテーマに掲げ、調査研究、議論、発表をおこなう取り組みを通じ、課題解決の方法や、社会に貢献する意欲の養成を図るとともに、卒業研究における研究テーマを模索する取り組みを展開し、「卒業研究」では、各学生が研究テーマを掲げ、研究を深めることによって、課題解決能力や、将来進路に対する意識の養成を図る取り組みをそれぞれ演習形式で展開する。

学生数は、「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」は、学年単位、または20名程度のグループ単位、「卒業研究」は、10名前後の学生を指導教官が担当する形態で展開する。

また、履修指導については、本学部で開設する全ての授業について、授業の目的と内容、到達目標、各回の授業内容、使用する教科書・参考書、評価方法を記載したシラバスを作成し、前述のポータルサイトで公開することにより、学生が円滑に履修計画を策定できる体制を整備するとともに、学生の履修に関する理解を深めるため、入学時にオリエンテーションを実施し、学部の目標、養成する人材像、教育課程の編成、単位数の考え方、卒業要件、大学生活等について説明を行うとともに、各学年の学期当初に履修ガイダンスを実施し、適切な履修計画の策定に向け履修指導を行う。

また、本学部は、担任制をとっており（1クラス50～60名）、各学年の担任教員が、大学生活や履修の進め方、留学、進学等の全般に関する相談、指導にあたり、学部会議、教授会を通じて、学部内での情報共有、連携を図るとともに、必要に応じて関係部署と連携協力し、適切な学生指導を展開する。

また、本学では、学生への円滑な情報伝達、授受を図るため、「学生情報システム」を導入し、大学の内外を問わず、システムにアクセスし、ポータルサイト上から履修登録、授業時間割、シラバス、単位取得に関する情報を照会することが可能な体制を整備している。

以上の通り、本学部の教育方法については、本学の教育方針に基づき、学部が主体的に設定実施にあたり、これらが他学部に影響を与えるものではないと考える。

### （3）教員組織の変更内容

#### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻への編入学生の教育指導は、4年次担当の専任教員が学部入学生とともにあたる。また、編入前の修得単位の読み替えを行うことにより、編入学生が4年次の1年間に修得する授業科目の単位数は32～34単位で、その大半を正規学生の既設授業科目から履修

することになる。

従って、教員の負担増は限定的であり、問題なく対応できるものと考えられるため、現行の教員組織に変更はなく、完成年度において以下の教員体制を整備する。

総合リハビリテーション学科

理学療法学専攻 専任教員 6名 (教授3名、准教授1名、講師2名)

作業療法学専攻 専任教員 6名 (教授2名、准教授1名、講師3名)

## ○ 政治経済学部

<政治・政策学科> <経済経営学科>

政治経済学部政治・政策学科及び経済経営学科は、収容定員の変更に対応し、令和5(2023)年度より、経済経営学科の専任教員数の増員を図り、完成年度において、以下の教員体制を整備する。

政治・政策学科 専任教員 12名 (教授9名、准教授1名、講師2名)

経済経営学科 専任教員 14名 (教授7名、准教授5名、講師2名)

## ○ 情報学部

情報学部は、主に「共通基礎科目」を担当する専任教員3名(教授2名・准教授1名)、主に「専門教育科目」の「基盤科目」を担当する専任教員3名(教授2名・准教授1名)、「情報・データサイエンス分野科目」を担当する専任教員8名(教授7名・准教授1名)、「経済・経営分野科目」を担当する専任教員4名(教授3名・准教授1名)を配置する。

また、「専門教育科目」区分の「専門科目」に配する必修の授業科目、及び「基礎・専門演習科目」を中核授業科目に位置づけ、専任の教授、准教授を配置する。

また、「専門科目」区分の「情報・データサイエンス分野科目」に配する専門の学びの中核を担う授業科目の9割以上を専任の教授、准教授が担当する。

また、本学部の教員組織は、大半が新たに採用する教員によって構成され、本学部の基礎となる他学部から移籍する教員は1名であり、情報学部設置により、他学部の教員組織に与える影響はきわめて限定的であり、問題ないとする。

## (4) 大学全体の施設・設備の変更内容

この度、本学では、情報学部設置にあたり、主に情報学部の教育研究を展開するF講義棟(4,648.92㎡)を、既設のE講義棟と連結させる形で新たに建設する(令和4(2020)年12月竣工予定)。同校舎1Fの「教員フロア」(約519㎡)には、プライベートラボ18室(約15㎡/人)、教員相互の教育研究の連携、情報交換を目的としたオープンラボ(220.03㎡)の2つの機能からなる研究空間を整備する。プライベートラボは、施錠可能な完全個室とし、机椅子、棚、ロッカー、ミーティングデスク、ノートパソコンを配備し、オープンラボには、全専任教員の机・椅子等を配備する。

情報インフラは、全棟フリーアクセスのネット環境を整備し、学内ネットワークに厳格なセキュリティシステムを導入するとともに、「個人情報等の取り扱いに関するガイドライン」の徹底を図ることにより、厳重なデータセキュリティ体制を整備する。

また、教室施設については、本棟の1Fに275名収容の「大講義室」、「中講義・演習室」2室、「卒研演習室」1室、2Fに「中講義・演習室」8室を配するとともに、本棟に隣接する別棟に、主に卒業研究で使用する「演習室」9室を配し、学生必携のノートPCを使用した授業展開を図ることができる情報機器、設備、及び「卒研演習室」には、高度な情報処理に対応するワークステーション30台を整備する。

また、この度の情報学部設置に伴って、講義棟とともに、講義エリアのレクチャーホールを有するGアリーナ棟(5,470.71㎡)を建設し(令和4(2020)年12月竣工予定)、スポーツ関連の授業展開や課外活動スペースの充実を図るとともに、キャンパス中央に、芝生広場や小川を配した緑地エリア(約8,800㎡)を整備する。

また、本学の図書館は、A厚生棟1階に位置し、総面積1,378.98㎡(本館・サイレントエリア/閲覧スペース・コモンズエリア)、閲覧席数432席の規模で、学生証、職員証による磁気管理の入館管理システムを配備するとともに、オンライン蔵書目録OPACをインターネットで公開し、学内外から蔵書検索が可能な検索システムを導入している。

また、新設の情報学部に関連する図書・雑誌も完備しており、開設後も、教職員、学生の希望を考慮し、必要に応じて新刊書の整備を継続する計画である。

以上の通り、新設の情報学部設置に伴う専用校舎の整備とともに、大学全体として一層の施設充実を図る計画であり、この度の保健医療学部総合リハビリテーション学科における収容定員増は各専攻5名と小規模であり、また、政治経済学部は、設置認可時に定員増分の学生数に対応した施設設備を既に整備していることから、他学部の施設・設備に与える影響はきわめて限定的であり、問題ないと考える。

教育課程等の概要

(保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法専攻)

科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通基礎科目	人間と文化	心理学概論	1後	2			○			1					兼1		
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○			1					兼1		
	人間と自然	情報処理	1前	2				○			1				兼1		
		基礎統計学	1後	2				○		1					兼1		
	社会の理解	発達心理学	1前	2				○			1						
		教育の方法技術	4前	2				○		1							
	外国語科目	英語I	1前	2					○	1					兼1		
		英語II	1後	2					○	1					兼1		
	保健体育科目	スポーツ	1後	2					○		1				兼1		
	キャンパスライフ	基礎セミナーI	1通	2					○	3		3				共同	
基礎セミナーII		2通	2					○	3		3				共同		
卒業研究I		3前	1					○	3		3				共同		
卒業研究II		3後	1					○	3		3				共同		
卒業研究III		4前	1					○	3		3				共同		
卒業研究IV	4後	1					○	3		3				共同			
	小計15 (科目)			26	0	0	-	-	22	3	20	0	0	兼7			
専門基礎科目	専門共通科目		チーム医療概論I	1前	1			○		1		4				共同	
			チーム医療概論II	1前	1			○		1		4				共同	
	人 体 の 構 造 と 機 能	解剖学総論	1前	2					○			1					
		解剖学I (骨・筋の形態学)	1前	2					○			1					
		解剖学II (神経の形態学)	1前	2					○			1					
		生理学I	1前	2					○			1					
		生理学II	1前	2					○			1					
		運動学	1後	2					○		1						
		運動学演習	1後	1					○		1						
		人間発達学	2前	2					○			1					
	臨床心理学	2前	2					○			1						
	ち 疾 及 病 び と 回 障 進 復 害 過 の 程 成 の り 促 立	病理学	2前	1					○		1						
		内科学	2前	2					○			1					
		臨床神経学	1後	2					○			1					
整形外科学		1後	2					○			1						
精神医学		2前	2					○		1							
小児科学		2前	2					○			1						
リハビリテーション医学I	1後	2					○		4	1	2			共同			
リハビリテーション医学II	2前	2					○		5	1	2			共同			
保健医療福祉とリハビリテーションの理念		リハビリテーション概論	1前	1				○			1						
		保健医療論	1前	2				○			1						
		社会保障制度	2前	2				○			1						
	小計22 (科目)			39	0	0	-	-	15	3	25	0	0				
専門教育科目	基礎理学療法	理学療法概論	1前	2				○		1							
		基礎理学療法	2前	2				○			1						
		基礎理学療法演習	2後	2					○		1						
	理学療法管理学	理学療法管理学	3後	2					○		1						
		理学療法評価学	基礎理学療法評価学	1後	2					○		1					
			神経系検査法	2前	2					○			1				
			運動器系検査法	2前	2					○		1					
	運動・動作分析学演習		2前	1					○		1						
	理学療法治療学	運動器障害理学療法	2後	1					○			1					
		運動器障害理学療法演習	3前	1					○			1					
		神経系理学療法	2後	1					○		1						
		中枢神経障害理学療法	2後	1					○		1						
		中枢神経障害理学療法演習	3前	1					○			1					
		発達障害理学療法	2後	1					○			1					
		発達障害理学療法演習	3前	1					○			1					
		内部・循環障害理学療法	2後	1					○			1					
		内部・循環障害理学療法演習	3前	1					○			1					
理学療法評価治療演習		3前	1					○		1							
物理療法		2後	1					○			1						
物理療法演習		3前	1					○			1						
呼吸器障害理学療法		2後	1					○			1						
呼吸器障害理学療法演習		3前	1					○			1						
日常生活活動評価学	2前	1					○		1								
日常生活活動指導法	2後	1					○		1								
義肢学・装具学	2後	1					○		1								
スポーツ障害学	3前	1					○		1								
理学療法特論I	4前	3					○		3		3			共同			
理学療法特論II	4後	3					○		3		3			共同			
理学療法特論III	4後	3					○		3		3			共同			

科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	地域理学療法学	地域理学療法学	2後			○			1						
		生活環境整備学	3前	1			○		1						
	臨床実習	理学療法学臨床実習Ⅰ	1後	2					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅱ	3前	3					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅲ	3後	7					○	3		3			
		理学療法学臨床実習Ⅳ	3後	8					○	3		3			
卒業論文	研究方法論	2後	2			○					1				
	卒業論文	4後	2				○		3		3			共同	
小計37(科目)		—	69	0	0	—	—	—	5	0	12	0	0		
合計(17科目)		—	134	0	0	—	—	—	11	3	24	0	0	兼7	
学位又は称号		学士(保健衛生学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係(リハビリテーション関係)									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>以下に掲げる基準を満たし、合計134単位以上修得することを卒業要件とする。</p> <p>&lt;共通基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目26単位を修得すること。</li> <li>・合計26単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目39単位を修得すること。</li> <li>・合計39単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目69単位を修得すること。</li> <li>・合計69単位以上修得すること。</li> </ul> <p>※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。</p> <p>&lt;履修要件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法学臨床実習Ⅲ、理学療法学臨床実習Ⅳを履修するには、3年後期までに配当された専門教育科目の必修科目をすべて修得すること。</li> </ul>						1学年の学期区分		2期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻)

授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語演習	4後	2				○		1						「英語Ⅱ」に読替
卒業研究	4後	1				○		3		3				「卒業研究Ⅳ」に読替

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(保健医療学部総合リハビリテーション学科作業療法学専攻)

科目区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基礎科目	人間と文化	心理学概論	1後	2			○				1					兼1
		人間と社会	1前	2			○				1					兼1
	人間と自然	情報処理	1前	2				○				1				兼1
		基礎統計学	1後	2			○			1						兼1
	社会の理解	発達心理学	1前	2			○					1				
		教育の方法技術	1後	2			○			1						
	外国語科目	英語 I	1前	2				○			1					兼1
		英語 II	1後	2				○			1					兼1
	保健体育科目	スポーツ	1後	2				○			1					兼1
	キダヤンリヌア科ガイ	基礎セミナー I	1通	2				○			3		3			共同
		基礎セミナー II	2通	2				○			3		3			共同
		卒業研究 I	3前	1				○			3		3			共同
		卒業研究 II	3後	1				○			3		3			共同
		卒業研究 III	4前	1				○			3		3			共同
卒業研究 IV	4後	1				○			3		3			共同		
小計15 (科目)				26	0	0				22	3	20	0	0		兼1
専門基礎科目	専門共通科目		チーム医療概論 I	1前	1			○			1		4			共同
			チーム医療概論 II	1後	1			○			1		4			共同
	及ぶ心身の構造と機能	解剖学総論		1前	2			○					1			
		解剖学 I (骨・筋の形態学)		1前	2			○					1			
		解剖学 II (神経の形態学)		1後	2			○					1			
		生理学 I		1前	2			○					1			
		生理学 II		1後	2			○					1			
		運動学		1後	2			○				1				
		運動学演習		2前	1				○			1				
		人間発達学		2前	2				○					1		
		臨床心理学		2前	2				○				1			
	ち疾及びと障害の回復過程のり促進	病理学		2後	1			○			1					
		内科学		2後	2			○					1			
		臨床神経学		2前	2			○					1			
		整形外科学		2前	2			○					1			
		精神医学		2前	2			○			1					
		小児科学		2後	2			○					1			
		リハビリテーション医学 I		2前	2			○			4	1	2			共同
	リハビリテーション医学 II		2後	2			○			5	1	2			共同	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念		リハビリテーション概論	1前	1			○					1			
			保健医療論	1前	2			○					1			
			社会保障制度	2後	2			○					1			
	小計22 (科目)				39	0	0				15	3	25	0	0	
	専門教育科目	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	2			○			1					
			基礎作業療法学 I	1後	1			○					1			
			基礎作業療法学 II	2前	2			○					1			
作業療法管理学		作業療法管理学	3前	2			○			1						
作業療法評価学		作業療法評価	2前	1			○			1						
		身体機能評価法	2後	1				○		1						
		精神機能評価法	2後	1				○		1						
		日常生活活動	2前	1			○					1				
		作業療法評価演習 I	2後	1				○		1						
		作業療法評価演習 II	3前	1				○		2		4			共同	
作業療法治療学		身体障害の作業療法 I	2後	1			○			1						
		身体障害の作業療法 II	2後	1			○					2			共同	
		身体障害演習	3前	1				○		1						
		精神障害の作業療法	2後	1				○		1						
		精神障害演習	3前	1				○		1						
		発達障害の作業療法	3前	1				○				1				
		発達障害演習	3前	1				○				1				
		高次脳機能障害の作業療法	3前	2				○		1						
		老年期障害の作業療法	3前	1				○				1				
	老年期障害演習	3前	1				○				1					
	作業療法特論 I	4後	2				○		2		4			共同		
	作業療法特論 II	4後	2				○		2		4			共同		
作業療法特論 III	4後	2				○		2		4			共同			
作業療法特論 IV	4後	3				○		2		4			共同			
作業療法特論 V	4後	3				○		2		4			共同			
作業療法特論 VI	4後	3				○		2		4			共同			



科目 区分	授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	地域作業療法学 地域作業療法演習 生活環境整備学	3前	2			○									
		3前	1				○								
		3前	1				○								
	臨床実習	作業療法学臨床実習Ⅰ 作業療法学臨床実習Ⅱ 作業療法学臨床実習Ⅲ 作業療法学臨床実習Ⅳ	2前	1			○		○	1					
3後			4			○		○	1						
3後			9			○		○	1						
4前			9			○		○	1						
卒業論文	研究方法論 卒業論文	2前	2			○			1						
		4前	2				○		2		4				共同
小計35 (科目)		—	70	0	0	—	—	—	32	0	44	0	0		
合計 (72科目)		—	135	0	0	—	—	—	69	6	89	0	0		兼7
学位又は称号		学士 (保健衛生学)	学位又は学科の分野		保健衛生学関係(リハビリテーション関係)										
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
以下に掲げる基準を満たし、合計135単位以上修得することを卒業要件とする。 <共通基礎科目> ・必修科目26単位を修得すること。 ・合計26単位以上修得すること。 <専門基礎科目> ・必修科目39単位を修得すること。 ・合計39単位以上修得すること。 <専門科目> ・必修科目70単位を修得すること。 ・合計70単位以上修得すること。 ※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。 <履修要件> ・作業療法学臨床実習Ⅲ、作業療法学臨床実習Ⅳを履修するには、3年後期までに配当された専門教育科目の必修科目をすべて修得すること。							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

4年次編入生用授業科目(保健医療学部総合リハビリテーション学科作業療法学専攻)

授業科目の名称	開講学期	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
英語演習	4後	2				○		1						「英語Ⅱ」に読替
卒業研究A	4前	1				○		3		3				「卒業研究Ⅱ」に読替
卒業研究B	4後	1				○		3		3				「卒業研究Ⅲ」に読替
卒業研究C	4前	1				○		3		3				「卒業研究Ⅳ」に読替
作業療法特論A	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅳ」に読替
作業療法特論B	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅴ」に読替
作業療法特論C	4通	3			○			2		4				「作業療法特論Ⅵ」に読替

教育課程等の概要																		
(政治経済学部政治・政策学科)																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					授業形態					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		助手				
教養科目	人間と文化	言葉と文学 くらしと芸術 心理学概論 哲学概論 生活文化概論	1前 1前 1前 1後 1前	2 2 2 2 2			○ ○ ○ ○ ○					1			兼1 兼2 兼1 兼1	オムニバス		
	人間と社会	日本国憲法 福祉と人権 地理学 近現代史 地球環境論 国際コミュニケーション論	1前 1前 1後 1後 1後 1後	2 2 2 2 2 2			○ ○ ○ ○ ○ ○		1 1			1 1 1			兼1			
	人間と自然	情報処理 I 情報処理 II 基礎数学 科学史 AI・データサイエンス	1前 1後 1前 1後 1後	1 1 2 2 2			○ ○ ○ ○ ○								兼1 兼1 兼1 兼1 兼1			
共通基礎科目	外国語科目	英語 I	1前	1			○											
		英語 II	1後	1			○											
		英語 III	2前	1			○											
		英語 IV	2後	1			○											
		英語基礎演習 I	1前		1		○											
		英語基礎演習 II	1後		1		○											
		TOEIC英語 I	2前		1		○							1				
		TOEIC英語 II	2後		1		○							1				
		英会話 I	1前		1		○											
		英会話 II	1後		1		○											
		ビジネス英語	3前		1		○						1					
		日本語 I	1前		1		○											
		日本語 II	1後		1		○											
		日本語 III	2前		1		○											
		日本語 IV	2後		1		○											
		保健体育科目	スポーツ I	1前	1													
スポーツ II 健康科学概論	1後 1前		1 2															
基礎演習科目	基礎演習 I	1通	2				○				2					共同		
	基礎演習 II	2通	2				○				1	1				共同		
キャリア・ガイダンス科目	キャリア・ガイダンス I	1通	2				○					1	1			共同		
	キャリア・ガイダンス II	2通	2				○					2				共同		
	キャリア・ガイダンス III	3通	2				○				1	1				共同		
	キャリア・ガイダンス IV	4通	2				○				1	1				共同		
小計40 (科目)		—	22	39	0		—				5	2	2	0	0	兼15		
専門教育科目	基盤科目	政治学入門	1前	2			○					1						
		政策学概論	1後	2			○					1						
		法学概論	1前	2			○						1					
		経済学基礎	1前	2			○											
		経営学入門	1後	2			○										兼1 兼1	
	政治分野科目	政治学 I	1後		2		○					1						
		政治学 II	2前		2		○					1						
		日本国憲法特論	1後		2		○					1						
		国家論	2前		2		○					1						
		議会政治論	2前		2		○					1						
		政治体制論	2後		2		○					1						
		政治過程論	2前		2		○					1						
		比較政治学	3前・4前		2		○					1			1			
		政党政治論	3前・4前		2		○					1						
		政治思想史	2後		2		○					1						
		政治哲学	3前・4前		2		○					1						
		日本政治史	2前		2		○					1						
		欧米政治史	3前・4前		2		○					1						
		アジア政治史	3後・4後		2		○					1						
		国際政治学	2後		2		○					1						
日本の政治と外交	3前・4前		2		○					1								
平和安全保障論	3後・4後		2		○					1								
国際機関論	3後・4後		2		○					1								
NPO/NGO論	3後・4後		2		○					1	1							
発展途上国論	3後・4後		2		○					1								
国際法	3前・4前		2		○					1								
マスメディア論 I	2後		2		○													
マスメディア論 II	3前・4前		2		○													
政治学実践演習	3通		2			○				1	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	政策分野科目	行政学			2	○			1										
		地方自治論	2前		2	○			1										
		公共政策学Ⅰ	2前		2	○			1										
		公共政策学Ⅱ	2後		2	○			1										
		政策評価論	3前・4前		2	○			1										
		公務員論	3後・4後		2	○			1										
		都市・地域政策	2前		2	○			1										
		自治体経営論	3前・4前		2	○			1										
		地方財政論	3前・4前		2	○			1									兼1	
		社会保障論	2前		2	○			1										
		環境政策論	3後・4後		2	○			1										
		経済政策論	3前・4前		2	○			1									兼1	
		金融政策論	3前・4前		2	○			1									兼1	
		福祉行政と人権	2後		2	○			1										
		社会政策	3前・4前		2	○			1										
		民法	2前		2	○			1										
		行政法	2前		2	○			1										
		地方自治法	2後		2	○			1										
		労働法	3前・4前		2	○			1										
		現代情報法	3後・4後		2	○			1									兼1	
	地方自治特論	2後		2	○			1											
	政策学実践演習	3通		2			○		1	1							共同		
	専門科目	関連分野科目	社会学概論	2前		2	○											兼1	
			国際関係論	2前		2	○			1									兼1
			ミクロ経済学	1後		2	○												兼1
			マクロ経済学	1後		2	○												兼1
			基礎統計学	2前		2	○												兼1
			ゲーム理論	2前		2	○												兼1
			経済分析Ⅰ	2後		2	○												兼1
			経済統計学	2後		2	○												兼1
			経済史	2前		2	○												兼1
			産業組織論	2後		2	○												兼1
			経済地理学	2前		2	○												兼1
			国際経済学	2後		2	○												兼1
			財政学	2前		2	○												兼1
			金融論	2後		2	○												兼1
			経済学演習	1通		2				○									兼1
			経営戦略論	2前		2	○												兼1
			経営組織論	2前		2	○												兼1
			経営管理論	2後		2	○												兼1
			経営分析論	2後		2	○												兼1
経営情報論			2後		2	○												兼1	
企業統治論			2後		2	○												兼1	
マーケティング論	2前		2	○												兼1			
中小企業論	2前		2	○												兼1			
簿記Ⅰ	1前		2	○												兼1			
簿記Ⅱ	1後		2	○												兼1			
会計学基礎	2前		2	○												兼1			
原価計算論	2前		2	○												兼1			
財務会計論	2後		2	○												兼1			
税法	2後		2	○												兼1			
会社法	2後		2	○				1								兼1			
経済法	2前		2	○				1								兼1			
産業社会学	2前		2	○												兼1			
社会心理学	2前		2	○												兼1			
社会調査論	2後		2	○												兼1			
情報と法の倫理/情報セキュリティ	3前・4前		2	○												兼1			
知的財産権	3前・4前		2	○												兼1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	1通	2				○			1	1			共同 共同
	キャリア研究Ⅱ	2通	2				○			2				
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	1通								1				
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	2通		2				○		1				
卒業論文	卒業論文Ⅰ	3通	4				○		8	1				
	卒業論文Ⅱ	4通	4				○		8	1				
小計93(科目)		—	22	168	0	—	—	—	8	2	1	0	0	兼14
合計(133科目)		—	44	207	0	—	—	—	8	2	2	0	0	兼28
学位又は称号	学士(政治・政策学)		学位又は学科の分野			法学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
以下のすべてを満たし、124単位以上修得することを卒業要件とする。 <共通基礎科目> ・必修22単位を修得し、教養科目のうち「人間と文学」「人間と社会」「人間と自然」の各分野について、必修単位以外にそれぞれ2単位を修得すること。(合計28単位) <専門教育科目> (1) 専門科目 ①「基盤科目」の必修科目10単位を修得すること。 ②政治学専攻選択者は、政治分野科目の選択科目から、「政治学Ⅰ」「政治学Ⅱ」「日本政治史」「日本国憲法特論」を含み24単位以上、政策分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 ③政策学専攻選択者は、政策分野科目の選択科目から、「行政学」「公共政策学Ⅰ」「地方自治論」「社会保障論」を含み24単位以上、政治分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 (2) 実践演習科目 ・必修4単位を修得すること。 (3) 卒業論文 ・必修8単位を修得すること。 ※履修科目の登録の上限は、年間43単位を上限とする。						1学年の学期区分		2期						
						1学期の授業期間		15週						
						1時限の授業時間		90分						

教 育 課 程 等 の 概 要

(政治経済学部経済経営学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	1前		2		○									兼1
		くらしと芸術	1前		2		○									兼2
		心理学概論	1前		2		○									兼1
		哲学概論	1後		2		○									兼1
		生活文化概論	1前		2		○									兼1
	人間と社会	日本国憲法	1前	2			○									兼1
		福祉と人権	1前		2		○									兼1
		地理学	1後		2		○									兼1
		近現代史	1後		2		○									兼1
		地球環境論	1後		2		○									兼1
		国際コミュニケーション論	1後		2		○									兼1
	人間と自然	情報処理 I	1前	1				○			1					兼1
		情報処理 II	1後	1				○								兼1
		基礎数学	1前		2		○									兼1
		科学史	1後		2		○									兼1
		AI・データサイエンス	1後		2		○									兼1
	外国語科目	英語 I	1前	1				○								兼1
		英語 II	1後	1				○								兼1
		英語 III	2前	1				○								兼1
		英語 IV	2後	1				○								兼1
		英語基礎演習 I	1前		1			○								兼1
		英語基礎演習 II	1後		1			○								兼1
		TOEIC英語 I	2前		1			○								兼1
		TOEIC英語 II	2後		1			○								兼1
		英会話 I	1前		1			○								兼1
		英会話 II	1後		1			○								兼1
		ビジネス英語	3前		1			○								兼1
日本語 I		1前		1			○								兼1	
日本語 II		1後		1			○								兼1	
日本語 III		2前		1			○								兼1	
日本語 IV	2後		1			○								兼1		
保健体育科目	スポーツ I	1前	1					○			1					
	スポーツ II	1後	1					○			1					
	健康科学概論	1前		2		○					1					
基礎演習科目	基礎演習 I	1通	2				○			2	1	1			共同	
	基礎演習 II	2通	2				○			2	2				共同	
キャリア・ガイダンス科目	キャリア・ガイダンス I	1通	2				○			1		1			共同	
	キャリア・ガイダンス II	2通	2				○			1	1				共同	
	キャリア・ガイダンス III	3通	2				○			1	1				兼1 共同	
	キャリア・ガイダンス IV	4通	2				○			1	1				兼1 共同	
小計40 (科目)		—	22	39	0		—			6	5	1	0	0	兼22	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門教育科目	基盤科目	政治学入門	1前	2			○										兼1		
		政策学概論	1後	2			○										兼1		
		法学概論	1前	2			○										兼1		
		経済学基礎	1前	2			○			1									
		経営学入門	1後	2			○				1								
	経済分野科目	ミクロ経済学	1後		2			○		1									
		マクロ経済学	1後		2			○			1								
		経済学演習	1通		2				○	1									
		基礎統計学	2前		2			○		1									
		ゲーム理論	2前		2			○		1									
		経済分析 I	2後		2			○		1									
		経済統計学	2後		2			○		1									
		経済史	2前		2			○		1									
		産業組織論	2後		2			○		1									
		経済地理学	2前		2			○		1									
		国際経済学	2後		2			○			1								
		財政学	2前		2			○		1									
		計量経済学	3前・4前		2			○			1								
		経済分析 II	3前・4前		2			○		1									
		公共経済学	3前・4前		2			○		1									
		アジア経済論	3前・4前		2			○			1								
		欧米経済論	3後・4後		2			○				1							
		国際貿易・流通論	3前・4前		2			○			1								
		労働経済学	3前・4前		2			○		1									
		環境経済学	3後・4後		2			○		1									
		農業経済学	3前・4前		2			○		1									
		経済政策論	3前・4前		2			○				1							
		金融論	2後		2			○				1							
		金融政策論	3前・4前		2			○				1							
		ファイナンス	3前・4前		2			○				1							
		証券市場論	3後・4後		2			○				1							
		銀行論	3後・4後		2			○				1							
		国際金融論	3後・4後		2			○				1							
		経営分野科目	経営戦略論	2前		2			○		1								
			経営組織論	2前		2			○		1								
	経営管理論		2後		2			○			1								
	経営分析論		2後		2			○		1									
	経営情報論		2後		2			○		1									
	企業統治論		2後		2			○		1									
	マーケティング論		2前		2			○			1								
	中小企業論		2前		2			○			1								
	流通経済論		1後		2			○		1									
	市場調査論		2前		2			○		1									
	商品企画論		2前		2			○		1									
	生産管理論		2後		2			○		1									
	人的資源管理論		3前・4前		2			○		1									
	事業創造・承継論		3後・4後		2			○		1									
	リスクマネジメント論		2前		2			○		1									
	観光産業論		3前・4前		2			○			1								
	地域産業論		3前・4前		2			○			1								
	簿記 I		1前		2			○		1									
	簿記 II		1後		2			○		1									
	会計学基礎		2前		2			○		1									
	原価計算論		2前		2			○		1									
	財務会計論		2後		2			○		1									
管理会計論	2前			2			○		1										
会計監査論	3後・4後			2			○		1										
税務会計論	3前・4前			2			○		1										
ビジネス倫理	3前・4前			2			○		1										
経営学実践演習 I	2後			2							1						兼1		
経営学実践演習 II	3前・4前			2							1						兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			授業形態					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	関連分野科目	社会学概論	2前	2		○										兼1	
		国際関係論	2前	2		○										兼1	
		政治学Ⅰ	1後	2		○										兼1	
		政治学Ⅱ	2前	2		○										兼1	
		日本国憲法特論	1後	2		○										兼1	
		国家論	2前	2		○										兼1	
		議会政治論	2前	2		○										兼1	
		政治体制論	2後	2		○										兼1	
		政治過程論	2前	2		○										兼1	
		政治思想史	2後	2		○										兼1	
		日本政治史	2前	2		○										兼1	
		国際政治学	2後	2		○										兼1	
		マスメディア論Ⅰ	2後	2		○										兼1	
		行政学	1後	2		○										兼1	
		地方自治論	2前	2		○										兼1	
		公共政策学Ⅰ	2前	2		○										兼1	
		公共政策学Ⅱ	2後	2		○										兼1	
		都市・地域政策	2前	2		○										兼1	
		社会保障論	2前	2		○										兼1	
		福祉行政と人権	2後	2		○										兼1	
		社会政策	3前・4前	2		○										兼1	
		民法	2前	2		○										兼1	
		行政法	2前	2		○										兼1	
		地方自治法	2後	2		○										兼1	
		地方自治特論	2後	2		○										兼1	
		税法	2後	2		○				1							
		会社法	2後	2		○											兼1
		経済法	2前	2		○					1						兼1
		産業社会学	2前	2		○											兼1
		社会心理学	2前	2		○											兼1
		社会調査論	2後	2		○											兼1
		情報と法の倫理/情報セキュリティ	3前・4前	2		○					1						
		知的財産権	3前・4前	2		○					1						
実践演習科目	キャリア研究Ⅰ	1通	2				○		1		1				共同		
	キャリア研究Ⅱ	2通	2				○			1	1				共同		
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	1通	2					○							兼1		
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	2通	2					○							兼1		
卒業論文	卒業論文Ⅰ	3通	4				○		7	5	1				共同		
	卒業論文Ⅱ	4通	4				○		7	5	1				共同		
小計100(科目)		—	22	182	0	—	—	—	7	5	1	0	0	兼12			
合計(140科目)		—	44	221	0	—	—	—	7	6	1	0	0	兼28			
学位又は称号	学士(経済経営学)		学位又は学科の分野				経済学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等										
以下のすべてを満たし、124単位以上修得することを卒業要件とする。 <共通基礎科目> ・必修22単位を修得し、教養科目のうち「人間と文学」「人間と社会」「人間と自然」の各分野について、必修単位以外にそれぞれ2単位を修得すること。(合計28単位) <専門教育科目> (1) 専門科目 ①「基盤科目」の必修科目10単位を修得すること。 ②経済学専攻選択者は、経済分野科目の選択科目から、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済学演習」「基礎統計学」を含み24単位以上、経営分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 ③経営学専攻選択者は、経営分野科目の選択科目から、「簿記Ⅰ」「簿記Ⅱ」「会計学基礎」「マーケティング論」を含み24単位以上、経済分野科目、関連分野科目から、それぞれ8単位以上修得すること。 (2) 実践演習科目 ・必修4単位を修得すること。 (3) 卒業論文 ・必修8単位を修得すること。 ※ 履修科目の登録の上限は、年間43単位を上限とする。							1学年の学期区分		2期								
							1学期の授業期間		15週								
							1時限の授業時間		90分								



教育課程等の概要															
(情報学部情報学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	視野形成科目	哲学入門	1前	2		○			1						兼1  兼1
		心理学入門	1前	2		○									
		倫理学入門	1後	2		○				1					
		日本国憲法	1前	2		○				1					
		人間関係論	1前	2		○									
		数学入門	1前	2		○			1	1					
		統計学入門	1後	2		○			1						
		AI・データサイエンス入門	1前	2		○			1						
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1					1						
		英語Ⅱ	1後	1			○		1						
		英語Ⅲ	2前	1			○		1						
		英語Ⅳ	2後	1			○		1						
	育保科健目	スポーツ	1通		2					1					
ゼキインリ科目	キャリアデザインⅠ	1通	2				○		4	3				共同	
	キャリアデザインⅡ	2通	2				○		5	4				共同	
	キャリアデザインⅢ	3通	2				○		5	4				共同	
	キャリアデザインⅣ	4通	2				○		4	3				共同	
小計17(科目)		—	12	18	0	—			9	4	0	0	0	兼2	
専門教育科目	基礎科目	基礎数学Ⅰ	1前	2		○			2	1					
		基礎数学Ⅱ	1後		2		○		2	1					
		情報数学	1後	2			○		5						
		微分積分	1後	2			○		4	1					
		線形代数	1後	2			○		4	1					
		確率統計	1後	2			○		4	1					
		情報学概論	1前	2			○		2						
		データサイエンス基礎	1前	2			○		1						
		データエンジニアリング基礎	2前	2			○		1	1					
		コンピュータシステム基礎	2前	2			○		2						
		AI基礎	2前	2			○		2						
		情報・データサイエンス分野科目	情報科学	2前	2			○			2				
	AI社会の情報倫理と法		2前	2			○			2					
	データ構造とアルゴリズム		2後	2			○			2					
	データベース工学		2後	2			○			1					
	データ分析基礎		2後	1				○		1	1				
	データ分析演習		3前		1			○		1	1				
	プログラミングⅠ		2後	1				○		2					
	プログラミングⅡ		3前		1			○		2					
	情報システム		2・3前	2				○		2					
	データマイニング		2・3後	2				○		2					
	数理モデリング		2・3後	2				○		2					
	オペレーティングシステム		2・3前	2				○		1					
	最適化理論		2・3前	2				○		1					
	グラフ理論		2・3前	2				○		2					
	多変量解析		2・3後	2				○		2					
	画像解析		2・3後	2				○		2					
	信号処理		2・3後	2				○		1					
	意思決定論		2・3後	2				○		1					
	ソフトウェア工学	2・3後	1					○	2						
コンピュータネットワーク	2・3前	2				○		1	1						
コンピュータアーキテクチャ	2・3前	2				○		2							
コンピュータグラフィックス	2・3後	2				○		2							
マルチメディア論	2・3後	2				○		2							
ヒューマンインターフェイス	2・3前	2				○		2							
AI技術と社会	2・3前	2				○		2							
機械学習・深層学習	2・3後	2				○		2							
情報セキュリティ	2・3後	2				○		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	経済・経営分野科目	経済学概論	2前	2			○			1					兼1  兼1
		経営学概論	2前	2			○			1					
		ミクロ経済学	2・3後		2		○			1					
		マクロ経済学	2・3後		2		○								
		計量経済学	2・3後		2		○			2					
		経営情報論	2・3前		2		○			2					
		マーケティング論	2・3後		2		○			2					
		ビジネスイノベーション論	2・3後		2		○			2					
		金融論	2・3後		2		○								
		社会学概論	2前	2			○			1					
		情報社会論	2・3前	2			○			1	1				
		情報政策論	2・3前	2			○			2					
		社会調査法	2・3後		1			○			1				
		認知科学	2・3後		2			○			2				
		情報行動論	2・3前		2			○			2				
情報文化論	2・3前		2			○			1	1					
情報メディア論	2・3前		2			○			2						
基礎・専門演習科目	基礎演習	1通	2				○		7	1				共同 共同 共同	
	専門演習Ⅰ	2通	2				○		11	2					
	専門演習Ⅱ	3通	2				○		11	2					
卒業研究	卒業研究	4通	4				○		9	2					
小計59(科目)			—	56	58	0		—	12	3	0	0	0	兼2	
合計(76科目)			—	68	76	0		—	14	4	0	0	0	兼4	
学位又は称号		学士(情報学)	学位又は学科の分野		工学関係 経済学関係										
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。															
<共通基礎科目> ・必修科目12単位を修得すること。 ・合計22単位以上修得すること。							1学年の学期区分			2期					
<専門教育科目> (専門科目) ・「基盤科目」の必修科目20単位を修得すること。 ・「情報・データサイエンス分野科目」の必修科目16単位を修得すること。 ・「経済・経営分野科目」の必修科目10単位を修得すること。 ・合計92単位以上修得すること。							1学期の授業期間			15週					
(基礎・専門演習科目) ・6単位修得すること。							1時限の授業時間			90分					
(卒業研究) ・4単位修得すること。															
※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。															

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### (1) 学生確保の見通し

##### ① 定員充足の見込み

###### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

保健医療学部総合リハビリテーション学科は、平成26(2014)年4月の開設から8年目を迎え、社会的認知も広がり、理学療法学専攻、作業療法学専攻とも、順調に入学定員充足を継続している。

また、本学は、系列校に、白鳳短期大学総合人間学科リハビリテーション学専攻理学療法学課程(入学定員40名)、作業療法学課程(入学定員30名)を有しており、受験時に、本学とともに、系列の白鳳短期大学を併願受験し、大学への進学意思を持ちながら短期大学に進学する学生も多い。

また、本学の位置する大阪府、及び隣接する兵庫県、奈良県に3年制の養成校が集中しており、これら系列短期大学の学生、及び3年制課程修了後、本学部学科理学療法学専攻・作業療法学専攻4年次への編入が可能な専門学校の各専門課程で学ぶ学生を対象に、第三者機関によるニーズ調査を実施したところ、本学部学科の各専攻4年次に編入学し、専門課程に関する発展的、実践的な学びを深め、卒業後、医療現場や大学院進学を目指したいという意思をもつ希望者が、編入学定員を満たす理学療法専攻24人、作業療法学専攻19人という結果を得た。

継続的な高齢者人口比率の高まり、また、医療技術のさらなる進展の観点から、本学部学科各専攻4年次編入学の需要は、今後さらに高まるものと見込まれ、また、4年次編入設定について、さらに幅広く告知展開を図ることにより、十分定員充足できるものとする。

【資料1】 保健医療学部 総合リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻) 入学志願状況(直近5か年)

【資料2】 大和大学「保健医療学部 総合リハビリテーション学科 4年次編入」学生確保の見通し報告書

###### ○ 政治経済学部

<政治・政策学科>

政治経済学部政治・政策学科は、平成 28 (2016) 年 4 月の開設時、「政治行政学科」としてスタートした。しかし、大学自体が開学 3 年目であり知名度が不足していたことや、関西に「政治経済学部」が存在せず、学部の認知が行き渡らなかったことから、開設年度の平成 28 (2016) 年度入学者は、入学定員 60 名に対し 36 名という結果となった。

そこで、「入学者の受入れに関する方針」に掲げる入学者基準の堅持、教育研究の質の維持を図るため、平成 29 (2017) 年度より、入学定員を 40 名に減員し、以降、懸命に、質の高い教育研究の実践を図るとともに、精力的に広報展開を図ってきた。

その結果、平成 29 (2017) 年度、受験者数 587 名、入学者数 40 名、平成 30 (2018) 年度、受験者数 676 名、入学者数 38 名、平成 31 (2019) 年度、受験者数 927 名、入学者数 46 名、令和 2 (2020) 年度、受験者数 930 名、入学者数 43 名、令和 3 (2021) 年度、受験者数 1,651 名、入学者数 46 名と、志願者数・入学者数とも堅調に増加してきた。

また、令和 4 (2022) 年度から、「政治行政学科」の学科名称を関西エリアに類例が存在する「政治・政策学科」に変更したことにより、受験生の本学科の認知は一層高まるものと見込まれる。

また、本学が立地する「大阪」における私立大学の入学定員充足率、及び、同系統学部の入学定員充足率、関西主要私立大学の同系統学部学科の倍率、入学定員充足状況は、いずれも堅調に推移しており、入学定員を認可時の 60 名に復し、志願者数、競争倍率と入学定員規模の適正化を図ることによって、定員充足をしつつ、本学部学科への入学を強く志望する学生の安定的な受け入れを図ることができるものとする。

【資料 3】 政治経済学部 入学志願状況 (直近 5 か年)

【資料 4】 私立大学 地域別動向

<令和 3 (2021) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向>

【資料 5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向

<令和 3 (2021) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向>

【資料 6】 令和 3 (2021) 年度 関西主要私立大学 政治・政策系統学部学科 入試結果

<経済経営学科>

平成 28 (2016) 年 4 月の政治経済学部経済経営学科開設時は、大学自体が設置 3 年目であり知名度が不足していたことや、関西に「政治経済学部」が存在せず、学部の認知が行き渡らなかったことから、開設年度の平成 28 (2016) 年度入学者は、入学定員 120 名に対し入学者数 88 名という結果となった。

そこで、「入学者の受入れに関する方針」に掲げる入学者の基準の堅持、教育研究の質の維持を図るため、平成 29 (2017) 年度入学者より入学定員を 80 名に減員し、以

降、懸命に、質の高い教育研究の実践を図るとともに、精力的に広報展開を図ってきた。

その結果、平成 29(2017)年度、受験者数 730 名、入学者数 97 名、平成 30(2018)年度、受験者数 820 名、入学者数 97 名、平成 31(2019)年度、受験者数 1,147 名、入学者数 93 名、令和 2(2020)年度、受験者数 1,130 名、入学者数 88 名、令和 3(2021)年度、受験者数 2,007 名、入学者数 86 名と、志願者数・入学者数とも堅調に増加している。

また、本学が立地する「大阪」における私立大学の入学定員充足率、及び、同系統学部  
の入学定員充足率、関西主要私立大学の同系統学部学科の倍率、入学定員充足状況は、いずれも堅調に推移しており、入学定員を認可時の 120 名に復し、志願者数、競争倍率と入学定員規模の適正化を図ることによって、定員充足をしつつ、本学部学科への入学を強く志望する学生の安定的な受け入れを図ることができるものとする。

【資料 3】 政治経済学部 入学志願状況（直近 5 か年）

【資料 4】 私立大学 地域別動向

＜令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向＞

【資料 5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向

＜令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向＞

【資料 6】 令和 3(2021)年度 関西主要私立大学 経済経営系統学部学科 入試結果

## ○ 情報学部

この度設置する情報学部の入学定員を設定するにあたり、全国主要私立大学の同系統学部の入学定員、志願者数、志願倍率の調査分析を行ったところ、平均学部入学定員は 296 人、入学者数に対する平均志願倍率は約 12.0 倍であった。

また、後述の「定員充足の見込み」に記す本学部同系統分野の動向分析、アンケート調査結果をふまえ、このたび設置する情報学部情報学科の入学定員、収容定員を入学定員 200 人、収容定員 800 人に設定した。

本学が立地する大阪における私立大学の入学定員充足率、及びこの度設置する本学部の同系統学部の入学定員充足率は堅調に推移しており、また、全国主要私立大学の同系統学部学科の倍率、入学定員充足状況も堅調である。

また、第三者機関に依頼実施した現高等学校 2 年生を対象とする本学部への受験、入学意欲に関する調査結果においても入学定員を上回る希望者数を得ることができたことから、十分定員充足できるものとする。

【資料 7】 令和 3(2021)年度 全国主要私立大学 情報学系統学部学科 入試結果

【資料 8】 大和大学「情報学部（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査報告書

- 【資料4】 私立大学 地域別動向  
 <令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向>
- 【資料5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向  
 <令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向>

## ② 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

この度、編入学定員を設定する保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の直近5か年の入学志願状況をみると、平成29(2017)年度、作業療法学専攻において入学定員を満たしていない状況があったが、以降の年度は、理学療法学専攻・作業療法学専攻とも、入学定員を充足しつつ、志願者数、受験者数とも安定推移を続けている。

また、直近5か年の全国大学編入学者数推移データをみると、大学全体、リハビリシステム学部の双方において、短期大学出身者、専修学校出身者とも堅調に推移しており、大学編入学者数の全体動向は安定している。

そこで、この度の編入学定員充足の根拠となる調査として、関西圏の対象教育機関（同系統分野課程を有する短期大学・専門学校）の現2年生を対象に保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻への4年次編入学受験、入学意欲の調査を第三者機関に依頼実施し、以下の結果を得た。

### <保健医療学部 総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻/作業療法学専攻についての短期大学・専門学校生を対象としたアンケート調査>

#### 実施概要

調査内容	大和大学が令和5(2023)年度に4年次編入学定員を設ける予定の保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻/作業療法学専攻における編入学生確保の見通しを検証するために、短期大学・専門学校2年生を対象としたアンケートを実施した。 アンケート項目は全3問で、すべて選択肢式とした。
調査実施時期	令和4(2022)年2月
調査対象	令和5(2023)年3月に短期大学・専門学校の理学療法士養成課程(3年課程)または作業療法士養成課程(3年課程)を卒業予定の現2年

	生
実施校	大和大学の設置母体である学校法人西大和学園が併設する白鳳短期大学のリハビリテーション学専攻理学療法学課程/作業量法学課程、及び大阪府・兵庫県内の医療福祉系専門学校各1校
有効回答数	128件

この度設定する編入学定員の出願資格に、理学療法士または作業療法士の国家資格を取得済み、または取得見込みであることを掲げており、アンケート調査は、令和5(2022)年3月に短期大学・専門学校の理学療法士または作業療法士養成課程(3年課程)を卒業予定である現2年生を対象に、編入学制度の特色・学費・アクセスなどを具体的に示したうえで、編入学意欲についての回答を求めた。

その結果、理学療法学専攻については24人(回答者全体の18.8%)が本学部学科理学療法学専攻の4年次に「編入学したいと思う」と回答し、作業療法学専攻については、19人(回答者全体の14.8%)が「編入学したいと思う」と回答した。

また、近畿圏における理学療法士数、作業療法士数の対人口比及び養成校数データをみると、近畿2府4県の対人口比平均は、全国平均とほぼ同比率であるが、3年制課程の養成校の立地をみると、本学の位置する大阪府、及び隣接する兵庫県、奈良県に集中しており、本学の立地は、大学に編入学し、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指したいと考える3年制課程修了学生のニーズに応えるには最適の立地に位置しているといえる。

また、今後、この度の編入学設定について、ホームページ、広報媒体等で、対象校への案内送付を幅広く展開する予定であり、さらに志願者増が見込まれることから、十分定員充足を図ることができるものと考えている。

【資料1】 保健医療学部 総合リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻) 入学志願状況(直近5か年)

【資料11】 全国大学編入学者数推移

【資料2】 大和大学「保健医療学部 総合リハビリテーション学科4年次編入」学生確保の見通し報告書

【資料9】 近畿圏 理学療法士比率・養成校数

【資料10】 近畿圏 作業療法士比率・養成校数

## ○ 政治経済学部

<政治・政策学科>

本学科の定員変更にあたって、まず、本学が立地する地域の私立大学の入学志願者動向について、令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向の「地域別の動向」をみると、立地地域の「大阪」の入学定員充足率は、令和2(2020)年度105.46%、令和3(2021)年度103.58%と堅調に推移しており、また、学部系統別の動向について「主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、本学科と同系統の「政治経済学部」の入学定員充足率は、令和2(2020)年度91.67%から令和3(2021)年度99.07%と増加傾向にあり、また、関西の同系統分野の主要私立大学の入試結果についても、各大学、倍率を維持しつつ、概ね入学定員を充足している状況にある。

また、本学政治経済学部のオープンキャンパス参加者数をみると、平成29(2017)年度308名、平成30(2018)年度402名、平成31(2019)年度453名、令和3(2021)年度470名と堅調に推移してきており、また、本学科の入学志願状況データにおいても、平成29(2017)年度、志願者数608名、受験者数587名、平成30(2018)年度、志願者数689名、受験者数676名、平成31・令和元(2019)年度は、志願者数942名、受験者数927名、令和2(2020)年度、志願者数962名、受験者数930名、令和3(2021)年度、志願者数1,688名、受験者数1,651名と、堅調に志願者数、受験者数の増加が続いており、また、うち本学科を第1志望とする人数も、平成29(2017)年度、志願者数256名、受験者数242名、平成30(2018)年度、志願者数150名、受験者数148名、平成31・令和元(2019)年度は、志願者数204名、受験者数204名、令和2(2020)年度、志願者数196名、受験者数188名、令和3(2021)年度、志願者数274名、受験者数271名と、堅調に増加が続いている。

以上の通り、入学定員規模に対し、志願者数、受験者数が高い状況が継続しており、入学定員を認可時の60名に復し、志願者数、競争倍率と入学定員規模の適正化を図ることによって、本学科への入学を強く志望する入学者60名を安定的に確保しつつ、質の高い教育を展開できるものとする。

#### <経済経営学科>

本学科の定員変更にあたって、まず、本学が立地する地域の私立大学の入学志願者動向について、令和3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向の「地域別の動向」をみると、立地地域の「大阪」の入学定員充足率は、令和2年度105.46%、令和3年度103.58%と堅調に推移しており、また、学部系統別の動向について、「主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、本学科と同系統の「政治経済学部」の入学定員充足率は、令和2(2020)年度91.67%から令和3(2021)年度99.07%と増加傾向にあり、また、本学科に関連する「経済学部」の入学定員充足率は、令和2(2020)年度102.68%、令和3(2021)年度101.42%、「経営学部」の入学定員充足率は、令和2(2020)年度105.27%、令和3(2021)年度103.28%と堅調に推移しており、また、関西の同系統分野の主要私立大学の入試結果についても、各大学、倍率を維持しつつ、概ね入学定員を充足している状況にある。



また、本学政治経済学部オープンキャンパス参加者数をみると、平成 29(2017)年度 308 名、平成 30(2018)年度 402 名、平成 31(2019)年度 453 名、令和 3(2021)年度 470 名と堅調に推移してきており、また、本学科の入学志願状況データにおいても、平成 29(2017)年度、志願者数 753 名、受験者数 730 名、平成 30(2018)年度、志願者数 837 名、受験者数 820 名、平成 31・令和元(2019)年度、志願者数 1,164 名、受験者数 938 名、令和 2(2020)年度、志願者数 1,168 名、受験者数 1,130 名、令和 3(2021)年度、志願者数 2,050 名、受験者数 2,007 名と、堅調に志願者数、受験者数の増加が続いており、また、うち本学科を第 1 志望とする人数も、平成 29(2017)年度、志願者数 327 名、受験者数 314 名、平成 30(2018)年度、志願者数 431 名、受験者数 422 名、平成 31・令和元(2019)年度、志願者数 564 名、受験者数 551 名、令和 2(2020)年度、志願者数 608 名、受験者数 586 名、令和 3(2021)年度、志願者数 782 名、受験者数 761 名と、堅調に志願者数、受験者数の増加が続いている。

以上の通り、入学定員規模に対し、志願者数、受験者数が高い状況が継続しており、入学定員を認可時の 120 名に復し、志願者数、競争倍率と入学定員規模の適正化を図ることによって、本学科への入学を強く志望する入学者 120 名を安定的に確保しつつ、質の高い教育を展開できるものとする。

【資料 4】 私立大学 地域別動向

＜令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向＞

【資料 5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向

＜令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向＞

【資料 6】 令和 3(2021)年度 関西主要私立大学 政治・政策システム学部学科 入試結果

令和 3(2021)年度 関西主要私立大学 経済経営システム学部学科 試験結果

【資料 1 2】 大和大学 オープンキャンパス参加者数・志願者数・入学者数推移 (直近 5 か年)

【資料 3】 政治経済学部 入学志願状況 (直近 5 か年)

## ○ 情報学部

この度設置する情報学部の定員充足について、「令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「地域別動向」をみると、本学が立地する「大阪」の入学定員充足率は、令和 2(2020)年度 105.46%、令和 3(2021)年度 103.58%と堅調に推移しており、また、「私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向」をみると、同系統の「情報科学部」の入学定員充足率は、令和 2(2020)年度 108.60%、令和 3(2021)年度 113.49%、「情報学部」の入学定員充足率は、令和 2(2020)年度 105.64%、令和 3(2021)年度 109.51%、

「総合情報学部」の入学定員充足率は、令和2（2020）年度 105.58%、令和3（2021）年度 105.99%と、いずれも堅調に推移している。

また、全国主要私立大学の同系統分野の入試結果をみると、各大学、いずれも倍率を維持しつつ、概ね入学定員を充足している状況にある。

そこで、本学部の定員充足の根拠となる調査として、現在、高等学校2年生の生徒を対象に、本学部への受験、入学意欲の調査を第三者機関に依頼実施し、以下の結果を得た。

### <情報学部についての高校生を対象としたアンケート調査>

#### 実施概要

調査目的	令和5（2023）年4月新設予定の大和大学「情報学部情報学科（仮称）」（入学定員200名を予定）の学生確保の見通しを測定するために高校生を対象としたアンケート調査を実施した。
調査時期	令和3（2021）年11月～令和4（2022）年1月
調査対象者	令和3（2021）年度時点の高校2年生（令和5（2023）年度に大学進学時期を迎える者）
調査内容	選択肢式の7問 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路、関心のある学問分野）</li> <li>■ 大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」への志願・入学意志等</li> </ul>
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者にアンケート用紙を配布のうえ、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
実施人数	9,122件

以上の通り、高校生アンケート調査は、本学が学生確保の基盤とする近畿地方を中心とした高校に依頼を行い、66校（大阪府36校、兵庫県12校、京都府8校、滋賀県3校、奈良県5校、和歌山県2校）より実施協力をいただき、これら66校に在籍する高校2年生（令和5（2023）年3月卒業予定・令和5（2023）年度に大学進学時期を迎える者）合計9,122人を対象に高校生アンケート調査を行った。アンケート調査においては、本学の情報学部の特色・学費・アクセスなどを具体的に示したうえで、受験意欲について回答を求めた。

その結果、524人（回答者全体の5.7%）が情報学部を「受験したい」と回答し、また、受験意欲を示した524人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、232人が「合格した場合、入学したい」、286人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「入学したい」と回答した高校生232人のみで、情報学部が予定す

る入学定員 200 名を上回っており、さらに「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した 286 人を加えると、情報学部への入学を具体的に検討している者は計 518 人（入学定員 200 名の 2.59 倍）となり、入学定員を上回る十分な学生確保の見通しが得られた。

また、本調査は、設置予定地である大阪府を中心に依頼しているが、回答者の居住地の多くを占める大阪府や兵庫県の高校の調査実施率は、大阪府が 21.1%（依頼 170 校中 36 校実施）、兵庫県が 11.7%（依頼 103 校中 12 校実施）であり、上記の回答結果及び前述の実施状況を踏まえると、調査を実施していない高校にも入学意志を持つ者が潜在する可能性が十分ある。

また、本学既設学部のオープンキャンパス、志願者数、入学者数の状況について、「大和大学 オープンキャンパス参加者数・志願者数・入学者数推移（5 か年）」をみると、オープンキャンパス参加者数、志願者数、入学者数とも堅調に推移しており、京阪神を結ぶ大動脈 JR 京都線の「吹田駅」（JR 大阪駅から約 9 分）から徒歩 10 分以内でキャンパスに立つことができる本学の好立地も鑑みると、入学定員 200 名、収容定員 800 名の定員は十分充足できるものと考えられる。

【資料 4】 私立大学 地域別動向

<令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向>

【資料 5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向

<令和 3(2021)年度私立大学・短期大学等入学志願動向>

【資料 7】 令和 3(2021)年度 全国主要私立大学 情報学系統学部学科 入試結果

【資料 8】 大和大学「情報学部（仮称）」設置に係る学生確保の見通し調査報告書

【資料 1 2】 大和大学 オープンキャンパス参加者数・志願者数・入学者数推移（直近 5 か年）

## （2） 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向け、以下のホームページ、案内資料、各種広報媒体、オープンキャンパス、説明会等の広報展開を図る。

### ① ホームページ展開

本学ホームページに、保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の 4 年次編入学定員設定、政治経済学部政治・政策学科及び経済経営学科の入学定員・収容定員変更、情報学部新設に関するインフォメーションを掲載するとともに、特設ページを開設し、定員変更・学部新設についての情報提供を行う。

## ② 大学案内展開

本学大学案内（80,000部）に、保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の4年次編入学定員設定、政治経済学部政治・政策学科及び経済経営学科の入学定員・収容定員変更、情報学部新設に関する情報を掲載し、高校、塾予備校訪問、オープンキャンパス、各種説明会等で広く配布する（保健医療学部総合リハビリテーション学科の編入学定員設定に伴い、専門学校へも配布展開を図る）。

## ③ 専用リーフレット展開

前述の大学案内に加え、特に、新たに編入学定員を設ける保健医療学部総合リハビリテーション学科、及び学部を新設する情報学部について、内容、特色等を掲載したリーフレットを作成する（80,000部）。

本リーフレットは、高校、塾予備校への配置、資料請求者への発送物、オープンキャンパス、各種説明会、ダイレクトメール等の広報展開において活用する（保健医療学部総合リハビリテーション学科の編入学定員設定に伴い、専門学校へも配布展開を図る）。

## ④ 入試ガイド展開

保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻・作業療法学専攻の4年次編入学定員設定、政治経済学部政治・政策学科及び経済経営学科の入学定員・収容定員変更、情報学部新設に関する入試概要を記載したガイドを作成し（60,000部）、前述の大学案内、リーフレットと同様に広く配布する。

## ⑤ 各種広報媒体展開

大学全体の広報として、主に以下の媒体による告知広報を展開する。

- ・進学情報業者による進学情報誌、進学情報サイト
- ・JR西日本、阪急電鉄、近鉄日本鉄道、阪神電鉄、京阪電鉄、南海電鉄、大阪メトロなど関西圏内の主要交通機関のメディア
- ・グーグル、ヤフー、ユーチューブ、SNS（ツイッター、インスタグラムなど）のWeb広告
- ・新聞（全国紙、地方紙）

- ・ダイレクトメール、各種メディアによる告知広報

## ⑥ オープンキャンパス

年間6回程度のオープンキャンパスを開催し（6月、7月、8月、9月、11月予定）、保健医療学部総合リハビリテーション学科、政治経済学部、情報学部について、定員変更、編入学定員設定、学部新設に関する説明を行うとともに、希望者には入試、奨学金、入学後の学び、就職指導、下宿などの各種個別相談を実施する。また、在学生とのふれ合いを通じて入学後のキャンパスライフをイメージできるよう、在学生とのフリートークコーナーや、キャンパスツアーの取り組みを展開する。

## ⑦ キャンパス見学会

オープンキャンパスと並行して、土曜日を中心に年間を通じてキャンパス見学会を開催する。

## ⑧ 教員対象説明会

本学会場、及び、神戸、姫路、京都、彦根、奈良、和歌山の各会場において、高等学校、及び塾予備校教員を対象とする説明会を開催する（例年は本学会場のみの実施で参加者100名程度だが、実施会場増を計画している）。

## ⑨ 高等学校・塾予備校等での説明会

高等学校、塾予備校に依頼し、本学の各学部学科分野を志望している受験生対象に進学説明会を開催する（保健医療学部総合リハビリテーション学科の編入学定員設定に伴い、専門学校へも配布展開を図る）。

## ⑩ 同法人グループ校での説明会

同法人グループ校の西大和学園高等学校において生徒対象説明会を開催する。

## ⑪ 高等学校、塾予備校等への訪問アプローチ

大阪都心から約10分と、本学の立地はアクセス利便性が高く、通学可能な大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県の近畿2府4県の重点校（高等学校498校、塾予備校約3,526校）を年間を通じて定期的に訪問し、各学部の学びに関する告知、広報展開を図る。

また、近畿圏外（特に西日本地区）の高等学校 562 校、塾予備校 400 校にも同様のアプローチを展開する（保健医療学部総合リハビリテーション学科の編入学定員設定に伴い、専門学校へも配布展開を図る）。

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### （1） 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### ○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

理学療法学、作業療法学のそれぞれの分野に関する知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び医療人としての豊かな人間性を備えた人材を育成する。

#### ○ 政治経済学部

<政治・政策学科>

広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに政治学分野および政策学分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成する。

<経済経営学科>

広い教養と倫理観の上に政治、経済の各分野を広く俯瞰する視点を獲得し、さらに経済学分野および経営学分野における豊かな専門的知識・理論に裏打ちされた実学的・実践的視点を修得することで、学術文化の向上と社会の発展に貢献することができる人材を育成する。

#### ○ 情報学部

このたび設置する情報学部情報学科では、「社会学に関する理論、知識を活かし、社会が抱える課題の解決に意欲的に取り組み、社会の発展と幸せな暮らしの創造に貢献する人材を養成する」ことを教育の柱に掲げ、以下の資質、知識、能力を備えた人材を育成する。

情報学を基軸とする情報科学、社会科学の文理融合の学びにより、多角的な視点で情報をとらえ、課題解決に意欲的に取り組み、社会の発展と豊かな暮らしの創造に貢献する人材。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

○ 保健医療学部 総合リハビリテーション学科

本学部学科各専攻の近年3年間の卒業生の就職実績をみると、理学療法学専攻については、平成31(2019)年3月卒業生62名のうち、60名(98.8%)が就職、0名(0.0%)が進学、計60名が就職・進学しており、令和2(2020)年3月卒業生は、54名のうち、52名(96.3%)が就職、2名(3.7%)が進学、計54名が就職・進学しており、令和3(2021)年3月卒業生は、46名のうち、46名(100.0%)が就職、0名(0.0%)が進学、計46名が就職・進学を果たしている。

また、作業療法学専攻については、平成31(2019)年3月卒業生21名のうち、20名(95.2%)が就職、0名(0.0%)が進学、計20名が就職・進学しており、令和2(2020)年3月卒業生は、30名のうち、30名(100.0%)が就職、0名(0.0%)が進学、計30名が就職・進学しており、令和3(2021)年3月卒業生は、35名のうち、32名(91.4%)が就職、1名(2.9%)が進学、計33名が就職・進学を果たしている。

また、前述の通り、近畿圏における理学療法士数、作業療法士数の対人口比及び養成校数データをみると、近畿2府4県の対人口比平均は、全国平均とほぼ同比率であるが、3年制課程の養成校の立地は、本学の位置する大阪府、及び隣接する兵庫県、奈良県に集中しており、3年制課程修了後、発展的、実践的な学びを深め、医療現場や大学院進学を目指す学生の養成を図るこの度の編入学定員設定は、高齢者人口比率の高まり、医療技術のさらなる進展の観点からも、社会的要請に副うものと考ええる。

【資料13】 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 卒業生就職実績

○ 政治経済学部

<政治・政策学科>

本学科(開設時は政治行政学科、令和4年4月名称変更)は、平成28(2016)年開設で、令和2(2020)年3月に第1期生、令和3(2021)年3月に第2期生が卒業しており、第1期生は、卒業生34名のうち、33名(97.1%)が就職、1名(2.9%)が進学、第2期生は、卒業生34名のうち、32名(94.1%)が就職、1名(2.9%)が進学を果たしている。

<経済経営学科>

本学科は、平成 28(2016)年開設で、令和 2(2020)年 3 月に第 1 期生、令和 3(2021)年 3 月に第 2 期生が卒業しており、第 1 期生は、卒業生 76 名のうち、75 名 (98.7%) が就職、0 名 (0.0%) が進学、第 2 期生は、卒業生 83 名のうち、80 名 (96.4%) が就職、2 名 (2.4%) が進学を果たしている。

以上の通り、両学科とも社会的需要は高く、入学定員を認可開設時に復することは社会的要請に副うものとする。

【資料 1 4】 政治経済学部 卒業生就職実績 (第 1 期生・第 2 期生)

○ 情報学部

新たに開設する本学部が養成する人材需要の見通しについて、第三者機関に企業対象アンケート調査を依頼実施し、以下の回答を得た。

＜情報学部についての人材需要アンケート調査＞

実施概要

調査目的	令和 5 (2023) 年 4 月新設予定の大和大学「情報学部 情報学科 (仮称)」(入学定員 200 名を予定) の人材需要の見通しを測定するために企業等を対象としたアンケート調査を実施した。
調査時期	令和 4 (2022) 年 1 月
調査対象	近畿二府四県を主に本社所在地とする上場企業及び未上場大手、合計 1,344 社を依頼対象とした。
調査内容	選択肢式 6 問・記述 1 問 ■ 回答企業・機関の基本情報 (業種、所在地、従業員・職員数) ■ 大和大学「情報学部 情報学科 (仮称)」の社会的ニーズ、採用意向等
有効回答件数	163 件 (返送率 12.0%)

以上の通り、人材需要アンケート調査は情報学部の養成人材 (卒業生) 需要が見込まれる近畿二府四県に本社がある上場企業及び非上場を中心に 1,344 件の企業・機関にアンケート調査を依頼し 163 件の回答を得た。

回答企業・機関は、種類別で見ると、回答数が多い順に「製造業」61 件 (全体の 37.4%)、卸売業・小売業 44 件 (全体の 27.0%)、所在地別で見ると、回答数が多い順に「大阪府」



101 件 (同 62.0%)、「兵庫県」(同 20.9%)、従業員数規模で見ると、回答数が多い順に「100～299 人」44 件 (同 27.0%)、「500～999 人」31 件 (同 19.0%) であった。

これら回答企業・機関に、情報学部の特徴等を具体的に示した上で採用意向について質問したところ、「採用したい」と回答したのは 105 件 (全体の 64.4%) で、これら企業・機関の採用可能と思われる人数の合計は 228 人と、予定する入学定員 200 名を上回る結果となった。

上記の通り、本調査 (回収率 1.2%) のみの結果においても採用可能人数が入学定員を上回っており、また、必要性に記載した政策、及び社会的背景、人材要請もふまえると、本学情報学部が養成する人材の社会的需要は高いものとする。

**【資料 1 5】** 大和大学「情報学部 (仮称)」設置に係る人材需要の見通し調査報告書

【資料1】 保健医療学部 総合リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 入学志願状況（直近5か年）

理学療法学専攻

年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者	競争倍率	歩留率	定員超過率
平成29(2017)年度	40	707	697	132	4	48	5.3	36.4%	1.20
平成30(2018)年度	40	760	746	111	3	44	6.7	39.6%	1.10
令和元(2019)年度	40	550	526	87	7	46	6.0	52.9%	1.15
令和2(2020)年度	40	728	700	121	5	49	5.8	40.5%	1.22
令和3(2021)年度	40	569	556	103	2	41	5.4	39.8%	1.02

作業療法学専攻

年度	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者	競争倍率	歩留率	定員超過率
平成29(2017)年度	40	459	443	153	7	34	2.9	22.2%	0.85
平成30(2018)年度	40	517	504	148	3	44	3.4	29.7%	1.10
令和元(2019)年度	40	351	332	121	2	42	2.7	34.7%	1.05
令和2(2020)年度	40	566	554	154	8	41	3.6	26.6%	1.02
令和3(2021)年度	40	408	404	126	2	44	3.2	34.9%	1.10

【資料2】 大和大学「保健医療学部 総合リハビリテーション学科  
4年次編入」学生確保の見通し報告書

大和大学

保健医療学部 総合リハビリテーション学科

理学療法学専攻／作業療法学専攻

編入学者受入れに係る学生確保の見通し調査

(4年次編入学についてのアンケート調査)

報告書

2022年3月

株式会社 高等教育総合研究所

大和大学

保健医療学部 総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻／作業療法学専攻  
編入学者受入れに係る学生確保の見通し調査(4年次編入学についてのアンケート調査)  
報告書

目次

1. 4年次編入学についてのアンケート 概要
2. 4年次編入学についてのアンケート 全質問事項の集計結果
3. 4年次編入学についてのアンケート 集計結果のポイント

添付資料

## 1. 4年次編入学についてのアンケート調査 概要

調査目的	2023（令和5）年4月より受入れ予定の大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻/作業療法学専攻 4年次編入学（定員各5名を予定）の学生確保の見通しを測定するためにアンケート調査を実施した。
調査時期	2022年2月
調査対象者	2021年度時点の短期大学または専門学校の理学療法学系課程または作業療法学系課程で学ぶ現2年生（2023年度に編入学時期を迎える者）
調査内容	<p>選択肢式の3問。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回答者の基本情報（在籍先する学校種と在籍課程）</li> <li>■ 大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻/作業療法学専攻への4年次編入学意向および希望する専攻</li> </ul>
調査方法	アンケート実施の了承が得られた短期大学・専門学校にアンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者にアンケート用紙を配布の上、5分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。実施校は計3校（大和大学と設置母体（学校法人西大和学園）が同じ白鳳短期大学の他、大阪府内・兵庫県内の医療福祉系専門学校各1校）
有効回答件数	128件

## 2. 4年次編入学についてのアンケート調査 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 理学療法学専攻/作業療法学専攻 4年次編入学についてのアンケート調査	128 件

問1 あなたの現在の状況としてあてはまるものをお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	短期大学2年生(理学療法学系課程)	41	32.0%
2	短期大学2年生(作業療法学系課程)	29	22.7%
3	専門学校2年生(理学療法学系課程)	53	41.4%
4	専門学校2年生(作業療法学系課程)	5	3.9%
	無回答	0	0.0%
合計		128	100.0%

問2 あなたは大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科に4年次編入したいと思いますか。

(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	編入したいと思う	43	33.6%
2	編入したいと思わない	85	66.4%
	無回答	0	0.0%
合計		9,122	100.0%

問3は、問2で「編入したいと思う」と回答した 43 人が回答対象である。

問3 あなたが大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科において、編入したいと思う専攻をお答え

ください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	全体		問1で「理学療法学系」		問1で「作業療法学系」		
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	
1	理学療法学専攻	24	55.8%	24	100.0%	0	0.0%
2	作業療法学専攻	19	44.2%	0	0.0%	19	100.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		43	100.0%	24	100.0%	19	100.0%

### 3. 4年次編入学についてのアンケート調査 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

#### ① 回答者の基本情報

大和大学と設置母体が同じ白鳳短期大学および兵庫県・大阪府内の福祉医療系専門学校で学ぶ合計 128 人からアンケート回答を得た。

いずれもリハビリテーション系学科等（3 年制）に在籍する現 2 年生で、大和大学が保健医療学部総合リハビリテーション学科の理学療法学専攻および作業療法学専攻で 4 年次編入学者を受入れ開始予定の 2023 年 4 月に編入学対象となる学生（2023 年 3 月に現在の在学先を卒業予定）である。

このうち理学療法学系課程に在籍する者は 94 人（回答者全体の 73.4%）で、短大生 41 人（同 32.0%）、専門学校生 53 人（同 41.4%）であった。一方、作業療法学系課程に在籍する者は 34 人（同 26.6%）で、短大生 29 人（同 22.7%）、専門学校生 5 人（同 3.9%）であった。

#### ② 大和大学の理学療法学専攻・作業療法学専攻への 4 年次編入学意向

以上のような短大生・専門学校生に対し、大和大学が 2023 年 4 月より受入れ開始予定の保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻/作業療法学専攻への 4 年次編入学（定員各専攻 5 名）について、その概要を示した上で編入学意向について回答を求めた。その結果、「編入学したいと思う」としたのは 43 人（全体の 33.6%）いた。その上で編入学したいと思うのは「理学療法学専攻」としたのは 24 人で、全員が問 1 で理学療法学系課程に在籍するとした短大生または専門学校生であった。一方、編入学したいと思うのは「作業療法学専攻」としたのは 19 人で、全員が問 1 で作業療法学系課程に在籍するとした短大生または専門学校生であった。

このように大和大学が 4 年次編入学者の受入れを予定する保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法学専攻/作業療法学専攻に対しては、各入学定員 5 名を上回る希望者が存在することが明らかとなった。

以上

## 添 付 資 料

1. 大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 4年次編入学概要
2. 4年次編入学についてのアンケート調査



## 1. 大和大学保健医療学部総合リハビリテーション学科 4年次編入学概要

# 大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 4年次編入制度が始まります！

(2023年(令和5年)4月より受け入れ開始を予定)

### ◆ 制度開始時期

2023年(令和5年)4月予定

### ◆ 募集学部学科等 (編入学定員)

保健医療学部 総合リハビリテーション学科  
理学療法学専攻(5名) ・ 作業療法学専攻(5名)

### ◆ 編入学の要件

以下の①②の要件をともに満たす者とする。

- ① 短期大学(3年制課程)を卒業した者。または、法令等の定めに基づくこれに準ずる学校を卒業した者。
- ② 専攻分野の各国家資格を取得している者または編入学時までに取得見込みの者。

### ◆ 養成する人材像

理学療法学、作業療法学のそれぞれの分野に関する知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことができる応用能力及び医療人としての豊かな人間性を備えた人材を育成する。

### ◆ 卒業要件

- 入学前に、短期大学等において修得した授業科目については、本学各専攻の教育課程に配する授業科目と同等教育内容と判断されるものについて、当該科目の単位を修得したものと読み替えることができる。
- そのうえで、本学各専攻の教育課程に配する授業科目、及び4年次編入学生用に開設する授業科目から所定の授業科目を履修し、所定の単位数(理学療法学専攻:計134単位、作業療法学専攻:計135単位)を修得することを卒業要件とする。

### ◆ 授与学位

学士(保健医療学)

### ◆ 想定される卒業後の進路

医療機関・福祉施設等への就職／大学院への進学

		(単位:円)		
納付金	大学名・学部名 所在地	入学金	授業料等	合計
	大和大学 保健医療学部 (4年次編入) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,750,000	1,950,000

※ 系列校からの編入学生には入学金減免制度があります。  
※ 金額は予定のため、変更となる場合があります。詳しくは2023年度編入学試験要項にてご確認ください。

【参考】4年次編入学制度を設ける他大学(リハビリ以外の分野含む)  
○ 駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科  
○ 九州保健福祉大学 薬学部 薬学科(6年制の4年次)

アクセス

上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

## 2. 4年次編入学についてのアンケート調査



大和大学  
保健医療学部 総合リハビリテーション学科  
理学療法学専攻／作業療法学専攻  
4年次編入学についてのアンケート調査

大和大学では保健医療学部 総合リハビリテーション学科の理学療法学専攻および作業療法学専攻において、2023年(令和5年)4月より4年次編入学定員を設ける予定です。本学ではこのアンケート調査を通して、設置構想の参考とさせていただきます。ご回答いただいた皆さんから得られた情報は、大和大学の4年次編入学制度構想の統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査への協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にしてください。



問1 あなたの現在の状況としてあてはまるものをお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 短期大学2年生(理学療法学系課程)       短期大学2年生(作業療法学系課程)  
 専門学校2年生(理学療法学系課程)       専門学校2年生(作業療法学系課程)

問2 以降は別紙「大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科 4年次編入学制度 概要」をご覧ください、お答えください。

問2 あなたは大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科に4年次編入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 編入学したいと思う      ⇒ 以下の問3にお答えください。  
 編入学したいと思わない      ⇒ 質問は以上となります。

問2で「編入学したいと思う」と回答した方は、以下の問3にお答えください。

問3 あなたが大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科において、編入学したいと思う専攻をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 理学療法学専攻       作業療法学専攻

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



【資料3】 政治経済学部 入学志願状況（直近5か年）

政治・政策学科

年度	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者	競争倍率	歩留率	定員超過率
平成29(2017)年度	40	第1志望	256	242	70	2	32	3.5	45.7%	1.00
		合計	608	587	120	2	40	4.9	33.3%	
平成30(2018)年度	40	第1志望	150	148	33	2	17	4.5	51.5%	0.95
		合計	689	676	132	3	38	5.1	28.8%	
令和元(2019)年度	40	第1志望	204	204	21	4	6	9.7	28.6%	1.15
		合計	942	927	152	5	46	6.1	30.3%	
令和2(2020)年度	40	第1志望	196	188	41	0	13	4.6	31.7%	1.07
		合計	962	930	164	0	43	5.7	26.2%	
令和3(2021)年度	40	第1志望	274	271	60	2	33	4.5	55.0%	1.15
		合計	1,688	1,651	332	7	46	5.0	13.9%	

※ 併願制度 平成29(2017)年度～令和2(2020)年度 政治・政策学科(旧政治行政学科)と経済経営学科  
令和3(2021)年度～ 社会学部との併願制度導入

経済経営学科

年度	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者	競争倍率	歩留率	定員超過率
平成29(2017)年度	80	第1志望	327	314	63	3	38	5.0	60.3%	1.21
		合計	753	730	191	3	97	3.8	50.8%	
平成30(2018)年度	80	第1志望	431	422	94	4	44	4.5	46.8%	1.21
		合計	837	820	186	7	97	4.4	52.2%	
令和元(2019)年度	80	第1志望	564	551	60	4	21	9.2	35.0%	1.16
		合計	1,164	1,147	166	4	93	6.9	56.0%	
令和2(2020)年度	80	第1志望	608	586	97	22	32	6.0	33.0%	1.10
		合計	1,168	1,130	239	22	88	4.7	36.8%	
令和3(2021)年度	80	第1志望	782	761	154	14	73	4.9	47.4%	1.07
		合計	2,050	2,007	340	22	86	5.9	25.3%	

※ 併願制度 平成29(2017)年度～令和2(2020)年度 政治・政策学科(旧政治行政学科)と経済経営学科  
令和3(2021)年度～ 社会学部との併願制度導入

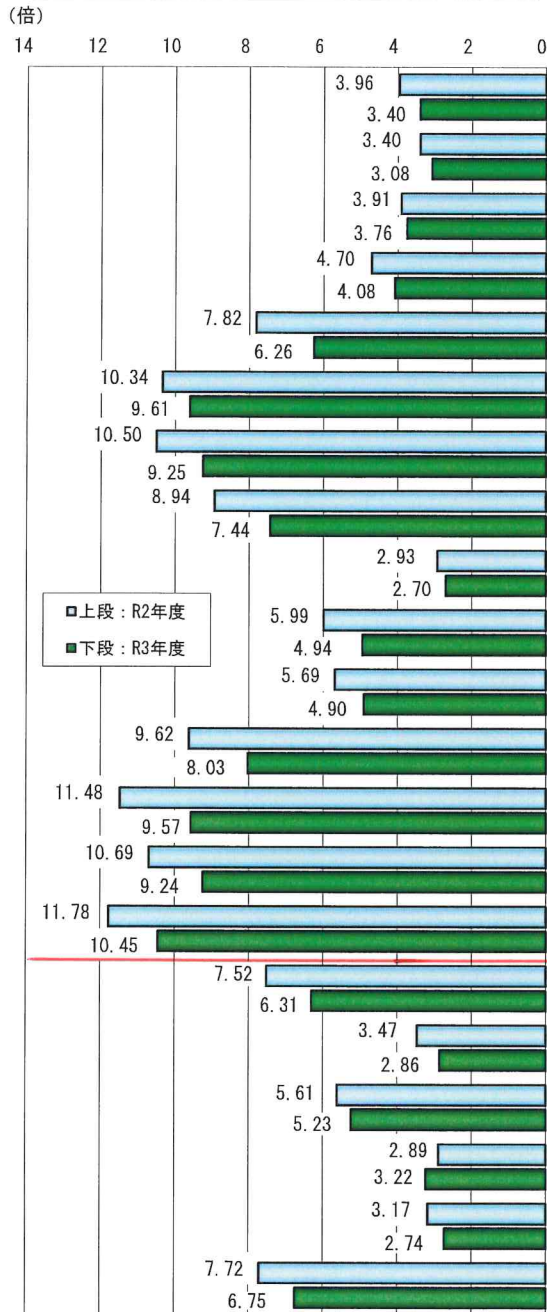
## 【資料4】 私立大学 地域別動向

### 3. 地域別の動向（大学・学部別）

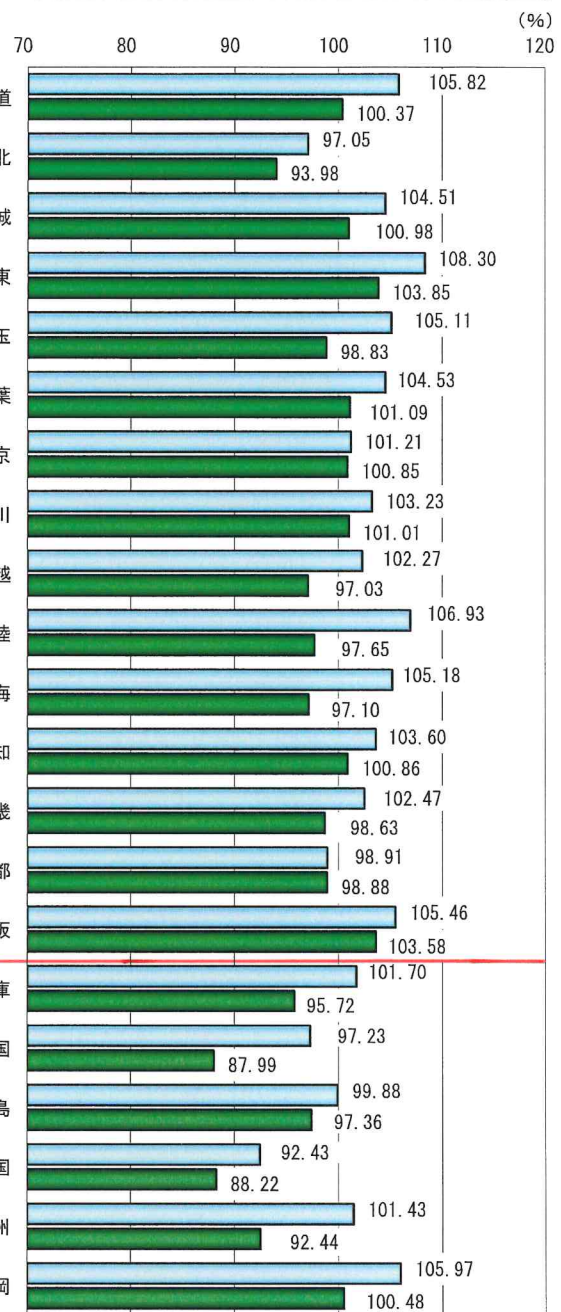
全国を21の地域に区分した。集計は学部所在地ごととした。

地域区分	年度	集計学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
北海道	R2	61	11,601	45,894	44,838	27,345	12,276	3.96	60.99	44.89	105.82
	R3	60	11,741	39,961	38,990	25,461	11,784	3.40	65.30	46.28	100.37
	増減	△ 1	140	△ 5,933	△ 5,848	△ 1,884	△ 492	△ 0.56	4.31	1.39	△ 5.45
東北 (宮城を除く)	R2	43	6,367	21,676	20,857	12,658	6,179	3.40	60.69	48.81	97.05
	R3	43	6,367	19,639	18,844	12,123	5,984	3.08	64.33	49.36	93.98
	増減	0	0	△ 2,037	△ 2,013	△ 535	△ 195	△ 0.32	3.64	0.55	△ 3.07
宮城	R2	32	8,399	32,810	32,101	17,941	8,778	3.91	55.89	48.93	104.51
	R3	33	8,399	31,541	30,659	18,024	8,481	3.76	58.79	47.05	100.98
	増減	1	0	△ 1,269	△ 1,442	83	△ 297	△ 0.15	2.90	△ 1.88	△ 3.53
関東 (埼玉、千葉、東京、 神奈川を除く)	R2	55	10,850	51,038	48,342	22,616	11,751	4.70	46.78	51.96	108.30
	R3	57	11,039	44,995	42,627	22,749	11,464	4.08	53.37	50.39	103.85
	増減	2	189	△ 6,043	△ 5,715	133	△ 287	△ 0.62	6.59	△ 1.57	△ 4.45
埼玉	R2	83	22,651	177,058	168,601	58,449	23,809	7.82	34.67	40.73	105.11
	R3	84	22,570	141,322	134,463	61,325	22,305	6.26	45.61	36.37	98.83
	増減	1	△ 81	△ 35,736	△ 34,138	2,876	△ 1,504	△ 1.56	10.94	△ 4.36	△ 6.28
千葉	R2	87	21,320	220,381	212,519	62,585	22,285	10.34	29.45	35.61	104.53
	R3	90	21,548	207,060	198,822	71,015	21,783	9.61	35.72	30.67	101.09
	増減	3	228	△ 13,321	△ 13,697	8,430	△ 502	△ 0.73	6.27	△ 4.94	△ 3.44
東京	R2	405	153,066	1,607,565	1,522,960	413,673	154,922	10.50	27.16	37.45	101.21
	R3	409	154,577	1,429,351	1,358,116	445,112	155,892	9.25	32.77	35.02	100.85
	増減	4	1,511	△ 178,214	△ 164,844	31,439	970	△ 1.25	5.61	△ 2.43	△ 0.36
神奈川	R2	111	34,749	310,559	295,395	94,612	35,872	8.94	32.03	37.91	103.23
	R3	109	34,041	253,169	240,656	99,902	34,384	7.44	41.51	34.42	101.01
	増減	△ 2	△ 708	△ 57,390	△ 54,739	5,290	△ 1,488	△ 1.50	9.48	△ 3.49	△ 2.22
甲信越	R2	42	5,688	16,650	16,207	10,461	5,817	2.93	64.55	55.61	102.27
	R3	44	5,894	15,929	15,487	10,458	5,719	2.70	67.53	54.69	97.03
	増減	2	206	△ 721	△ 720	△ 3	△ 98	△ 0.23	2.98	△ 0.92	△ 5.24
北陸	R2	31	5,400	32,365	31,382	14,826	5,774	5.99	47.24	38.95	106.93
	R3	33	5,496	27,147	26,108	14,913	5,367	4.94	57.12	35.99	97.65
	増減	2	96	△ 5,218	△ 5,274	87	△ 407	△ 1.05	9.88	△ 2.96	△ 9.28
東海 (愛知を除く)	R2	60	10,066	57,285	55,966	26,374	10,587	5.69	47.13	40.14	105.18
	R3	63	10,266	50,280	48,784	26,358	9,968	4.90	54.03	37.82	97.10
	増減	3	200	△ 7,005	△ 7,182	△ 16	△ 619	△ 0.79	6.90	△ 2.32	△ 8.08
愛知	R2	156	35,716	343,559	333,828	122,722	37,001	9.62	36.76	30.15	103.60
	R3	157	36,186	290,512	283,118	128,874	36,497	8.03	45.52	28.32	100.86
	増減	1	470	△ 53,047	△ 50,710	6,152	△ 504	△ 1.59	8.76	△ 1.83	△ 2.74
近畿 (京都、大阪、兵庫を除く)	R2	40	10,588	121,513	115,474	43,841	10,850	11.48	37.97	24.75	102.47
	R3	41	10,698	102,327	97,417	46,560	10,551	9.57	47.79	22.66	98.63
	増減	1	110	△ 19,186	△ 18,057	2,719	△ 299	△ 1.91	9.82	△ 2.09	△ 3.84
京都	R2	96	29,816	318,823	305,641	86,782	29,491	10.69	28.39	33.98	98.91
	R3	99	30,371	280,705	267,394	96,696	30,032	9.24	36.16	31.06	98.88
	増減	3	555	△ 38,118	△ 38,247	9,914	541	△ 1.45	7.77	△ 2.92	△ 0.03
大阪	R2	165	46,468	547,161	522,786	141,886	49,003	11.78	27.14	34.54	105.46
	R3	170	47,449	495,606	471,385	159,260	49,150	10.45	33.79	30.86	103.58
	増減	5	981	△ 51,555	△ 51,401	17,374	147	△ 1.33	6.65	△ 3.68	△ 1.88
兵庫	R2	102	22,923	172,471	164,374	59,902	23,312	7.52	36.44	38.92	101.70
	R3	106	23,153	146,058	138,761	63,723	22,163	6.31	45.92	34.78	95.72
	増減	4	230	△ 26,413	△ 25,613	3,821	△ 1,149	△ 1.21	9.48	△ 4.14	△ 5.98
中国 (広島を除く)	R2	56	8,597	29,810	28,859	16,778	8,359	3.47	58.14	49.82	97.23
	R3	56	8,590	24,560	23,855	15,943	7,558	2.86	66.83	47.41	87.99
	増減	0	△ 7	△ 5,250	△ 5,004	△ 835	△ 801	△ 0.61	8.69	△ 2.41	△ 9.24
広島	R2	49	9,493	53,298	51,736	26,623	9,482	5.61	51.46	35.62	99.88
	R3	49	9,493	49,651	48,260	28,265	9,242	5.23	58.57	32.70	97.36
	増減	0	0	△ 3,647	△ 3,476	1,642	△ 240	△ 0.38	7.11	△ 2.92	△ 2.52
四国	R2	28	4,635	13,400	12,639	8,839	4,284	2.89	69.93	48.47	92.43
	R3	28	4,635	14,937	14,463	10,316	4,089	3.22	71.33	39.64	88.22
	増減	0	0	1,537	1,824	1,477	△ 195	0.33	1.40	△ 8.83	△ 4.21
九州 (福岡を除く)	R2	71	12,505	39,656	38,895	23,620	12,684	3.17	60.73	53.70	101.43
	R3	71	12,505	34,209	33,622	22,731	11,560	2.74	67.61	50.86	92.44
	増減	0	0	△ 5,447	△ 5,273	△ 889	△ 1,124	△ 0.43	6.88	△ 2.84	△ 8.99
福岡	R2	76	20,114	155,243	151,403	55,984	21,314	7.72	36.98	38.07	105.97
	R3	76	20,144	135,903	132,131	58,098	20,240	6.75	43.97	34.84	100.48
	増減	0	30	△ 19,340	△ 19,272	2,114	△ 1,074	△ 0.97	6.99	△ 3.23	△ 5.49
全国計	R2	1,849	491,012	4,368,215	4,174,803	1,348,517	503,830	8.90	32.30	37.36	102.61
	R3	1,878	495,162	3,834,862	3,663,962	1,437,906	494,213	7.74	39.24	34.37	99.81
	増減	29	4,150	△ 533,353	△ 510,841	89,389	△ 9,617	△ 1.16	6.94	△ 2.99	△ 2.80

地域別の志願倍率（大学・学部別）



地域別の入学定員充足率（大学・学部別）



地域区分

北海道	北海道
東北	青森・岩手・秋田・山形・福島
宮城	宮城
関東	茨城・栃木・群馬
埼玉	埼玉
千葉	千葉
東京	東京
神奈川	神奈川
甲信越	新潟・山梨・長野
北陸	富山・石川・福井

東海	岐阜・静岡・三重
愛知	愛知
近畿	滋賀・奈良・和歌山
京都	京都
大阪	大阪
兵庫	兵庫
中国	鳥取・島根・岡山・山口
広島	広島
四国	徳島・香川・愛媛・高知
九州	佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
福岡	福岡

【資料5】 私立大学 主な学部別の志願者・入学者動向

5. 主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

学部名称の表記は、集計数3以上の学部とし、集計数2以下は「その他」とした。

系 統 区 分	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)			
	学 部 名	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減
<b>医学</b>		31	31	0	4,084	4,091	7	108,429	98,563	△ 9,866	4,092	4,099	7	100.20	100.20	0.00
<b>歯学</b>		17	17	0	2,039	2,015	△ 24	9,187	7,564	△ 1,623	1,692	1,528	△ 164	82.98	75.83	△ 7.15
<b>薬学</b>		59	60	1	11,451	11,501	50	82,668	73,580	△ 9,088	10,629	10,191	△ 438	92.82	88.61	△ 4.21
<b>保健系</b>		244	254	10	37,221	38,143	922	200,366	188,155	△ 12,211	37,721	38,130	409	101.34	99.97	△ 1.37
看護学部		100	101	1	9,150	9,203	53	54,346	50,733	△ 3,613	9,406	9,453	47	102.80	102.72	△ 0.08
保健医療学部		35	35	0	6,780	7,050	270	32,529	31,094	△ 1,435	7,121	7,149	28	105.03	101.40	△ 3.63
リハビリテーション学部		12	15	3	1,395	1,705	310	6,943	6,767	△ 176	1,374	1,711	337	98.49	100.35	1.86
医療保健学部		8	8	0	1,815	1,820	5	9,269	8,163	△ 1,106	1,889	1,887	△ 2	104.08	103.68	△ 0.40
保健科学部		5	5	0	1,130	1,070	△ 60	5,780	5,409	△ 371	1,246	1,196	△ 50	110.27	111.78	1.51
医学部		5	5	0	470	470	0	1,020	1,009	△ 11	481	433	△ 48	102.34	92.13	△ 10.21
栄養学部		4	5	1	897	977	80	3,734	3,395	△ 339	816	834	18	90.97	85.36	△ 5.61
医療技術学部		4	5	1	1,655	1,735	80	11,472	10,575	△ 897	1,552	1,586	34	93.78	91.41	△ 2.37
医療科学部		4	5	1	840	854	14	4,391	4,817	426	866	876	10	103.10	102.58	△ 0.52
看護福祉学部		3	3	0	600	600	0	2,644	2,426	△ 218	570	579	9	95.00	96.50	1.50
保健福祉学部		3	3	0	715	715	0	1,610	1,405	△ 205	648	616	△ 32	90.63	86.15	△ 4.48
医療福祉学部		3	3	0	846	716	△ 130	1,495	1,245	△ 250	730	629	△ 101	86.29	87.85	1.56
健康医療科学部		3	3	0	590	590	0	4,158	3,750	△ 408	574	581	7	97.29	98.47	1.18
看護栄養学部		3	3	0	455	455	0	1,582	1,575	△ 7	445	490	45	97.80	107.69	9.89
保健看護学部		3	3	0	330	330	0	2,652	2,232	△ 420	349	360	11	105.76	109.09	3.33
ヒューマンケア学部		3	3	0	657	657	0	5,277	4,826	△ 451	668	643	△ 25	101.67	97.87	△ 3.80
リハビリテーション学部 (専門職)		3	3	0	430	430	0	351	542	191	270	343	73	62.79	79.77	16.98
その他		43	46	3	8,466	8,766	300	51,113	48,192	△ 2,921	8,716	8,764	48	102.95	99.98	△ 2.97
<b>理・工学系</b>		157	162	5	62,107	62,626	519	842,140	751,179	△ 90,961	63,949	63,192	△ 757	102.97	100.90	△ 2.07
工学部		48	51	3	22,010	22,649	639	265,197	238,695	△ 26,502	23,507	23,120	△ 387	106.80	102.08	△ 4.72
理工学部		30	29	△ 1	18,581	18,040	△ 541	292,296	253,201	△ 39,095	18,496	18,055	△ 441	99.54	100.08	0.54
理学部		13	14	1	4,354	4,534	180	49,849	46,650	△ 3,199	4,255	4,361	106	97.73	96.18	△ 1.55
建築学部		8	9	1	1,655	1,787	132	28,648	28,424	△ 224	1,806	1,883	77	109.12	105.37	△ 3.75
生命科学部		8	8	0	1,911	1,867	△ 44	29,165	23,380	△ 5,785	1,857	1,890	33	97.17	101.23	4.06
情報科学部		4	4	0	1,046	1,090	44	27,781	29,130	1,349	1,136	1,237	101	108.60	113.49	4.89
デザイン工学部		4	4	0	1,070	1,089	19	15,974	15,550	△ 424	1,104	1,100	△ 4	103.18	101.01	△ 2.17
その他		42	43	1	11,480	11,570	90	133,230	116,149	△ 17,081	11,788	11,546	△ 242	102.68	99.79	△ 2.89
<b>農学系</b>		23	25	2	8,784	9,042	258	87,982	78,039	△ 9,943	8,973	8,717	△ 256	102.15	96.41	△ 5.74
農学部		10	10	0	3,671	3,661	△ 10	52,530	45,327	△ 7,203	3,562	3,472	△ 90	97.03	94.84	△ 2.19
獣医学部		4	4	0	970	970	0	11,910	10,635	△ 1,275	1,037	961	△ 76	106.91	99.07	△ 7.84
その他		9	11	2	4,143	4,411	268	23,542	22,077	△ 1,465	4,374	4,284	△ 90	105.58	97.12	△ 8.46
<b>人文科学系</b>		245	245	0	68,104	68,184	80	608,854	520,901	△ 87,953	70,067	67,710	△ 2,357	102.88	99.30	△ 3.58
文学部		83	83	0	32,703	32,768	65	318,865	271,768	△ 47,097	33,471	32,676	△ 795	102.35	99.72	△ 2.63
人文学部		32	31	△ 1	6,765	6,470	△ 295	45,370	41,377	△ 3,993	7,076	6,473	△ 603	104.60	100.05	△ 4.55
外国語学部		29	28	△ 1	9,833	9,706	△ 127	91,083	73,790	△ 17,293	10,098	9,646	△ 452	102.70	99.38	△ 3.32
心理学部		21	22	1	2,968	3,053	85	29,548	24,990	△ 4,558	3,098	3,146	48	104.38	103.05	△ 1.33
人間学部		11	11	0	2,260	2,270	10	9,273	6,946	△ 2,327	2,302	2,144	△ 158	101.86	94.45	△ 7.41
国際文化学部		10	11	1	1,735	1,990	255	13,868	11,892	△ 1,976	1,782	1,827	45	102.71	91.81	△ 10.90
神学部		6	6	0	181	181	0	1,030	728	△ 302	177	164	△ 13	97.79	90.61	△ 7.18
仏教学部		5	5	0	487	487	0	2,167	1,803	△ 364	480	458	△ 22	98.56	94.05	△ 4.51
人間関係学部		5	5	0	1,060	1,045	△ 15	3,792	3,103	△ 689	1,217	1,142	△ 75	114.81	109.28	△ 5.53
グローバル・コミュニ ケーション学部(群)		5	5	0	888	888	0	8,006	5,978	△ 2,028	873	788	△ 85	98.31	88.74	△ 9.57
文芸学部		3	3	0	1,240	1,240	0	19,713	19,560	△ 153	1,325	1,343	18	106.85	108.31	1.46
現代文化学部		3	3	0	445	445	0	1,262	1,111	△ 151	436	382	△ 54	97.98	85.84	△ 12.14
その他		32	32	0	7,539	7,641	102	64,877	57,855	△ 7,022	7,732	7,521	△ 211	102.56	98.43	△ 4.13
<b>社会科学系</b>		520	526	6	170,182	171,506	1,324	1,576,350	1,379,159	△ 197,191	176,402	174,183	△ 2,219	103.65	101.56	△ 2.09
経済学部		91	91	0	38,695	39,013	318	391,925	350,241	△ 41,684	39,733	39,567	△ 166	102.68	101.42	△ 1.26
経営学部		88	89	1	27,861	27,966	105	292,165	252,916	△ 39,249	29,329	28,882	△ 447	105.27	103.28	△ 1.99
法学部		79	79	0	30,803	30,870	67	276,032	243,558	△ 32,474	31,574	31,638	64	102.50	102.49	△ 0.01
商学部		29	29	0	14,296	14,341	45	132,978	117,896	△ 15,082	14,638	14,314	△ 324	102.39	99.81	△ 2.58
社会学部		24	26	2	8,313	8,580	267	96,310	89,572	△ 6,738	8,410	8,652	242	101.17	100.84	△ 0.33
社会福祉学部		21	21	0	3,684	3,649	△ 35	11,735	10,181	△ 1,554	3,811	3,548	△ 263	103.45	97.23	△ 6.22
人間社会学部		13	13	0	3,570	3,570	0	17,964	14,837	△ 3,127	3,764	3,522	△ 242	105.43	98.66	△ 6.77
現代社会学部		12	13	1	2,741	2,931	190	28,055	21,295	△ 6,760	2,805	2,983	178	102.33	101.77	△ 0.56
総合政策学部		13	12	△ 1	3,005	2,840	△ 165	25,450	21,761	△ 3,689	3,096	2,839	△ 257	103.03	99.96	△ 3.07
経営情報学部		10	10	0	2,102	2,122	20	8,373	7,510	△ 863	2,300	2,283	△ 17	109.42	107.59	△ 1.83

系統区分	集計学部数			入学定員(人)			志願者数(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)		
	学部名	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度	増減	R2年度	R3年度
情報学部	9	9	0	2,040	2,040	0	22,907	21,409	△ 1,498	2,155	2,234	79	105.64	109.51	△ 3.87
経済経営学部	8	9	1	1,655	1,985	330	7,940	7,815	△ 125	1,856	2,076	220	112.15	104.58	△ 7.57
観光学部	6	6	0	1,030	1,060	30	8,133	6,832	△ 1,301	1,065	993	△ 72	103.40	93.68	△ 9.72
現代ビジネス学部	6	5	△ 1	1,305	975	△ 330	7,918	2,160	△ 5,758	1,450	1,010	△ 440	111.11	103.59	△ 7.52
政治経済学部	5	5	0	2,810	2,810	0	32,746	26,488	△ 6,258	2,576	2,784	208	91.67	99.07	7.40
国際経営学部	4	4	0	1,260	1,260	0	7,928	6,801	△ 1,127	1,232	989	△ 243	97.78	78.49	△ 19.29
総合経営学部	4	4	0	920	920	0	3,573	2,591	△ 982	1,149	1,095	△ 54	124.89	119.02	△ 5.87
人間福祉学部	3	4	1	560	630	70	2,528	2,157	△ 371	627	585	△ 42	111.96	92.86	△ 19.10
環境情報学部	3	3	0	675	675	0	5,308	5,069	△ 239	770	679	△ 91	114.07	100.59	△ 13.48
国際観光学部	3	3	0	631	631	0	6,215	4,244	△ 1,971	633	595	△ 38	100.32	94.29	△ 6.03
経営経済学部	3	3	0	730	730	0	2,146	2,048	△ 98	880	758	△ 122	120.55	103.84	△ 16.71
その他	86	88	2	21,496	21,908	412	188,021	161,778	△ 26,243	22,549	22,157	△ 392	104.90	101.14	△ 3.76
<b>家政学</b>	<b>84</b>	<b>83</b>	<b>△ 1</b>	<b>16,373</b>	<b>16,133</b>	<b>△ 240</b>	<b>70,601</b>	<b>60,407</b>	<b>△ 10,194</b>	<b>15,992</b>	<b>15,183</b>	<b>△ 809</b>	<b>97.67</b>	<b>94.11</b>	<b>△ 3.56</b>
家政学部	16	15	△ 1	4,465	4,365	△ 100	22,007	18,864	△ 3,143	4,487	4,433	△ 54	100.49	101.56	1.07
健康栄養学部(群)	12	12	0	1,190	1,190	0	3,515	2,885	△ 630	987	982	△ 5	82.94	82.52	△ 0.42
生活科学部	10	9	△ 1	2,094	1,847	△ 247	10,568	7,695	△ 2,873	2,175	1,993	△ 182	103.87	107.90	4.03
人間健康学部	9	8	△ 1	1,475	1,275	△ 200	8,039	6,624	△ 1,415	1,624	1,258	△ 366	110.10	98.67	△ 11.43
人間生活学部	8	8	0	1,800	1,820	20	4,066	3,503	△ 563	1,686	1,508	△ 178	93.67	82.86	△ 10.81
栄養科学部	3	3	0	560	560	0	1,908	1,677	△ 231	588	586	△ 2	105.00	104.64	△ 0.36
現代生活学部	3	3	0	640	640	0	1,489	1,314	△ 175	545	512	△ 33	85.16	80.00	△ 5.16
その他	23	25	2	4,149	4,436	287	19,009	17,845	△ 1,164	3,900	3,911	11	94.00	88.17	△ 5.83
<b>教育学</b>	<b>103</b>	<b>104</b>	<b>1</b>	<b>17,855</b>	<b>17,832</b>	<b>△ 23</b>	<b>118,849</b>	<b>100,983</b>	<b>△ 17,866</b>	<b>17,871</b>	<b>16,834</b>	<b>△ 1,037</b>	<b>100.09</b>	<b>94.40</b>	<b>△ 5.69</b>
教育学部	51	52	1	9,884	9,936	52	87,242	76,423	△ 10,819	10,232	9,922	△ 310	103.52	99.86	△ 3.66
子ども(こども)教育学部	9	9	0	798	798	0	1,598	1,289	△ 309	663	632	△ 31	83.08	79.20	△ 3.88
子ども学部	7	7	0	875	875	0	2,369	1,977	△ 392	944	815	△ 129	107.89	93.14	△ 14.75
人間教育学部	4	4	0	505	600	95	2,675	2,177	△ 498	455	449	△ 6	90.10	74.83	△ 15.27
人間発達学部	4	4	0	460	420	△ 40	840	685	△ 155	362	345	△ 17	78.70	82.14	3.44
発達教育学部	4	4	0	985	925	△ 60	5,991	4,290	△ 1,701	976	780	△ 196	99.09	84.32	△ 14.77
こども学部	3	3	0	265	265	0	378	341	△ 37	248	223	△ 25	93.58	84.15	△ 9.43
その他	21	21	0	4,083	4,013	△ 70	17,756	13,801	△ 3,955	3,991	3,668	△ 323	97.75	91.40	△ 6.35
<b>体育学</b>	<b>11</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>5,040</b>	<b>5,040</b>	<b>0</b>	<b>15,462</b>	<b>12,680</b>	<b>△ 2,782</b>	<b>5,295</b>	<b>5,106</b>	<b>△ 189</b>	<b>105.06</b>	<b>101.31</b>	<b>△ 3.75</b>
<b>芸術系</b>	<b>58</b>	<b>56</b>	<b>△ 2</b>	<b>14,332</b>	<b>14,069</b>	<b>△ 263</b>	<b>57,849</b>	<b>53,220</b>	<b>△ 4,629</b>	<b>15,257</b>	<b>14,744</b>	<b>△ 513</b>	<b>106.45</b>	<b>104.80</b>	<b>△ 1.65</b>
音楽学部	20	19	△ 1	3,171	2,991	△ 180	4,399	4,029	△ 370	2,954	2,819	△ 135	93.16	94.25	1.09
芸術学部	18	18	0	6,522	6,557	35	26,933	24,598	△ 2,335	7,297	7,221	△ 76	111.88	110.13	△ 1.75
造形学部	6	6	0	1,948	1,948	0	12,678	11,010	△ 1,668	2,143	2,071	△ 72	110.01	106.31	△ 3.70
美術学部	5	5	0	1,430	1,430	0	8,265	7,908	△ 357	1,577	1,479	△ 98	110.28	103.43	△ 6.85
デザイン学部	4	4	0	696	696	0	3,652	4,120	468	726	727	1	104.31	104.45	0.14
その他	5	4	△ 1	565	447	△ 118	1,922	1,555	△ 367	560	427	△ 133	99.12	95.53	△ 3.59
<b>その他</b>	<b>297</b>	<b>304</b>	<b>7</b>	<b>73,440</b>	<b>74,980</b>	<b>1,540</b>	<b>589,478</b>	<b>510,432</b>	<b>△ 79,046</b>	<b>75,890</b>	<b>74,596</b>	<b>△ 1,294</b>	<b>103.34</b>	<b>99.49</b>	<b>△ 3.85</b>
人間科学部	31	30	△ 1	7,495	7,378	△ 117	55,475	44,391	△ 11,084	7,759	7,503	△ 256	103.52	101.69	△ 1.83
国際学部	21	23	2	5,126	5,259	133	45,697	39,219	△ 6,478	5,103	4,945	△ 158	99.55	94.03	△ 5.52
健康科学部	20	20	0	4,321	4,391	70	29,808	24,616	△ 5,192	4,407	4,306	△ 101	101.99	98.06	△ 3.93
国際教養学部	13	13	0	2,464	2,464	0	19,500	15,495	△ 4,005	2,642	2,273	△ 369	107.22	92.25	△ 14.97
スポーツ科学部	7	9	2	2,065	2,555	490	12,282	11,735	△ 547	2,150	2,644	494	104.12	103.48	△ 0.64
国際コミュニケーション学部	7	7	0	1,081	1,231	150	11,071	8,109	△ 2,962	1,173	1,191	18	108.51	96.75	△ 11.76
学芸学部	7	7	0	2,235	2,235	0	10,643	8,530	△ 2,113	2,487	2,233	△ 254	111.28	99.91	△ 11.37
国際関係学部	7	7	0	2,151	2,216	65	15,415	12,675	△ 2,740	2,113	2,142	29	98.23	96.66	△ 1.57
スポーツ健康科学部	7	7	0	1,576	1,766	190	11,436	9,015	△ 2,421	1,611	1,760	149	102.22	99.66	△ 2.56
総合情報学部	6	6	0	1,685	1,685	0	15,667	13,207	△ 2,460	1,779	1,786	7	105.58	105.99	0.41
健康福祉学部	6	6	0	880	880	0	2,503	2,352	△ 151	815	796	△ 19	92.61	90.45	△ 2.16
人間文化学部	5	5	0	725	725	0	2,497	2,605	108	696	649	△ 47	96.00	89.52	△ 6.48
スポーツ健康学部	4	4	0	585	610	25	5,420	4,282	△ 1,138	634	594	△ 40	108.38	97.38	△ 11.00
先進工学部	3	4	1	1,005	1,365	360	24,315	30,158	5,843	1,100	1,405	305	109.45	102.93	△ 6.52
教養学部	3	3	0	1,390	1,390	0	6,727	6,089	△ 638	1,435	1,401	△ 34	103.24	100.79	△ 2.45
人間環境学部	3	3	0	648	658	10	9,143	7,835	△ 1,308	688	683	△ 5	106.17	103.80	△ 2.37
メディア学部	3	3	0	790	790	0	5,295	4,994	△ 301	865	843	△ 22	109.49	106.71	△ 2.78
情報メディア学部	3	3	0	370	370	0	1,188	1,012	△ 176	391	414	23	105.68	111.89	6.21
現代人間学部	3	3	0	595	595	0	3,369	2,007	△ 1,362	661	524	△ 137	111.09	88.07	△ 23.02
現代教養学部	3	3	0	1,480	1,480	0	11,522	9,477	△ 2,045	1,562	1,538	△ 24	105.54	103.92	△ 1.62
危機管理学部	3	3	0	690	660	△ 30	3,871	2,959	△ 912	643	685	42	93.19	103.79	10.60
情報理工学部	3	3	0	835	835	0	14,833	12,739	△ 2,094	808	852	44	96.77	102.04	5.27
その他	129	132	3	33,248	33,442	194	271,801	236,931	△ 34,870	34,368	33,429	△ 939	103.37	99.96	△ 3.41
<b>合計</b>	<b>1,849</b>	<b>1,878</b>	<b>29</b>	<b>491,012</b>	<b>495,162</b>	<b>4,150</b>	<b>4,368,215</b>	<b>3,834,862</b>	<b>△ 533,353</b>	<b>503,830</b>	<b>494,213</b>	<b>△ 9,617</b>	<b>102.61</b>	<b>99.81</b>	<b>△ 2.80</b>

令和3(2021)年度 私立大学・短期大学等入学志願動向  
(日本私立学校振興・共済事業団) 抜粋

---

省略

---

1 (書類等の題名)

【資料6】令和3(2021)年度 関西主要大学 政治・政策システム学部学科 入試結果

2 (出典)

各大学HP等

3 (引用範囲)

大学・学部・学科等名称、入学定員、志願者数、入学者数、倍率

4 (その他の説明)

上記のデータを加工し、図表としてまとめた。



---

省略

---

1 (書類等の題名)

【資料7】令和3(2021)年度 全国主要私立大学 情報学系統学部学科 入試結果

2 (出典)

各大学HP等

3 (引用範囲)

大学・学部・学科等名称、入学定員、志願者数、入学者数、倍率

4 (その他の説明)

上記のデータを加工し、図表としてまとめた。

【資料 8】 大和大学「情報学部（仮称）」設置に係る学生確保の  
見通し調査報告書

大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」  
新設構想に係る学生確保の見通し調査  
(新設構想についての高校生アンケート調査)  
報告書

2022 年 2 月

株式会社 高等教育総合研究所

大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」新設構想に係る学生確保の見通し調査  
(新設構想についての高校生アンケート調査)  
報 告 書

目次

1. 新設構想についての高校生アンケート調査 概要
2. 新設構想についての高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果
3. 新設構想についての高校生アンケート調査 集計結果のポイント

学生確保の見通し調査結果 まとめ

添 付 資 料

## 1 新設構想についての高校生アンケート調査 概要

調査目的	2023（令和5）年4月新設予定の大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」（入学定員200名を予定）の学生確保の見通しを測定するために高校生を対象としたアンケート調査を実施した。
調査時期	2021年11月～2022年1月
調査対象者	2021年度時点の高校2年生（2023年度に大学進学時期を迎える者）
調査内容	選択枝式の7問。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回答者の基本情報（居住地、性別、希望進路、関心のある学問分野）</li> <li>■ 大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」への受験・入学意志等。</li> </ul>
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者にアンケート用紙を配布の上、10分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
有効回答件数	9,122件 ※実施66校の内訳は下表の通り

## ◆実施校の内訳

府県	公立	私立	合計
滋賀県	2	1	3
京都府	0	8	8
大阪府	17	19	36
兵庫県	9	3	12
奈良県	1	4	5
和歌山県	1	1	2
合計	30	36	66

## 2 新設構想についての高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」 新設構想についての高校生アンケート調査	9,122 件

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	男性	4,803	52.7%
2	女性	4,211	46.2%
	無回答	108	1.2%
合計		9,122	100.0%

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	大阪府	5,041	55.3%
2	京都府	763	8.4%
3	兵庫県	1,919	21.0%
4	奈良県	542	5.9%
5	滋賀県	503	5.5%
6	和歌山県	277	3.0%
7	富山県	1	0.0%
8	福井県	2	0.0%
9	山梨県	2	0.0%
10	岐阜県	2	0.0%
11	静岡県	0	0.0%
12	三重県	11	0.1%
13	鳥取県	3	0.0%
14	島根県	1	0.0%
15	岡山県	0	0.0%
16	広島県	1	0.0%
17	山口県	1	0.0%
18	香川県	1	0.0%
19	その他	22	0.2%
	無回答	30	0.3%
合計		9,122	100.0%

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	進学	7,968	87.3%
2	就職	495	5.4%
3	現時点では未定	554	6.1%
	無回答	105	1.2%
合計		9,122	100.0%

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	回答率
1	社会科学(経営学、経済学、法学・政治学、社会学など)	2,426	26.6%
2	人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)	1,848	20.3%
3	工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)	1,790	19.6%
4	理学(数学、物理学、化学、生物学など)	907	9.9%
5	農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)	522	5.7%
6	医学・歯学・薬学	836	9.2%
7	保健衛生学(看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など)	1,334	14.6%
8	家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)	537	5.9%
9	教育学・保育学	1,203	13.2%
10	芸術学(音楽、デザイン、美術など)	1,202	13.2%
11	その他	1,036	11.4%

問5 あなたは大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	受験したい	524	5.7%
2	受験しない	8,398	92.1%
	無回答	200	2.2%
合計		9,122	100.0%

問6は、問5で「受験したい」と回答した 524 人が回答対象である。

問6 あなたは大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	合格した場合、入学したい	232	44.3%
2	合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい	286	54.6%
	無回答	6	1.1%
合計		524	100.0%

問7は、問5で「受験しない」と回答した 8,398 人が回答対象である。

問7 あなたが大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

※複数回答のため、回答数は延べ

※回答率は、各項目を挙げた者の割合

選択項目		回答数	構成比
1	大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから	586	7.0%
2	興味・関心のある学科ではないから	4,024	47.9%
3	国公立大学への進学を希望しているから	1,276	15.2%
4	他の私立大学への進学を希望しているから	2,021	24.1%
5	短期大学・専門学校への進学を希望しているから	704	8.4%
6	就職を希望しているから	421	5.0%
7	進路は未定だから	1,152	13.7%
8	通学に時間がかかりそうだから	438	5.2%
9	学費が高いから	436	5.2%
10	その他	160	1.9%

### 3 新設構想についての高校生アンケート調査 集計結果のポイント

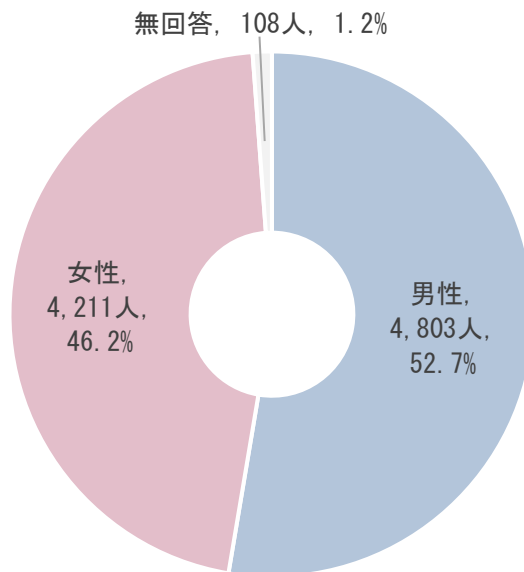
※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

#### ① 回答者の基本情報

回答者は「男性」が 4,803 人 (52.7%)、「女性」が 4,211 人 (46.2%) であった。<グラフ 1>居住地で最も多かったのは、当該学部が設置予定である「大阪府」で、回答者の 55.3%にあたる 5,041 人であった。次いで、「兵庫県」が 1,919 人 (21.0%)、「京都府」が 763 人 (8.4%)、「奈良県」が 542 人 (5.9%) の順であった。<グラフ 2>

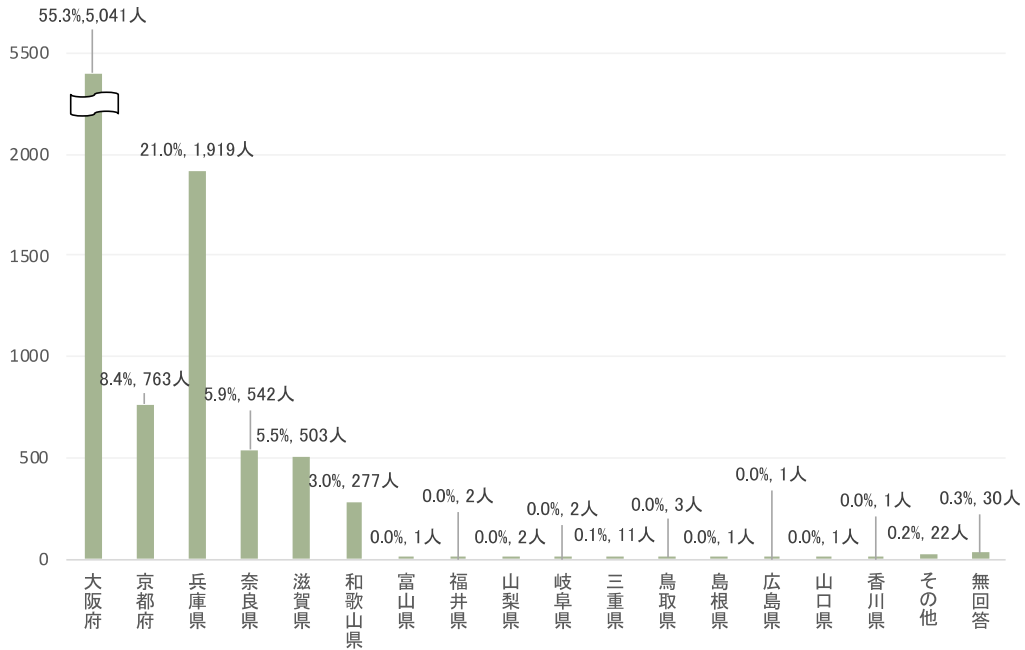
回答者に高校卒業後の進路について質問したところ、回答者の 87.3%にあたる 7,968 人が「進学」と回答した。次いで、「現時点では未定」が 554 人 (6.1%)、「就職」が 495 人 (5.4%) の順であった。<グラフ 3>

グラフ1【問1】

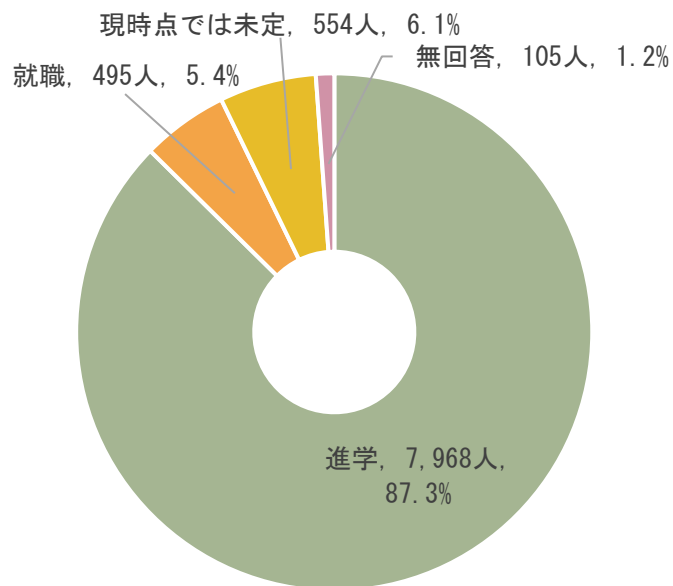




グラフ2【問2】



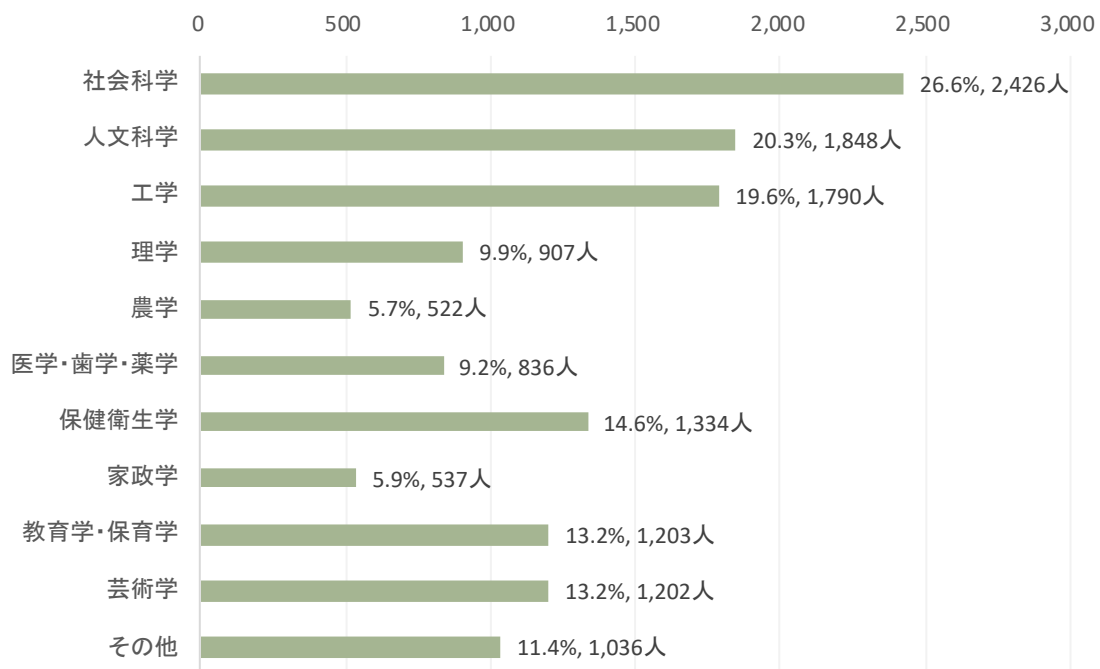
グラフ3【問3】



## ② 「社会科学」「人文科学」に2割以上の回答者が関心を示す

関心のある学問分野について質問したところ、「社会科学（経営学、経済学、法学・政治学、社会学など）」が2,426人（26.6%）で回答が最も多く、次いで「人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）」が1,848人（20.3%）、「工学（機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など）」が1,790人（19.6%）の順であった。（複数回答の結果）＜グラフ4＞

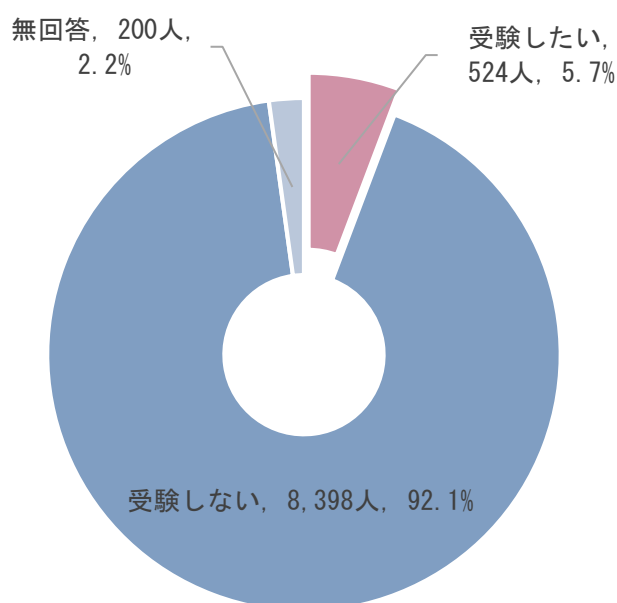
グラフ4【問4】



### ③ 入学定員(200名予定)の約2.6倍の受験意志

当該学部の受験意向について質問したところ、「受験したい」と回答したのが524人(5.7%)であった。当該学部は、入学定員を200名と予定しており、当該学部への受験意志が入学定員の約2.6倍という結果となった。〈グラフ5〉

グラフ5【問5】

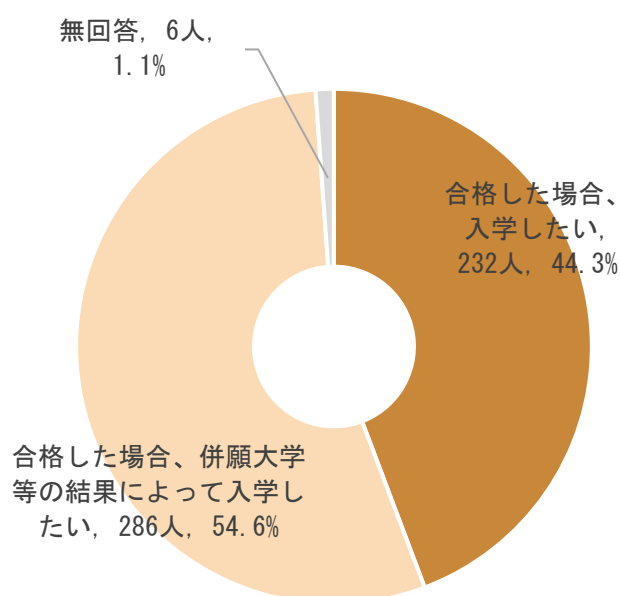


#### ④ 入学定員(200名予定)を上回る232人が強い入学意志

当該学部へ受験意志を示した524人に対し、さらに入学意志について質問した。その結果、当該学部を受験し合格した場合「入学したい」と232人(44.3%)が回答した。「併願大学等の結果によって入学したい」は286人(54.6%)であった。

強い入学意志を持つと考えられる「入学したい」の回答のみでも、予定する入学定員(200名予定)を上回る結果となった。

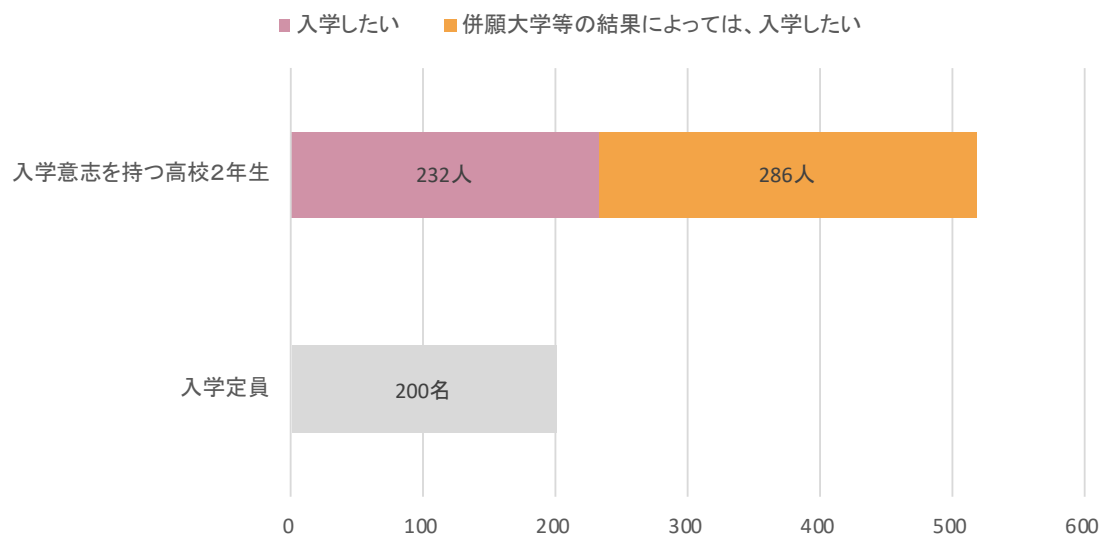
グラフ6【問6】



## 学生確保の見通し調査結果 まとめ

2023（令和5）年4月開設に向け、構想中の大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」の学生確保の見通しを測るため、大和大学が学生確保の基盤とする近畿地方の高校にアンケート調査を依頼し、2021（令和3）年度の高校2年生の計9,122件の回答を得た。

「情報学部 情報学科（仮称）」の受験意向について質問したところ、「受験したい」と回答したのは、524人（5.7%）であった。さらに、その524人に対し、当該学部の入学意志について質問し、合格した場合、「入学したい」と回答したのは232人（44.3%、「併願大学等の結果によって入学したい」は286人（54.6%）であった。強い入学意志を持つと考えられる「入学したい」の回答のみでも、予定する入学定員（200名予定）を上回る結果となった。



また、本調査は設置予定地である大阪府を中心に依頼をしているが、回答者の居住地の多くを占める大阪府や兵庫県の高校の調査実施率は、大阪府が21.1%（依頼170校中36校実施）、兵庫県が11.7%（依頼103校中12校実施）である。

上記回答結果および前述の実施状況を踏まえると、調査を実施していない高校にも入学意志を持つ者は潜在する可能性があることを勘案すると、今後の積極的な募集活動を前提として、2023（令和5）年4月に設置構想中である大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」の学生確保の見通しについて問題がないと考えられる。

## 添 付 資 料

- 1 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」概要
- 2 新設構想についての高校生アンケート調査用紙

## 1 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」概要

以下は大和大学が2023年4月に新設構想中の「情報学部(仮称)の概要」です。

情報・データを使いこなす人材が、次の時代を制する



# 大和大学 情報学部(仮称)

新設構想中

大和大学キャンパス

学部学科名称	情報学部 情報学科(仮称)
学 位	学士(情報学)
開 設 時 期	2023年(令和5年)4月(予定)
開 設 場 所	大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
修 業 年 限	4年
入 学 定 員	200名(収容定員800名)
養成する人材	情報科学に関する知識・能力とともに、経済学、経営学等の社会科学に関する知識を修得することにより、社会の幅広い分野で活躍する人材、未来を切り拓く人材を養成する。



### 特色1 デジタル社会が求める「情報・データを使いこなす」人材を育成

政府が推進する社会のデジタル化。コロナ禍をきっかけに、とどまることなく進化を続ける情報技術。社会は、あふれかえる情報・データを分析、活用して、新たな価値を生み出すことができる「情報・データを使いこなす人材」を求めています。

大和大学は既設の理工学部理工学科情報科学専攻で、情報・データを「つくる人材」「技術者・研究者」を養成しています。そして、新たに開設する「情報学部(仮称)」では「情報・データを分析、活用して、新たな価値を創造する人材」「情報・データを使いこなす人材」を育成します。

### 特色2 情報・データを駆使し、未来を創造する力を育てる「文理融合型カリキュラム」

社会で起きている問題に、文系・理系の区別などありません。複雑化が進む現代社会は、文・理の枠組みを超えた知識、発想をもつ人材を求めています。大和大学「情報学部(仮称)」では、こうした社会の要請に応えるべく、情報科学分野の「情報・データサイエンス分野科目」、社会科学分野の「経済・経営学分野科目」を柱とする「文理融合型カリキュラム」を編成し、情報・データを駆使して、未来を創造する人材を育てます。

### 特色3 情報・データ業界の第一線で活躍する講師による「実学講座」

大和大学の特色の一つと言われるのが、各界のトップランナーをゲストとして招く「社会の現場にふれる実学講座」。「情報学部(仮称)」でも、情報・データ業界の名だたる企業や、業界の注目を集める新進企業の経営者など、業界の第一線で活躍しておられる講師陣を招き、情報・データを学ぶ意欲を高め、最新動向や将来の展望にもふれることができる講座を展開します。

### 特色4 情報・データの学びの拠点「情報学部(仮称)棟」を新設

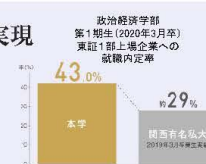
大和大学「情報学部(仮称)」の専用棟として、情報・データの学びの拠点「情報学部(仮称)棟」を新たに建設します。全棟無線LANを完備、オーブンラボ、プライベートラボの2つの空間からなる次世代型教員研究室・教員スペースや、学生、教員の活発な交流を生み出すコミュニケーションエリアをエントランスに配するなど、機能性を徹底追求した校舎で、他学部との連携、学びのリンクを視野に、既設校舎と接続する形で建設されます。

### 特色5 情報系のさまざまな資格取得を支援

大和大学「情報学部(仮称)」はさまざまな資格を取得することができ、将来の活躍の場を広げることができます。経済産業大臣が実施する、情報処理に関する必要な知識及び技能を問う国家試験「情報処理技術者試験」や「ITパスポート」のほか、統計に関する知識、図形の処理結果をビジネスに活用する能力を評価する検定試験など、情報・データに関する資格取得を支援します。

### 特色6 大和大学の強力なキャリアサポートを「情報学部(仮称)」でも実現

大和大学では担任とキャリアセンターの両輪で、学生一人ひとりを大切に、親身な指導を行うキャリアサポートを行っています。その成果として、本学政治経済学部では関西有名私大を凌駕する圧倒的な就職実績を誇ります。卒業後は幅広い業種での活躍が期待できる「情報学部(仮称)」でも同様のサポートを徹底し、希望進路の実現へと導きます。また、学部卒業後、さらなる学びを希望する学生には、国公立大学大学院への進学を支援します。



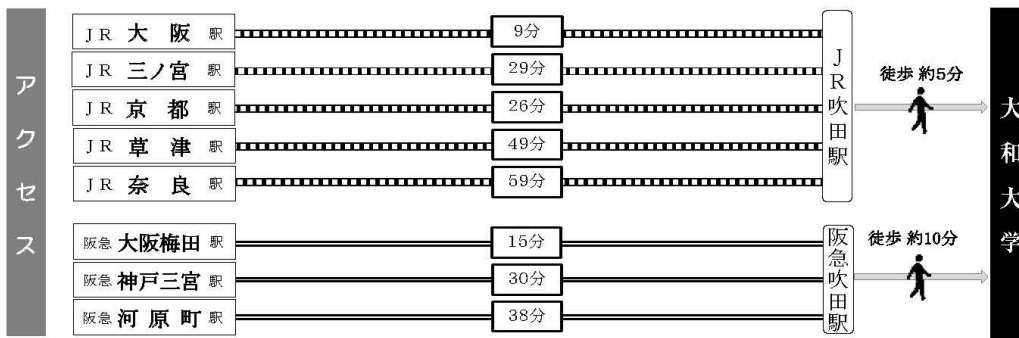
上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下は大和大学が2023年4月に新設構想中の「情報学部(仮称)の概要」(裏面)です。

単位:円

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等	初年度 学費
大和大学 情報学部(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,150,000	1,350,000
関西大学 総合情報学部 大阪府吹田市山手町3-3-35	260,000	1,302,000	1,562,000
近畿大学 情報学部(2022年度開設予定) 大阪府東大阪市小若江3-4-1	250,000	1,442,000	1,692,000
大阪工業大学 情報科学部 大阪府枚方市北山1-79-1	250,000	1,390,000	1,640,000

※大和大学 情報学部(仮称)の学費は2023年度予定です。  
 ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報で、2021年度実績です。  
 ※その他、各大学ともその他の費用、諸会費が別途必要な場合があります。



大和大学2023年度キャンパス計画図



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。



## 2 新設構想についての高校生アンケート調査用紙



大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」  
 新設構想についての高校生アンケート調査  
 (対象：2021年度現在、高校2年生の皆さん)

大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)は2023年度、「情報学部 情報学科(仮称)」(入学定員200名)の新設を構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、2023年度に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆さんから得られた情報は大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」の新設構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。  
 アンケート調査へのご協力を、よろしくお願いたします。

※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

◎以下の質問について、選択肢から一つ選び、右の記入例を参考に  
 黒の鉛筆又は黒のシャープペンシルでマークをしてください。  
 ◎誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。



問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにマーク)

男性  女性

問2 あなたがお住まいの県・府をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

大阪府  京都府  兵庫県  奈良県  滋賀県  和歌山県  
 富山県  福井県  山梨県  岐阜県  静岡県  三重県  
 鳥取県  島根県  岡山県  広島県  山口県  香川県  
 その他

問3 あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(現時点で最もあてはまるもの1つにマーク)

進学  就職  現時点では未定

問4 あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

社会科学(経営学、経済学、法学・政治学、社会学など)  人文科学(文学、史学、哲学、心理学、外国語学など)  
 工学(機械工学、電気電子工学、応用化学、建築学など)  理学(数学、物理学、化学、生物学など)  
 農学(農学、農業経済学、林学、水産学、獣医学など)  医学・歯学・薬学  
 保健衛生学(看護学、リハビリ医学、歯科衛生学など)  家政学(生活科学、食物学、住居学、被服学など)  
 教育学・保育学  芸術学(音楽、デザイン、美術など)  
 その他





問5以降は別紙・大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」概要をご覧ください、お答えください。

問5 あなたは大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」を受験したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 受験したい                      ⇒ 以下の問6にお答えください。  
 受験しない                      ⇒ 以下の問7にお答えください。

問5で「受験したい」と回答した方は、以下の問6にお答えください。

問6 あなたは大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」に合格した場合、入学したいと思いますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 合格した場合、入学したい  
 合格した場合、併願大学等の結果によって入学したい

問5で「受験しない」と回答した方は、以下の問7にお答えください。

問7 あなたが大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」を「受験しない」とした理由をお答えください。(あてはまるものすべてにマーク)

- 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」に興味・関心はあるが、詳細を知った上で検討したいから  
 興味・関心のある学科ではないから                       国公立大学への進学を希望しているから  
 他の私立大学への進学を希望しているから                       短期大学・専門学校への進学を希望しているから  
 就職を希望しているから                       進路は未定だから  
 通学に時間がかかりそうだから                       学費が高いから  
 その他

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



【資料9】 近畿圏 理学療法士比率・養成校数

		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	全国
人口比率	人口	1,418,886	2,530,609	8,839,532	5,523,627	1,344,952	944,750	126,654,244
	理学療法士会員数	1,245	3,015	9,276	6,222	1,551	1,461	129,875
	人口に対する 理学療法士会員数の比率	0.09%	0.12%	0.10%	0.11%	0.12%	0.15%	0.10%
養成校数	3年制養成校	0	0	8	6	3	0	92
	4年制養成校	1	4	16	8	2	3	187
	計	1	4	24	14	5	3	279

- ・総務省住民基本台帳 都道府県別年齢階級別人口（令和3（2021）年1月1日現在）より
- ・公益社団法人日本理学療法士協会 都道府県別会員数（令和3（2021）年3月末現在）より
- ・公益社団法人日本理学療法士協会 養成校数（令和3（2021）年3月15日現在）より

【資料10】 近畿圏 作業療法士比率・養成校数

		滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	全国
人口比率	人口	1,418,886	2,530,609	8,839,532	5,523,627	1,344,952	944,750	126,654,244
	作業療法士会員数	570	1,202	3,178	2,753	683	509	62,294
	人口に対する 作業療法士会員数の比率	0.04%	0.05%	0.04%	0.05%	0.05%	0.05%	0.05%
養成校数	3年制養成校	0	0	4	5	2	0	72
	4年制養成校	1	4	14	5	1	2	145
	計	1	4	18	10	3	2	217

- ・総務省住民基本台帳 都道府県別年齢階級別人口（令和3（2021）年1月1日現在）より
- ・公益社団法人日本作業療法士協会 都道府県別会員数（令和2（2020）年3月末現在）より
- ・公益社団法人日本作業療法士協会 養成校数（令和3（2021）年3月末現在）より

【資料11】全国大学編入学者数推移

(風間・人)

		平成29 (2017)年度		平成30 (2018) 年度		令和元 (2019) 年度		令和2 (2020) 年度		令和3 (2021) 年度	
		出身校		出身校		出身校		出身校		出身校	
		短期大学	専修学校	短期大学	専修学校	短期大学	専修学校	短期大学	専修学校	短期大学	専修学校
大学全体		<b>3,984</b>	<b>1,381</b>	<b>3,832</b>	<b>1,451</b>	<b>3,519</b>	<b>2,310</b>	<b>3,684</b>	<b>1,552</b>	<b>3,966</b>	<b>1,837</b>
リハビリ系統学部	医学部	11	117	8	108	4	88	1	73	5	55
	医薬保健学域		16	2	16	1	12		13		11
	医療福祉学部	11	3	2	6	6	1	3	7	1	7
	医療科学部					1		3		2	
	医療学部	1								2	
	医療技術学部					3		2		2	
	医療保健学部	3	3	4	1	2	1	3		4	
	医療保健学域										11
	看護福祉学部	1	2		1		2		2		
	健康科学部	59	18	48	9	44	10	36	5	43	3
	健康メディカル学部	4		2		1	2	2		4	1
	健康福祉学部	19	3	7	3	8	1	5	1	14	2
	ヒューマンケア学部	5		3	2			9			
	保健医療学部		2		5	4	5	3	2	5	2
	保健医療福祉学部	5	22	5	16	2	21	6	21	6	21
	保健衛生学部	2		1							
	保健科学部	2	2		2	1					
	保健福祉学部	5	2	6	2	7		9		9	
	リハビリテーション学部	1		1	1			1		1	
リハビリテーション科学部					2		1				
	計	<b>129</b>	<b>190</b>	<b>89</b>	<b>172</b>	<b>86</b>	<b>143</b>	<b>84</b>	<b>124</b>	<b>98</b>	<b>113</b>

※ 学校基本調査 学部別編入学者数より

【資料12】 大和大学 オープンキャンパス参加数・志願者数・入学者数推移（直近5か年）

■オープンキャンパス参加者数

(人)

	平成29（2017）年度	平成30（2018）年度	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度
教育学部	893	900	1,208	新型コロナの影響によりweb実施としたため統計情報なし	1,205
保健医療学部	1,367	1,112	1,581		1,398
政治経済学部	308	402	453		470
理工学部	—	396	602		610
社会学部	—	—	—		1,096

■志願者数

(人)

	平成29（2017）年度	平成30（2018）年度	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度
教育学部	2,144	3,494	3,569	3,374	3,088
保健医療学部	3,197	2,852	2,876	3,516	2,646
政治経済学部	1,526	2,057	2,106	2,130	3,738
理工学部	—	—	—	4,591	3,226
社会学部	—	—	—	—	3,013

■入学者数

(人)

	平成29（2017）年度	平成30（2018）年度	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度
教育学部	209	198	223	220	193
保健医療学部	238	233	248	259	231
政治経済学部	137	135	131	131	132
理工学部	—	—	—	260	234
社会学部	—	—	—	—	217

【資料13】 保健医療学部 総合リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻) 卒業生就職実績

第2期生（令和元（2019）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
理学療法学専攻	男	41	39	95.1%	0	0.0%
	女	21	21	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>62</b>	<b>60</b>	<b>96.8%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
作業療法学専攻	男	3	2	66.7%	0	0.0%
	女	18	18	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>21</b>	<b>20</b>	<b>95.2%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
学部計	男	44	41	93.2%	0	0.0%
	女	39	39	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>83</b>	<b>80</b>	<b>96.4%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>

第3期生（令和2（2020）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
理学療法学専攻	男	24	22	91.7%	2	8.3%
	女	30	30	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>54</b>	<b>52</b>	<b>96.3%</b>	<b>2</b>	<b>3.7%</b>
作業療法学専攻	男	5	5	100.0%	0	0.0%
	女	25	25	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>100.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
学部計	男	29	27	93.1%	2	6.9%
	女	55	55	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>84</b>	<b>82</b>	<b>97.6%</b>	<b>2</b>	<b>2.4%</b>

第4期生（令和3（2021）年3月卒業）

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
理学療法学専攻	男	27	27	100.0%	0	0.0%
	女	19	19	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>46</b>	<b>46</b>	<b>100.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
作業療法学専攻	男	10	8	80.0%	1	10.0%
	女	25	24	96.0%	0	0.0%
	合計	<b>35</b>	<b>32</b>	<b>91.4%</b>	<b>1</b>	<b>2.9%</b>
学部計	男	37	35	94.6%	1	2.7%
	女	44	43	97.7%	0	0.0%
	合計	<b>81</b>	<b>78</b>	<b>96.3%</b>	<b>1</b>	<b>1.2%</b>

【資料14】 政治経済学部 卒業生就職実績(第1期生・第2期生)

第1期生(令和2(2020)年3月卒業)

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
政治行政学科 (現政治・政策学科)	男	26	25	96.2%	1	3.8%
	女	8	8	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>34</b>	<b>33</b>	<b>97.1%</b>	<b>1</b>	<b>2.9%</b>
経済経営学科	男	54	53	98.1%	0	0.0%
	女	22	22	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>76</b>	<b>75</b>	<b>98.7%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>
学部計	男	80	78	97.5%	1	1.3%
	女	30	30	100.0%	0	0.0%
	合計	<b>110</b>	<b>108</b>	<b>98.2%</b>	<b>1</b>	<b>0.9%</b>

第2期生(令和3(2021)年3月卒業)

		卒業生数	就職		進学	
			人数	対卒業生	人数	対卒業生
政治行政学科 (現政治・政策学科)	男	26	25	96.2%	0	0.0%
	女	8	7	87.5%	1	12.5%
	合計	<b>34</b>	<b>32</b>	<b>94.1%</b>	<b>1</b>	<b>2.9%</b>
経済経営学科	男	63	62	98.4%	0	0.0%
	女	20	18	90.0%	2	10.0%
	合計	<b>83</b>	<b>80</b>	<b>96.4%</b>	<b>2</b>	<b>2.4%</b>
学部計	男	89	87	97.8%	0	0.0%
	女	28	25	89.3%	3	10.7%
	合計	<b>117</b>	<b>112</b>	<b>95.7%</b>	<b>3</b>	<b>2.6%</b>



【資料15】 大和大学「情報学部（仮称）」設置に係る人材需要の  
見通し調査報告書

大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」  
新設構想に係る人材需要の見通し調査  
(新設構想についての人材需要アンケート調査)  
報告書

2022年2月

株式会社 高等教育総合研究所

大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」新設構想に係る人材需要の見通し調査  
(新設構想についての人材需要アンケート調査)  
報 告 書

目次

1. 新設構想についての人材需要アンケート調査の概要
2. 全質問項目の集計結果
3. 集計結果のポイント

人材需要の見通し調査結果 まとめ

添 付 資 料

## 1 新設構想についての人材需要アンケート調査 概要

調査目的	2023（令和5）年4月新設予定の大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」（入学定員200名を予定）の人材需要の見通しを測定するために企業等を対象としたアンケート調査を実施した。
調査時期	2022（令和4）年1月
調査対象	近畿二府四県を主に本社所在地とする上場企業および未上場大手、合計1,344社を依頼対象とした。
調査内容	選択肢式6問・記述1問。 ■ 回答企業・機関の基本情報（業種、所在地、従業員・職員数） ■ 大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」の社会的ニーズ、採用意向等
有効回答件数	163件（返送率12.0%）

## 2 新設構想についての人材需要アンケート調査 全質問項目の集計結果

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

調査名称	回収総件数
大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」 新設構想についての人材需要アンケート調査	163 件

問1 貴社、貴機関の主業種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
1 農業、林業、漁業、鉱業	0	0.0%
2 建設業	17	10.4%
3 製造業	61	37.4%
4 電気、ガス、熱供給、水道業	1	0.6%
5 通信業、放送業	2	1.2%
6 情報サービス業	6	3.7%
7 インターネット付随サービス業	0	0.0%
8 映像・音声・文字情報制作業	0	0.0%
9 運輸業	4	2.5%
10 卸売業、小売業	44	27.0%
11 金融業、保険業	4	2.5%
12 不動産業、物品賃貸業	1	0.6%
13 宿泊業、飲食サービス業	5	3.1%
14 教育、学習支援	1	0.6%
15 医療、福祉	4	2.5%
16 学術研究、専門・技術サービス業	1	0.6%
17 複合サービス業、その他サービス	8	4.9%
18 公務	0	0.0%
19 その他	4	2.5%
無回答	0	0.0%
合計	163	100.0%

問2 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	大阪府	101	62.0%
2	京都府	13	8.0%
3	兵庫県	34	20.9%
4	滋賀県	2	1.2%
5	奈良県	6	3.7%
6	和歌山県	4	2.5%
7	東京都	2	1.2%
8	神奈川県	0	0.0%
9	愛知県	0	0.0%
10	福岡県	0	0.0%
11	その他	1	0.6%
	無回答	0	0.0%
合計		163	100.0%

問3 貴社の従業員数、貴機関の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	～99 人	17	10.4%
2	100～299 人	44	27.0%
3	300～499 人	26	16.0%
4	500～999 人	31	19.0%
5	1,000～2,999 人	27	16.6%
6	3,000～9,999 人	11	6.7%
7	10,000 人～	7	4.3%
	無回答	0	0.0%
合計		163	100.0%

問4 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	58	35.6%
2	ニーズはある程度高い	93	57.1%
3	ニーズはあまり高くない	6	3.7%
4	ニーズは高くない	3	1.8%
	無回答	3	1.8%
合計		163	100.0%

問5 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	採用したい	105	64.4%
2	採用しない	4	2.5%
3	わからない	54	33.1%
	無回答	0	0.0%
合計		163	100.0%

問6は、問5で「採用したい」と回答した 105 件が回答対象である。

問6 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目		回答数	構成比
1	1名	55	33.7%
2	2名	27	16.6%
3	3名	8	4.9%
4	4名	1	0.6%
5	5名	5	3.1%
6	6名	1	0.6%
7	7名	0	0.0%
8	8名	0	0.0%
9	9名	0	0.0%
10	10名以上	6	3.7%
	無回答	2	1.2%
合計		105	64.4%

### 3 新設構想についての人材需要アンケート調査 集計結果のポイント

※構成比はいずれも少数第二位を四捨五入した。したがって合計は必ずしも 100.0%とは一致しない。

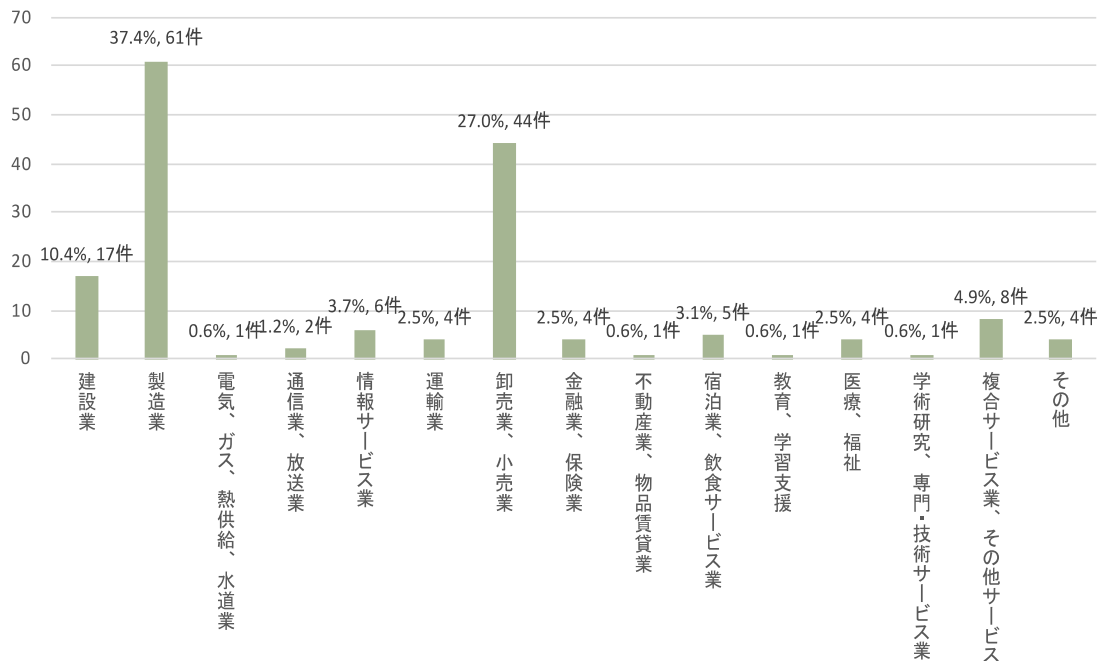
#### ① 回答企業・機関の基本情報

回答企業・機関は「製造業」が 61 件 (37.4%) で最も回答が多く、次いで「卸売業、小売業」が 44 件 (27.0%) であった。〈グラフ 1〉

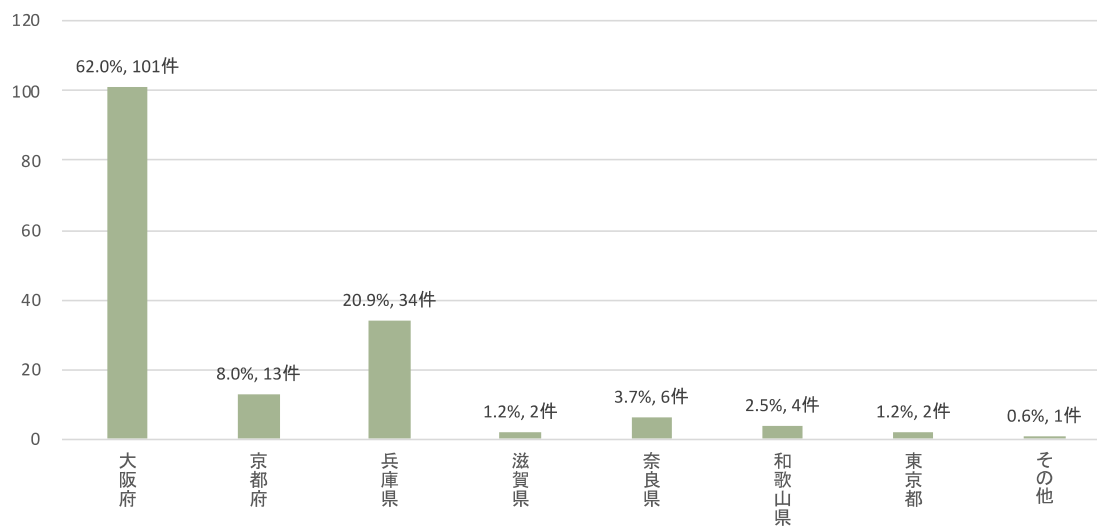
所在地で最も多かったのは、当該学部が設置予定である「大阪府」で 101 件 (62.0%) であった。次いで「兵庫県」が 34 件 (20.9%) であった。〈グラフ 2〉

従業員・職員数では、「100～299 人」が 44 件 (27.0%) で最も回答が多く、次いで「500～999 人」が 31 件 (19.0%) であった。〈グラフ 3〉

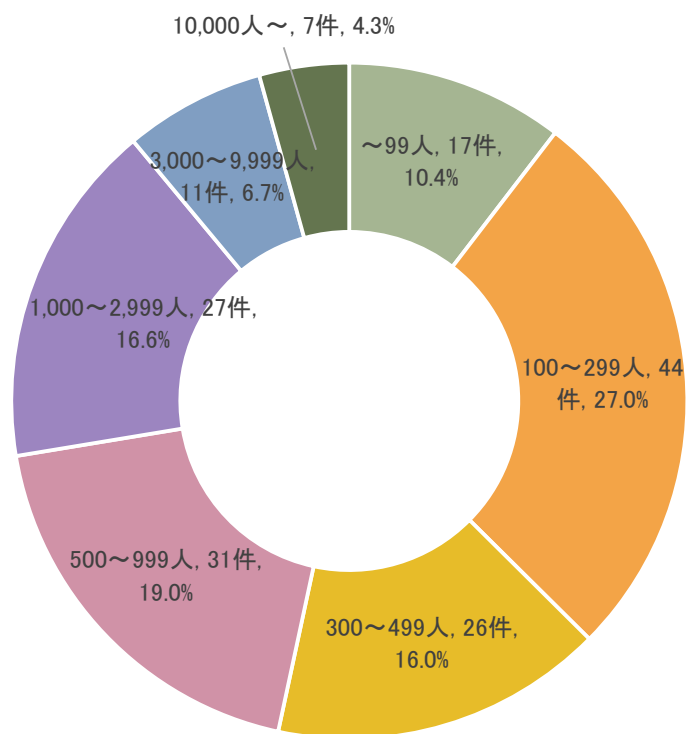
グラフ1【問1】



グラフ2【問2】



グラフ3【問3】

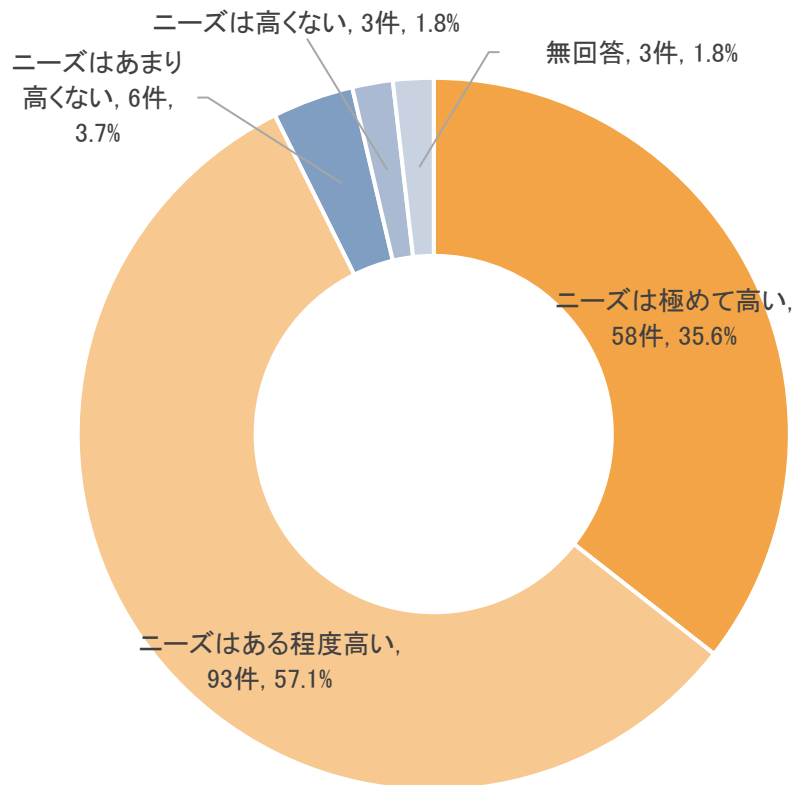




② 回答企業・機関の 92.7%にあたる 151 件が当該学部の社会的ニーズの高さを認める

当該学部の社会的ニーズについて質問したところ、「ニーズは極めて高い」が 58 件 (35.6%)、「ニーズはある程度高い」が 93 件 (57.1%) であった。合計すると、回答企業・機関の 92.7%にあたる 151 件が当該学部の社会的ニーズの高さを認める結果となった。<グラフ 4>

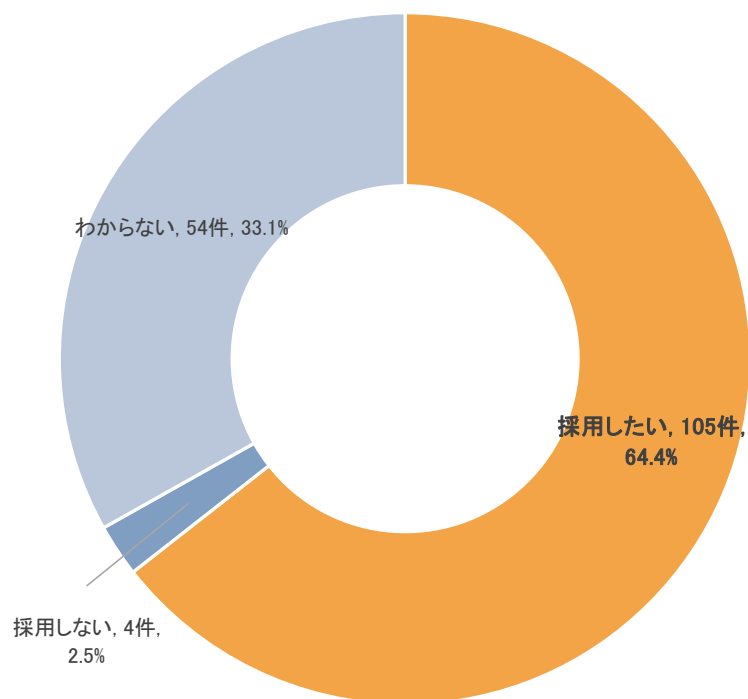
グラフ4【問4】



③ 回答企業・機関の6割以上が「情報学部(仮称)」の卒業生を採用したいと回答

当該学部の卒業生の採用意向について質問したところ、回答企業・機関の64.4%に当たる105件が「採用したい」と回答した。次いで「わからない」が54件(33.1%)であった。〈グラフ5〉

グラフ5【問5】



## ④ 入学定員(200名予定)を上回る採用可能人数

当該学部の卒業生を「採用したい」と回答した105件に対し、採用可能と思われる人数について質問したところ、下表の通りであった。〈表6〉

採用可能人数は、回答件数と選択肢の人数を乗じたもので、合計228人となり、当該学部の入学定員(200名予定)を上回る結果となった。

表6【問6】

選択項目	回答件数	採用可能人数
1名	55件	55人
2名	27件	54人
3名	8件	24人
4名	1件	4人
5名	5件	25人
6名	1件	6人
7名	0件	0人
8名	0件	0人
9名	0件	0人
10名以上	6件	60人
合計	103件	228人

## 人材需要の見通し調査結果 まとめ

2023（令和5）年4月開設に向け、構想中の大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」の人材需要の見通しを測るため、近畿二府四県に本社がある上場企業および非上場を中心に1,344件の企業・機関に、アンケート調査を依頼し、計163件の回答を得た。

「情報学部 情報学科（仮称）」の採用意向について質問したところ、「採用したい」と回答したのは、105件（64.4%）であった。さらに、その105件に対し、採用可能と思われる人数について質問したところ、合計228人となり、予定する入学定員（200名）を上回る結果となった。

上記の通り、本調査（回収率1.2%）のみの結果においても、採用可能人数が入学定員を上回っており、2023（令和5）年4月に設置構想中である大和大学「情報学部 情報学科（仮称）」の人材需要の見通しについて問題がないと考えられる。

## 添 付 資 料

- 1 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」概要
- 2 新設構想についての人材需要アンケート調査用紙

## 1 アンケート調査概要

以下は大和大学が2023年4月に新設構想中の「情報学部(仮称)の概要」です。

情報・データを使いこなす人材が、次の時代を制する

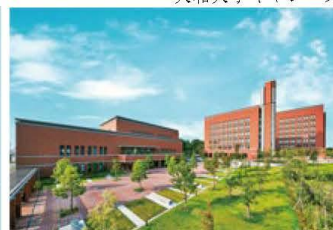


# 大和大学 情報学部(仮称)

新設構想中

大和大学キャンパス

学部学科名称	情報学部 情報学科(仮称)
学 位	学士(情報学)
開 設 時 期	2023年(令和5年)4月(予定)
開 設 場 所	大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)
修 業 年 限	4年
入 学 定 員	200名(収容定員800名)
養成する人材	情報科学に関する知識・能力とともに、経済学、経営学等の社会科学に関する知識を修得することにより、社会の幅広い分野で活躍する人材、未来を切り拓く人材を養成する。



### 特色1 デジタル社会が求める「情報・データを使いこなす」人材を育成

政府が推進する社会のデジタル化。コロナ禍をきっかけに、とどまることなく進化を続ける情報技術。社会は、あふれかえる情報・データを分析、活用して、新たな価値を生み出すことができる「情報・データを使いこなす人材」を求めています。

大和大学は既設の理工学部理工学科情報科学専攻で、情報・データを「つくる人材」「技術者・研究者」を養成しています。そして、新たに開設する「情報学部(仮称)」では「情報・データを分析、活用して、新たな価値を創造する人材」「情報・データを使いこなす人材」を育成します。

### 特色2 情報・データを駆使し、未来を創造する力を育てる「文理融合型カリキュラム」

社会で起きている問題に、文系・理系の区別などありません。複雑化が進む現代社会は、文・理の枠組みを超えた知識、発想をもつ人材を求めています。大和大学「情報学部(仮称)」では、こうした社会の要請に応えるべく、情報科学分野の「情報・データサイエンス分野科目」、社会科学分野の「経済・経営学分野科目」を柱とする「文理融合型カリキュラム」を編成し、情報・データを駆使して、未来を創造する人材を育てます。

### 特色3 情報・データ業界の第一線で活躍する講師による「実学講座」

大和大学の特色の一つと言われるのが、各界のトップランナーをゲストとして招く「社会の現場にふれる実学講座」。「情報学部(仮称)」でも、情報・データ業界の名だたる企業や、業界の注目を集める新進企業の経営者など、業界の第一線で活躍しておられる講師陣を招き、情報・データを学ぶ意欲を高め、最新動向や将来の展望にもふれることができる講座を展開します。

### 特色4 情報・データの学びの拠点「情報学部(仮称)棟」を新設

大和大学「情報学部(仮称)」の専用棟として、情報・データの学びの拠点「情報学部(仮称)棟」を新たに建設します。全棟無線LANを完備、オーブラボ、プライベートラボの2つの空間からなる次世代型教員研究室・教員スペースや、学生、教員の活発な交流を生み出すコミュニケーションエリアをエントランスに配するなど、機能性を徹底追求した校舎で、他学部との連携、学びのリンクを視野に、既設校舎と接続する形で建設されます。

### 特色5 情報系のさまざまな資格取得を支援

大和大学「情報学部(仮称)」はさまざまな資格を取得することができ、将来の活躍の場を広げることができます。経済産業大臣が実施する、情報処理に関する必要な知識及び技能を問う国家試験「情報処理技術者試験」や「ITパスポート」のほか、統計に関する知識、図形の処理結果をビジネスに活用する能力を評価する検定試験など、情報・データに関する資格取得を支援します。

### 特色6 大和大学の強力なキャリアサポートを「情報学部(仮称)」でも実現

大和大学では担任とキャリアセンターの両輪で、学生一人ひとりを大切に、親身な指導を行うキャリアサポートを行っています。その成果として、本学政治経済学部では関西有名私大を凌駕する圧倒的な就職実績を誇ります。卒業後は幅広い業種での活躍が期待できる「情報学部(仮称)」でも同様のサポートを徹底し、希望進路の実現へと導きます。また、学部卒業後、さらなる学びを希望する学生には、国公立大学大学院への進学を支援します。



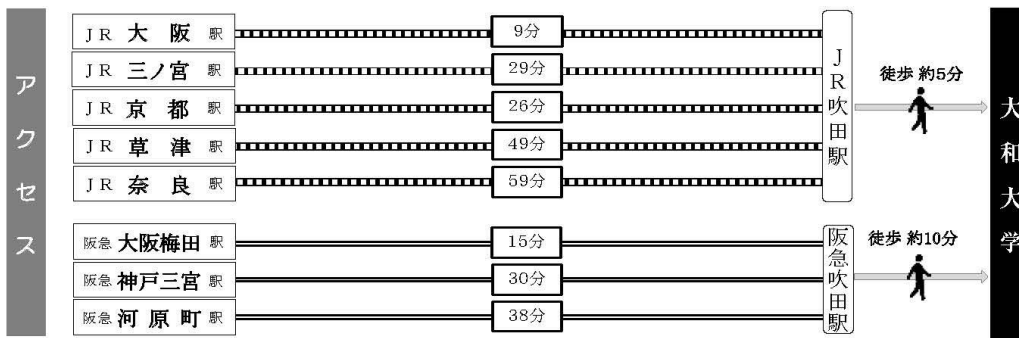
上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下は大和大学が2023年4月に新設構想中の「情報学部(仮称)の概要」(裏面)です。

単位:円

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料等	初年度 学費
大和大学 情報学部(仮称) 大阪府吹田市片山町2-5-1	200,000	1,150,000	1,350,000
関西大学 総合情報学部 大阪府吹田市山手町3-3-35	260,000	1,302,000	1,562,000
近畿大学 情報学部(2022年度開設予定) 大阪府東大阪市小若江3-4-1	250,000	1,442,000	1,692,000
大阪工業大学 情報科学部 大阪府枚方市北山1-79-1	250,000	1,390,000	1,640,000

※大和大学 情報学部(仮称)の学費は2023年度予定です。  
 ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報で、2021年度実績です。  
 ※その他、各大学ともその他の費用、諸会費が別途必要な場合があります。



大和大学2023年度キャンパス計画図



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

## 2 人材需要アンケート調査用紙



### 大和大学「情報学部 情報学科(仮称・設置構想中)」

#### 新設構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事採用担当者様)

大和大学(大阪府吹田市片山町2-5-1)は2023年度、「情報学部 情報学科(仮称)」(入学定員200名)の新設を構想中です。本学ではこのアンケート調査を通して、将来的に卒業生の採用をご検討いただく皆様からさまざまなご意見をお聞きし、さらなる計画の充実を図っていきたくと考えています。回答いただいた皆様から得られた情報は、大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。  
※このアンケート調査は大和大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

【記入例】  

- ・上の記入例を参考に、黒鉛筆またはシャープペンでご回答ください。
- ・誤って記入した回答は消しゴムでしっかりと消してください。

問1 貴社、貴機関の主要種として、最もあてはまるものをお答えください。(最もあてはまるもの1つにマーク)

- |  |                                       |  |
|--|---------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 農業、林業、漁業、鉱業              | <input type="radio"/> 建設業             | <input type="radio"/> 製造業 製造品目: <input type="text"/> |
| <input type="radio"/> 電気、ガス、熱供給、水道業            | <input type="radio"/> 通信業、放送業         | <input type="radio"/> 情報サービス業                        |
| <input type="radio"/> インターネット付随サービス業           | <input type="radio"/> 映像・音声・文字情報制作業   | <input type="radio"/> 運輸業                            |
| <input type="radio"/> 卸売業、小売業                  | <input type="radio"/> 金融業、保険業         | <input type="radio"/> 不動産業、物品賃貸業                     |
| <input type="radio"/> 宿泊業、飲食サービス業              | <input type="radio"/> 教育、学習支援         | <input type="radio"/> 医療、福祉                          |
| <input type="radio"/> 学術研究、専門・技術サービス業          | <input type="radio"/> 複合サービス業、その他サービス | <input type="radio"/> 公務                             |
| <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> |                                       |  |

問2 貴社の本社、貴機関の主たる事業所の所在地をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 大阪府  京都府  兵庫県  滋賀県  奈良県  和歌山県  
 東京都  神奈川県  愛知県  福岡県  
 その他

問3 貴社の従業員数、貴機関の職員数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- ~99人  100~299人  300~499人  500~999人  1,000~2,999人  3,000~9,999人  
 10,000人~







問4以降は別紙 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」リーフレットをご覧ください、お答えください。

問4 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」は社会的ニーズが高いと思われますか。(あてはまるもの1つにマーク)

- ニーズは極めて高い     ニーズはある程度高い     ニーズはあまり高くない     ニーズは高くない

問5 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」が養成する人材を採用したいと思われませんか。(あてはまるもの1つにマーク)

- 採用したい     採用しない     わからない

問6 【問6は問5で「採用したい」と回答いただいた場合にお答えください】大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」で養成する人材について、採用を検討したいと思われる人数をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

- 1名     2名     3名     4名     5名     6名  
 7名     8名     9名     10名以上

問7 大和大学「情報学部 情報学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上となります。ご協力をいただき、ありがとうございました。



## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	タノセ リョウタロウ 田野瀬良太郎 <平成26年4月>		工学士		学校法人西大和学園 大和大学 学長 <平成26年4月>